

和歌山県高齢者等生活意識調査 (第2号被保険者調査)

報 告 書

令和5年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課

〈 目 次 〉

1. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2. 第2号被保険者調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 高齢期の暮らしなどについて	8
(4) 健康について	13
(5) 高齢期の住宅の暮らし、住み替えなどについて	16
(6) 自宅での看取りの考え方など	26
(7) 家族介護の状況などについて	33
(8) 高齢者の生活支援のための事業への参加について	38
(9) 介護保険制度等について	40
(10) 認知症について	44
(11) 自由意見	53
3. 調査間の比較	55
(1) 回答者の属性	55
(2) 健康について	56
(3) 住まい、住み替えなどについて	57
(4) 看取りなどについて	59
(5) 高齢者の生活支援のための事業への参加について	61
(6) 介護保険制度について	62
(7) 認知症について	64
参考資料：アンケート調査票	66

1 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収しました。（第2号被保険者調査はWEB回答を併用）

高齢者一般調査	令和4年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計3,000人を抽出
要支援・要介護者調査	令和4年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計2,000人を抽出
第2号被保険者調査	令和4年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計2,000人を抽出

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下のとおりです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	3,000	2,000	2,000
配布実数※	2,983	1,988	1,992
回収数	1,935	894	871（内WEB回答170）
回収率	64.9%	45.0%	43.7%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**第2号被保険者調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、令和2年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数(回答者数)は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率(%)です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

- ◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の категорияに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市(旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)
海南市	新宮市(旧熊野川町)
橋本市	紀の川市(旧粉河町・那賀町・桃山町)
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市(旧田辺市)	九度山町
新宮市(旧新宮市)	高野町
紀の川市(旧打田町・貴志川町)	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

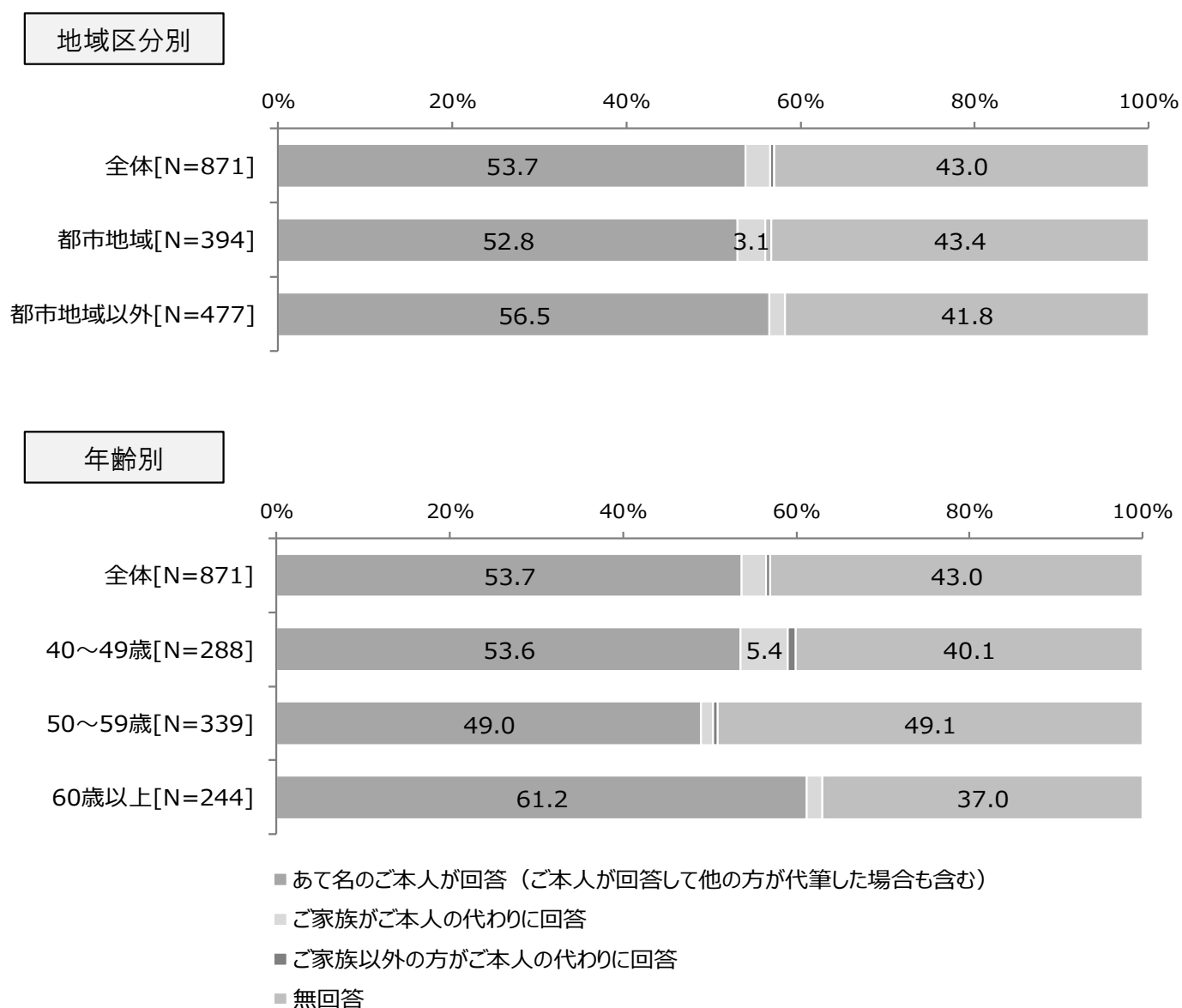
2 第2号被保険者調査の結果

(1) 回答者

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が53.7%となっています。

図表 1 回答者



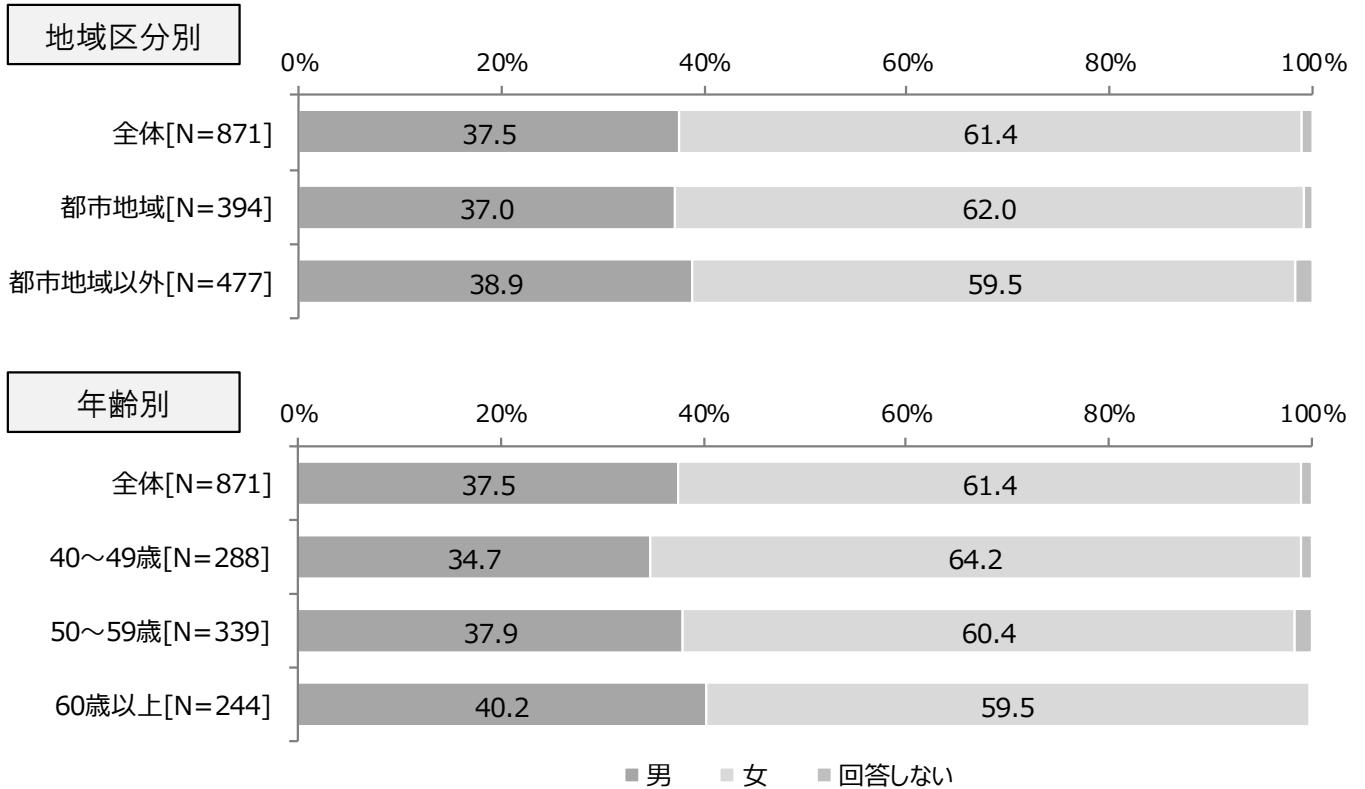
(2) 回答者の属性

①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

回答者の性別は、「女」が61.4%、「男」が37.5%となっています。

図表 2 性別

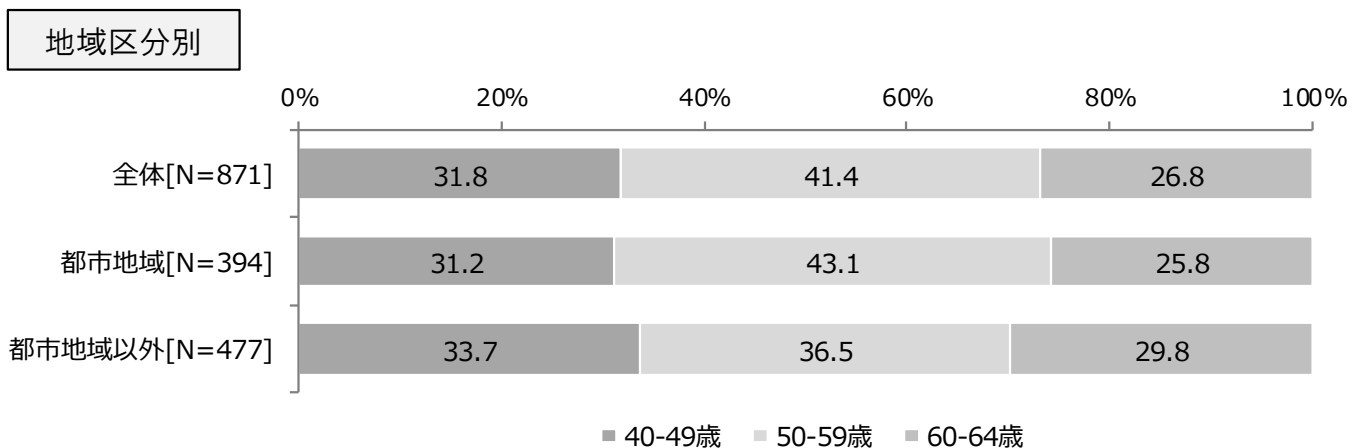


②年齢区分

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

年齢区分については、「50～59歳」が41.4%、「40～49歳」が31.8%、「60～64歳」が26.8%となっています。

図表 3 年齢区分



③ 居住市町村

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

居住市町村については、以下のとおりとなっています。

図表 4 居住市町村

全体[N=871]			
和歌山市	38.9	広川町	0.7
海南市	5.2	有田川町	2.7
橋本市	6.6	美浜町	0.7
有田市	2.9	日高町	0.8
御坊市	2.5	由良町	0.6
田辺市(旧田辺市)	6.7	印南町	0.8
田辺市(旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.1	みなべ町	1.3
新宮市(旧新宮市)	2.7	日高川町	1.0
新宮市(旧熊野川町)	0.1	白浜町	2.1
紀の川市(旧打田町・貴志川町)	3.8	上富田町	1.7
紀の川市(旧粉河町・那賀町・桃山町)	2.7	すさみ町	0.4
岩出市	6.3	那智勝浦町	1.5
紀美野町	0.8	太地町	0.3
かつらぎ町	1.6	古座川町	0.2
九度山町	0.4	北山村	0.0
高野町	0.3	串本町	1.5
湯浅町	1.2		

④世帯区分

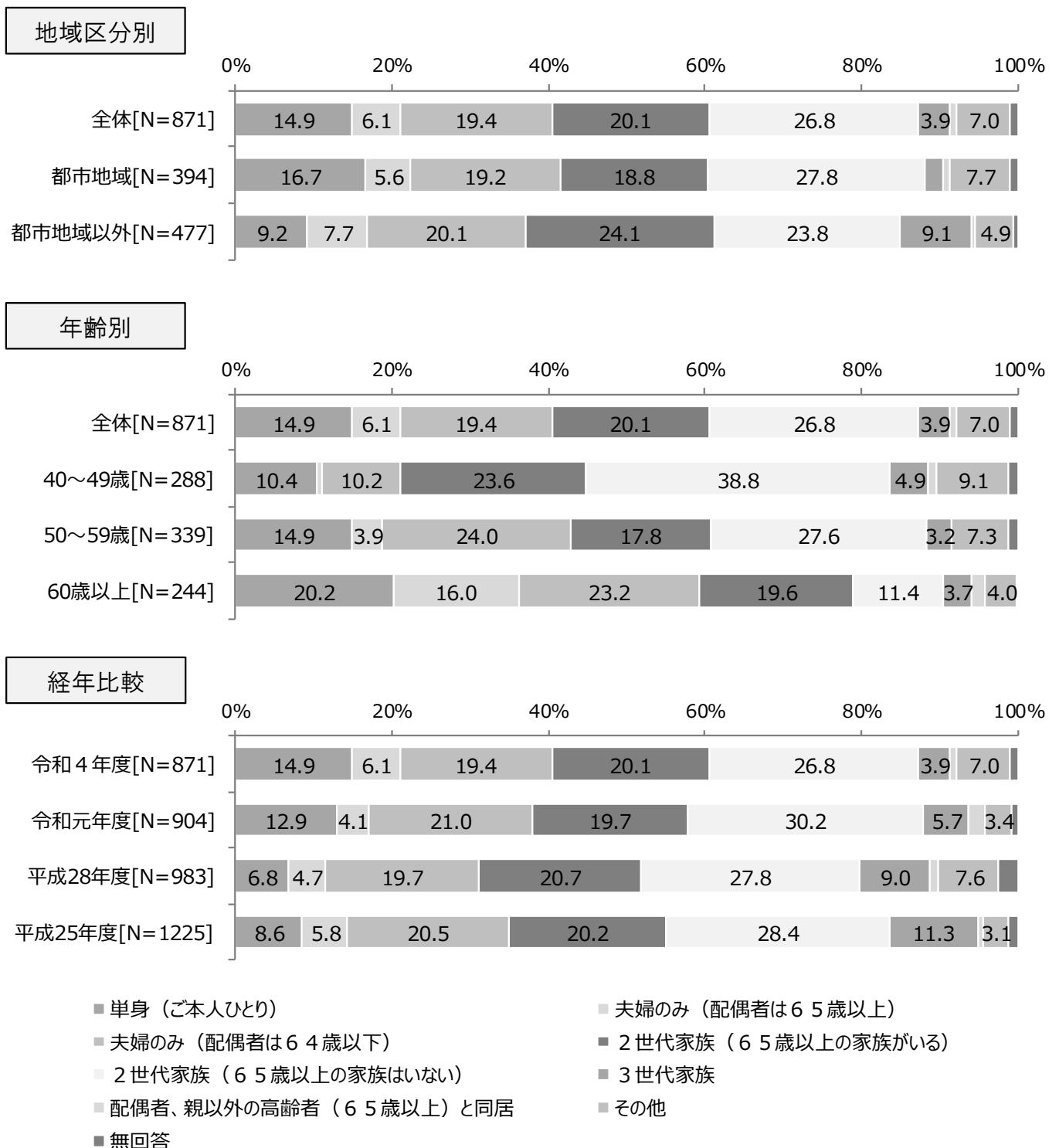
問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の世帯は、「2世代家族（65歳以上の家族はいない）」が26.8%、「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」が20.1%、「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」が19.4%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」が多くなっています。

経年比較では、「単身（ご本人ひとり）」がやや増えており、2世代家族（65歳以上の家族はいない）」がやや減っています。

図表 5 世帯区分



⑤収入のある仕事

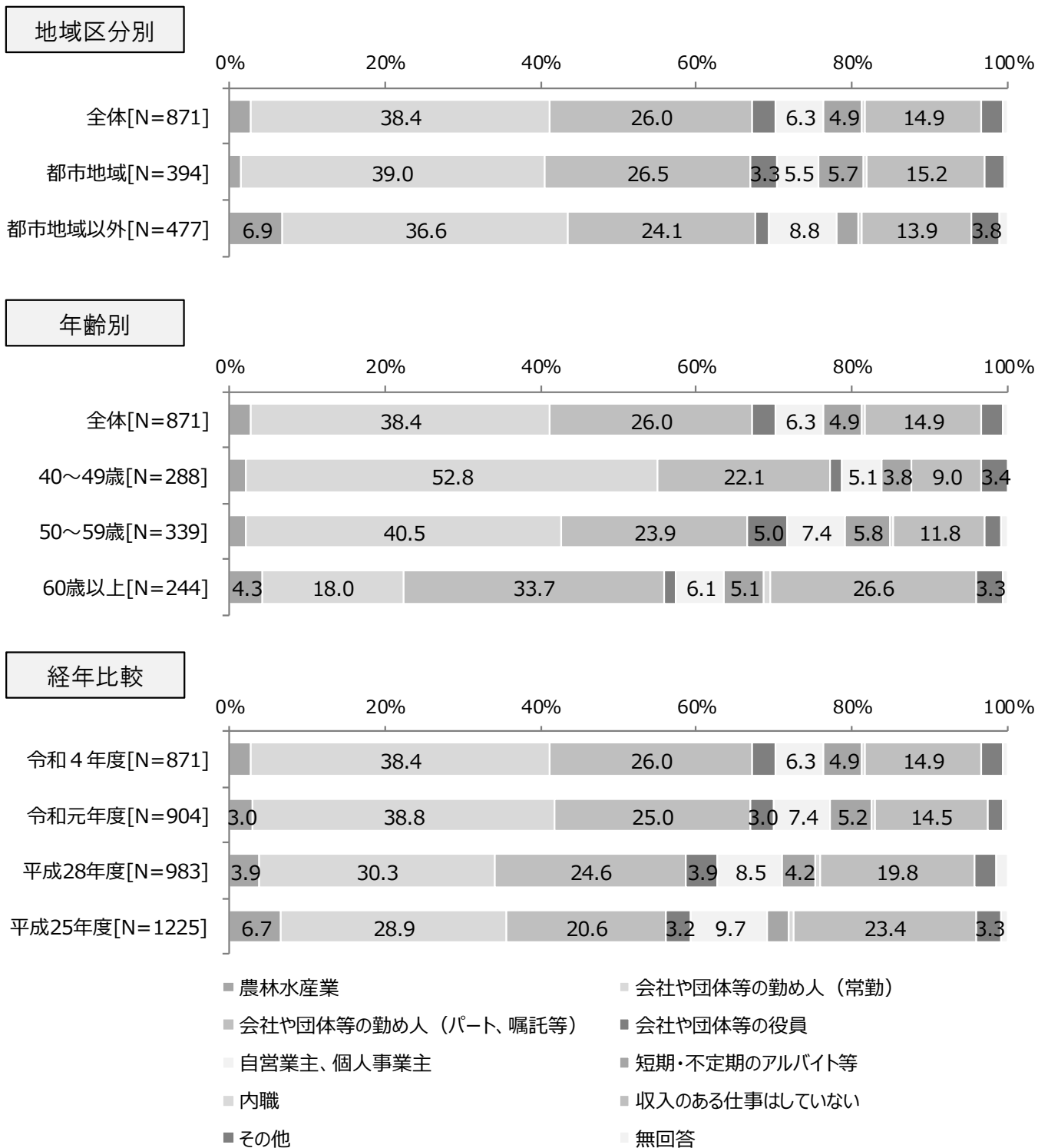
問5 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

収入のある仕事について聞いたところ、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が38.4%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が26.0%、「収入のある仕事はしていない」が14.9%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外では都市地域に比べて「農林水産業」の割合がやや多く、「会社や団体等の勤め人（常勤）」の割合はやや少なくなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 6 収入のある仕事



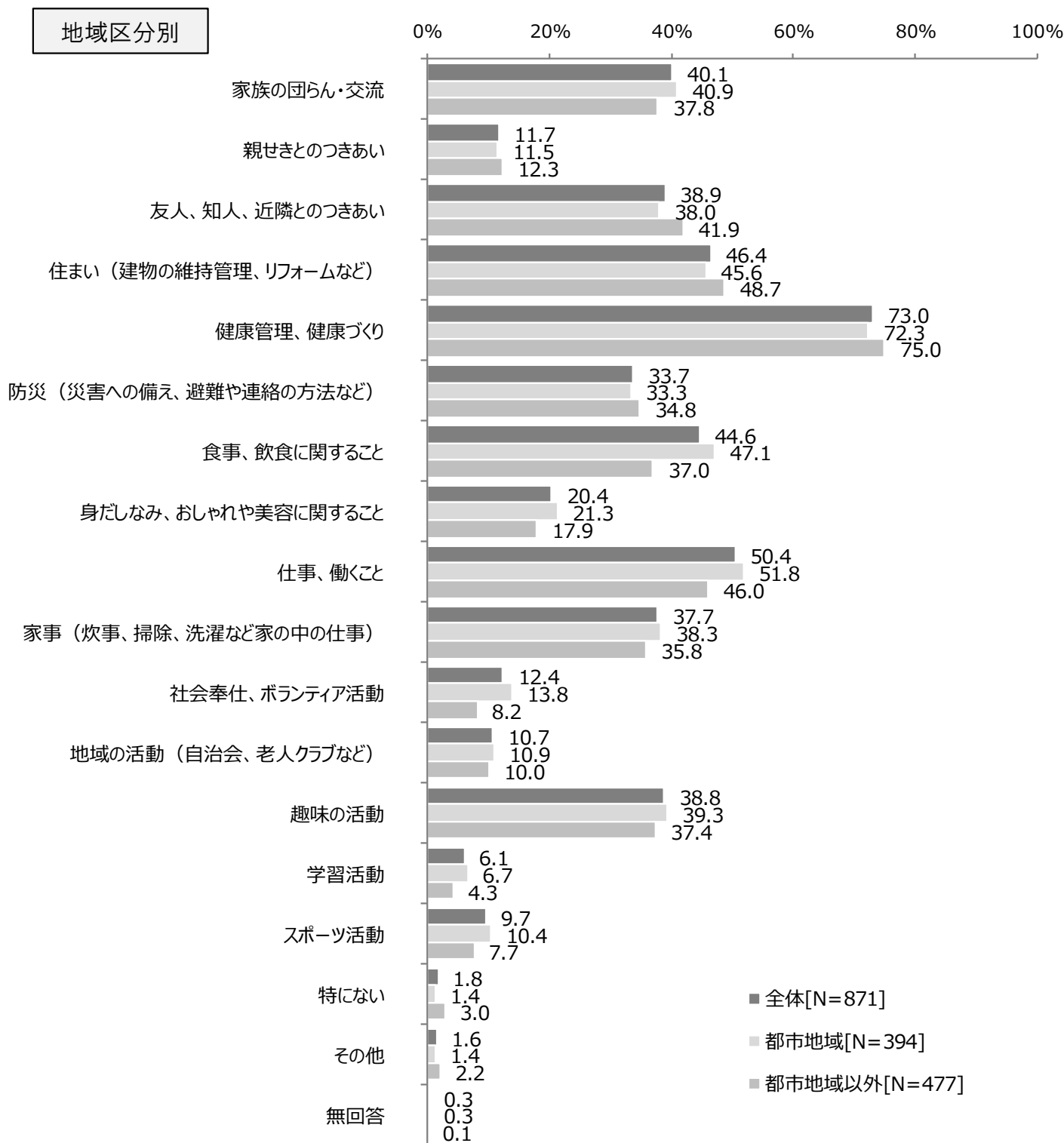
(3) 高齢期の暮らしなどについて

① 高齢期の関心事

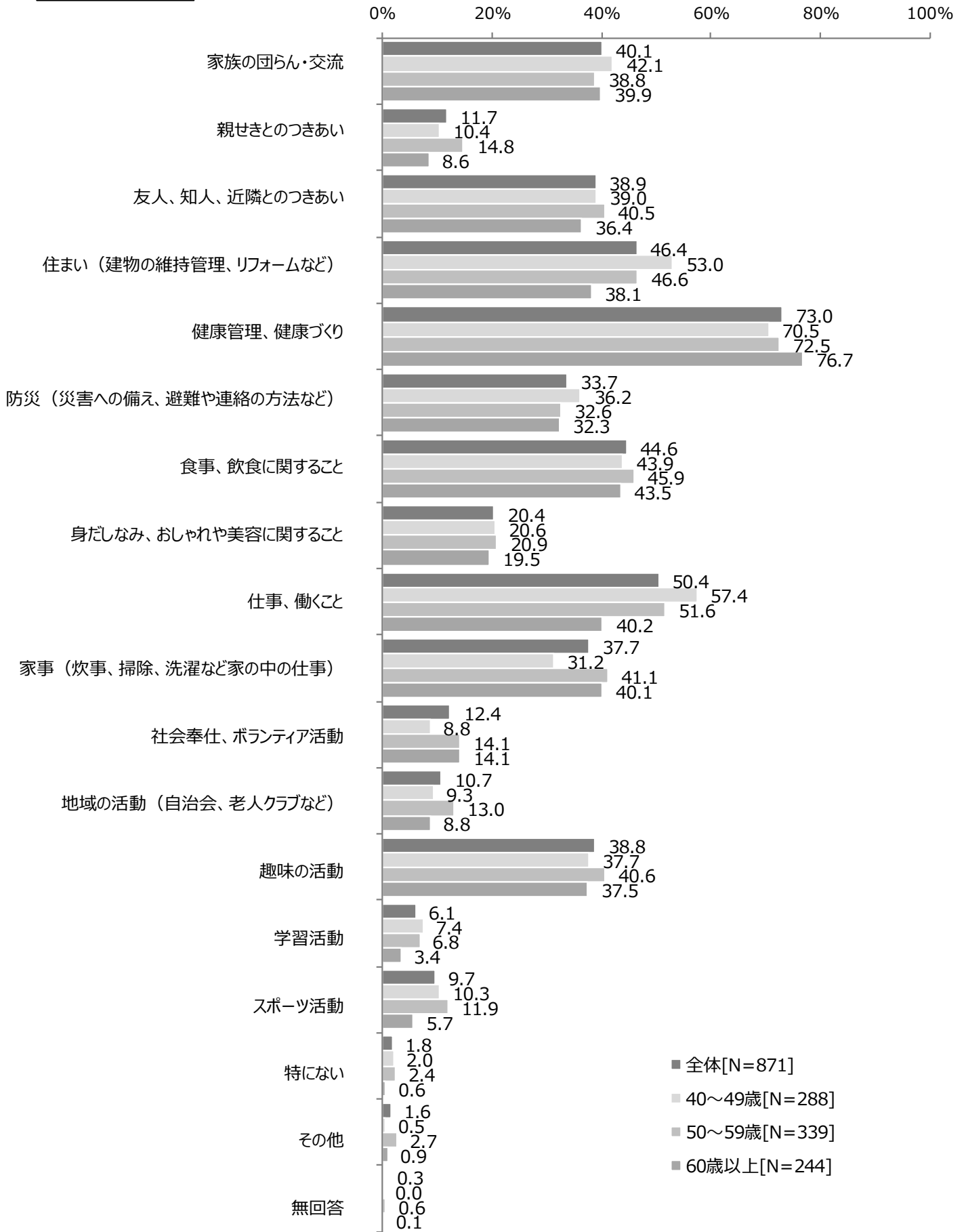
問6 あなたは、ご自身の高齢期の生活を考えたときに、特にどのようなことに関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢期の関心事について聞いたところ、「健康管理、健康づくり」が73.0%と最も多くなっています。次いで、「仕事、働くこと」(50.4%)、「住まい(建物の維持管理、リフォームなど)」(46.4%)、「食事・飲食に関すること」(44.6%)、「家族の団らん・交流」(40.1%)等となっています。

図表7 高齢期の関心事(複数回答)



年齢別



② 日常の買い物や外出などのしやすさ

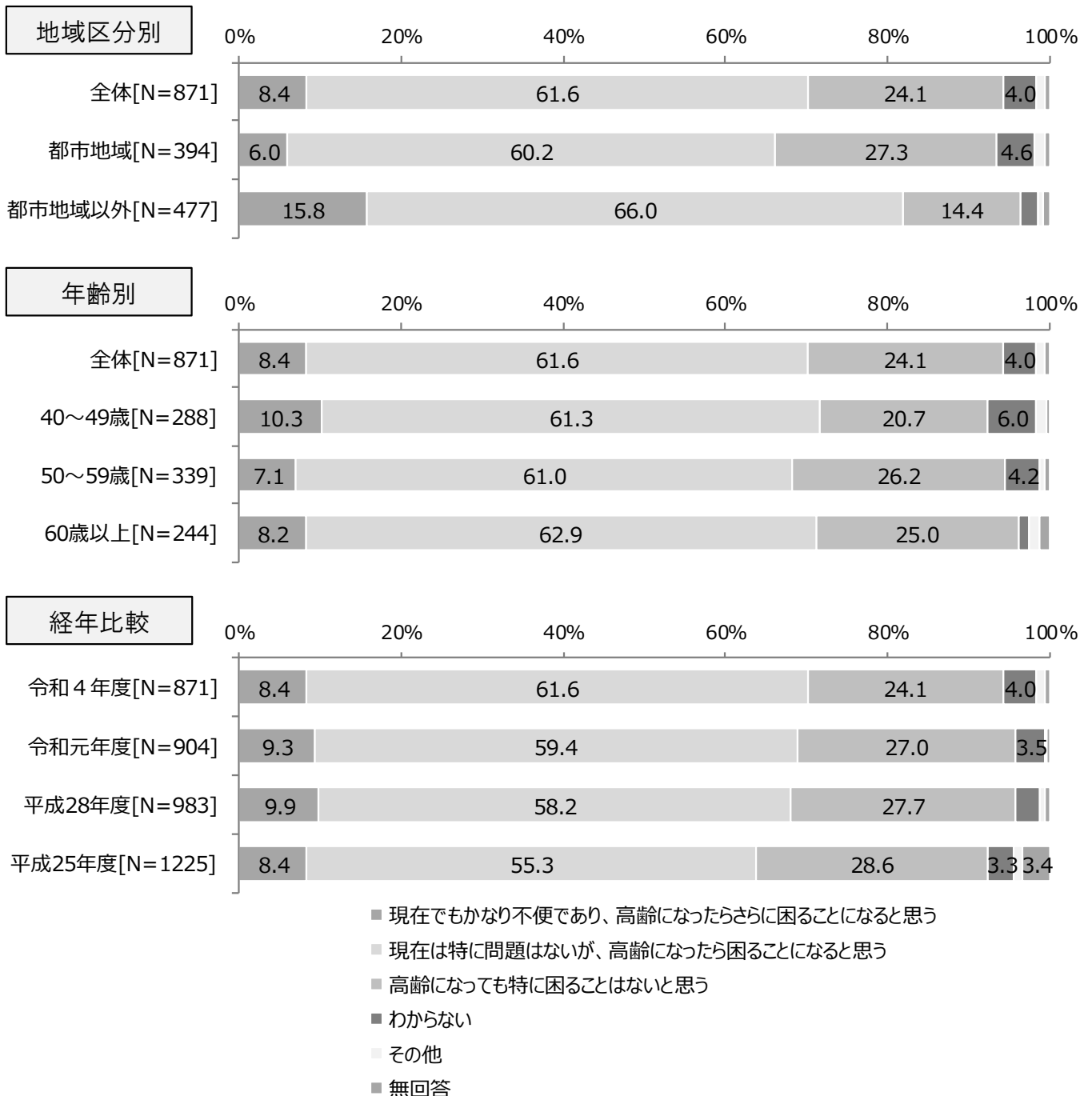
問7 あなたは、現在お住まいのところに高齢期も住み続けるとした場合に、日常の買い物や外出などのしやすさについてどのように思いますか。(そう思うもの1つに○)

住んでいる地域の日常の買い物や外出などのしやすさについて聞いたところ、「現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う」が61.6%と多くなっています。「現在でもかなり不便であり、高齢になったらさらに困ることになると思う」は8.4%となっています。一方、「高齢になっても特に困ることはないと思う」は24.1%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う」の割合が多く、「高齢になっても特に困ることはないと思う」の割合は少なくなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 8 日常の買い物や外出などのしやすさ



③高齢期の生活の不安

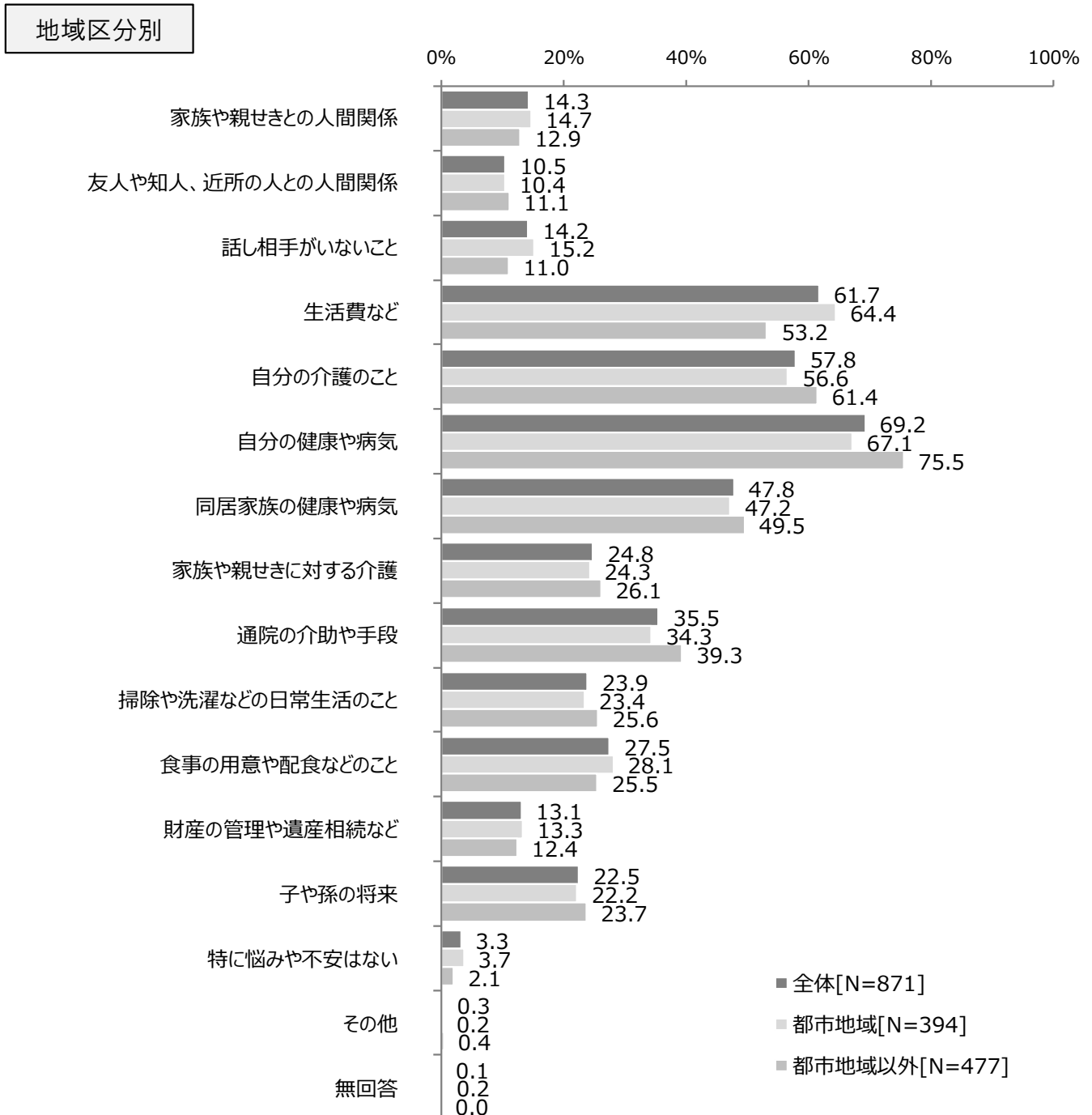
問8 あなたは、ご自身の高齢期の生活を考えたときに、何か不安を感じることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

高齢期の生活の不安としては、「自分の健康や病気」が69.2%と最も多く、次いで、「生活費など」が61.7%、「自分の介護のこと」が57.8%、「同居家族の健康や病気」が47.8%等となっています。

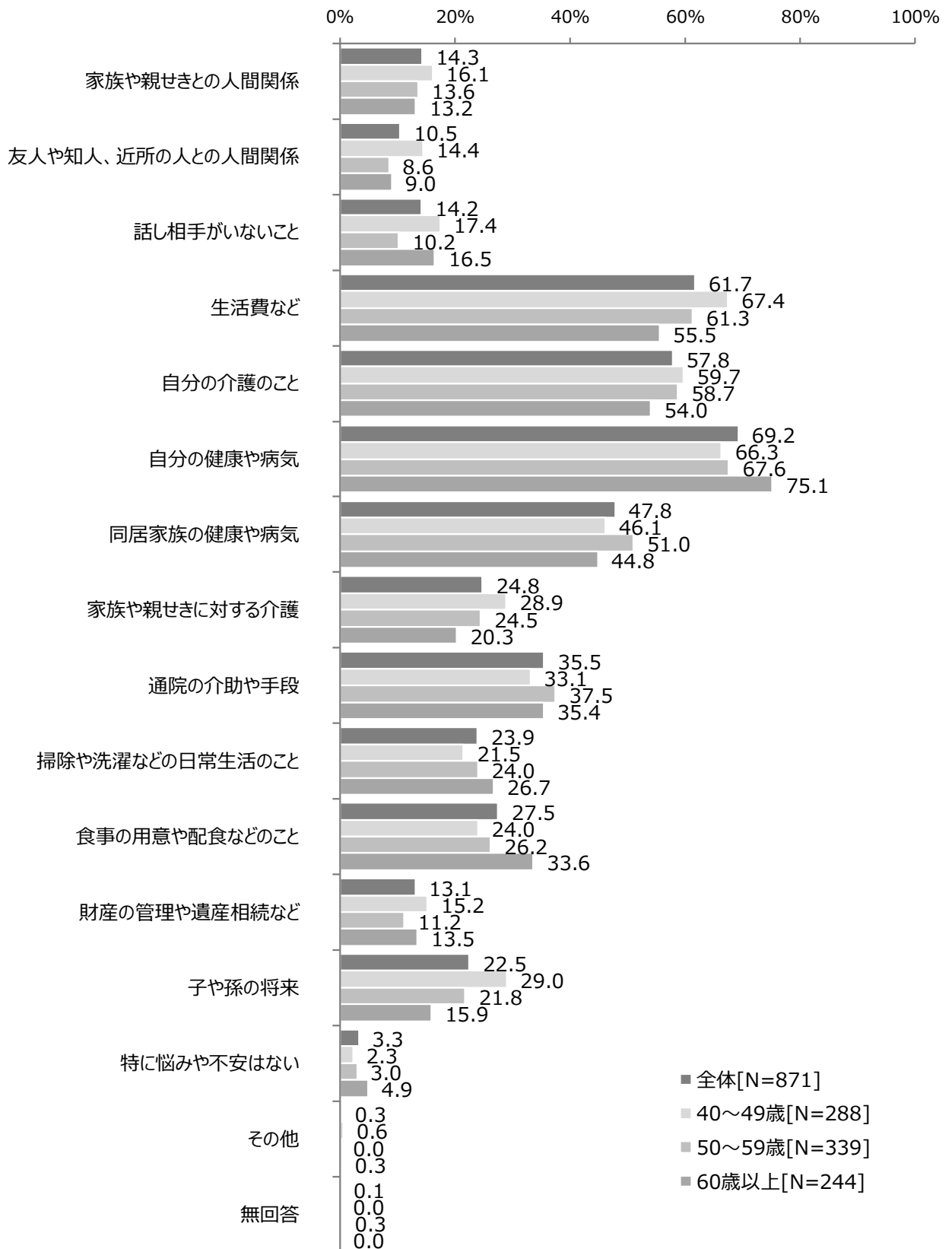
地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「自分の健康や病気」の割合が多く、逆に「生活費など」の割合が少なくなっています。

年齢別では、60歳以上では「自分の健康や病気」「掃除や洗濯などの日常生活のこと」「食事の用意や配食などのこと」等の割合が多くなっています。「自分の介護のこと」の割合は59歳以下の方が多くなっています。

図表 9 高齢期の生活の不安（複数回答）



年齢別



(4) 健康について

①現在の健康状態

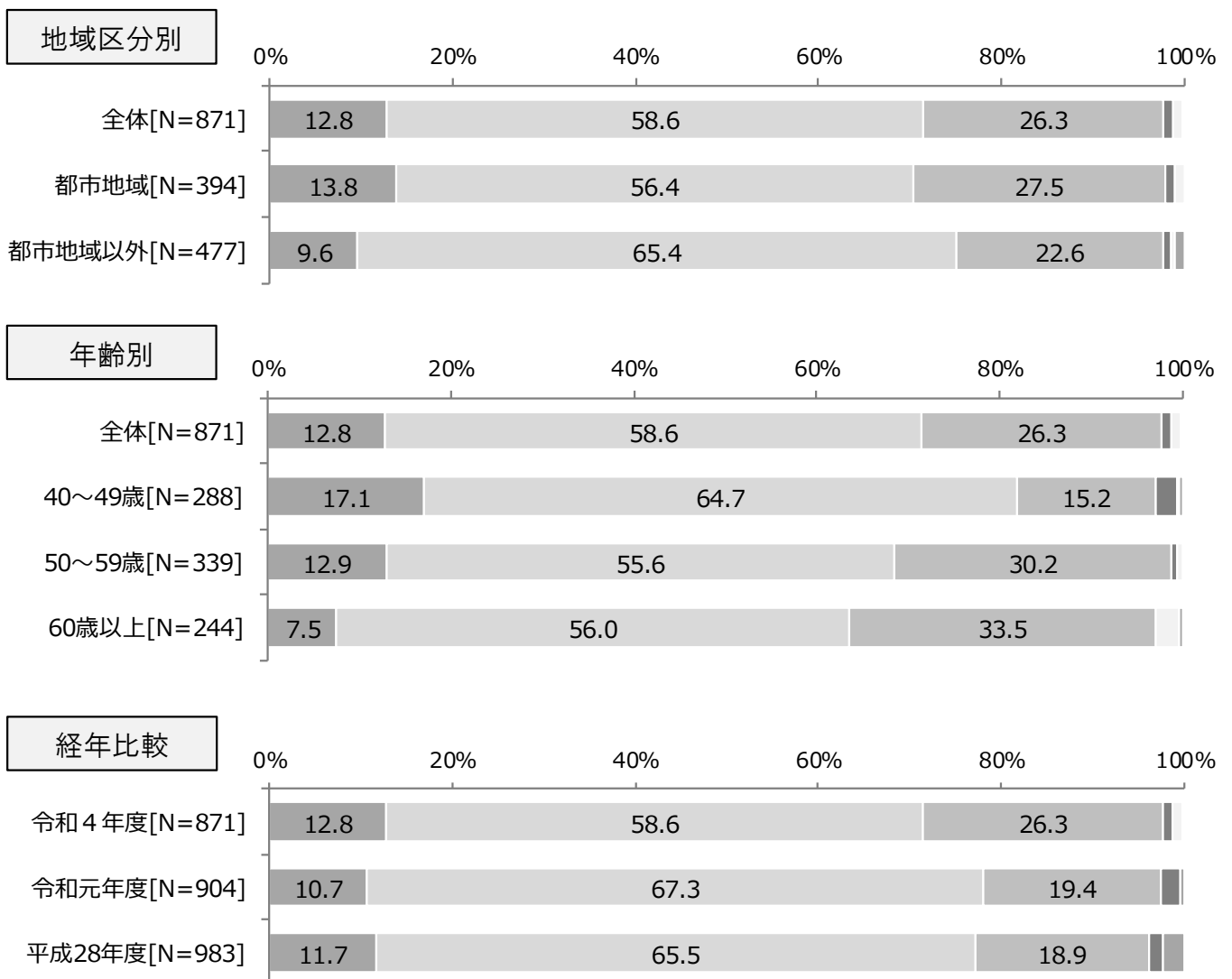
問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

現在の健康状態としては、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が58.6%等と多くなっています。地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「大した病気や障害もなく普通に生活している」の割合が多くなっています。

年齢別では、「たいへん健康である」の割合は年齢が上がるにつれ少なくなっています。

経年比較では、令和元年度に比べて「何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる」が増えています。

図表 10 現在の健康状態



- たいへん健康である
- 大した病気や障害もなく普通に生活している
- 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる
- 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの助けが必要である
- その他
- 無回答

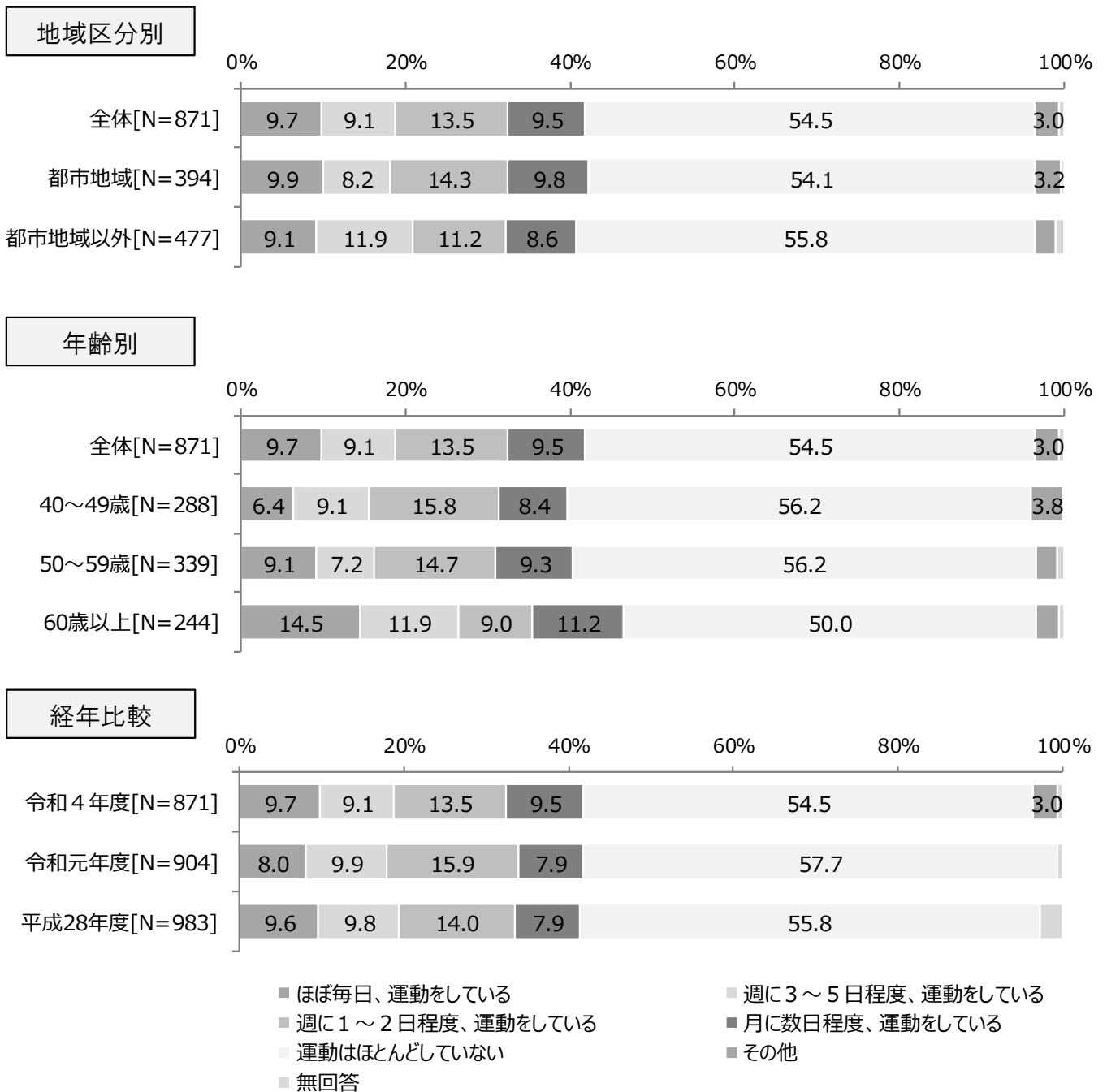
※令和4年度調査より、選択肢「その他」を追加

②運動の有無

問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

運動の有無について聞いたところ、「運動はほとんどしていない」が54.5%等と多くなっています。
 年齢別では、40～59歳で「運動はほとんどしていない」の割合が60歳以上に比べて多くなっています。
 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 11 運動の有無



※令和4年度調査より、選択肢「その他」を追加

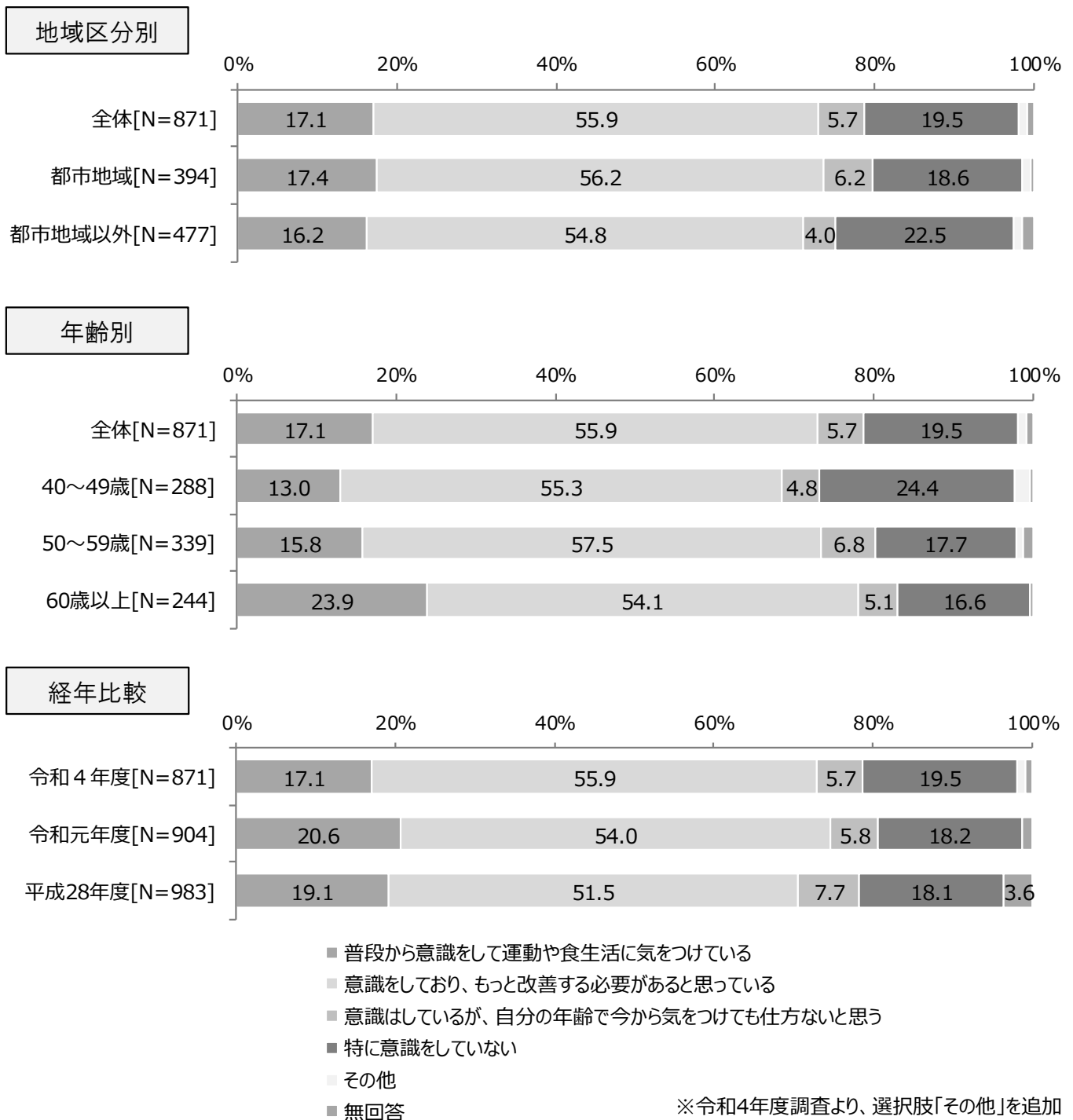
④健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

問11 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣に思うことを聞いたところ、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が55.9%と多くなっています。「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」は17.1%、「特に意識をしていない」は19.5%等となっています。

地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「特に意識をしていない」の割合が多くなっています。年齢別では、40～49歳で「特に意識をしていない」の割合が多くなっています。

図表 12 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと



(5) 高齢期の住宅の暮らし、住み替えなどについて

①外出方法

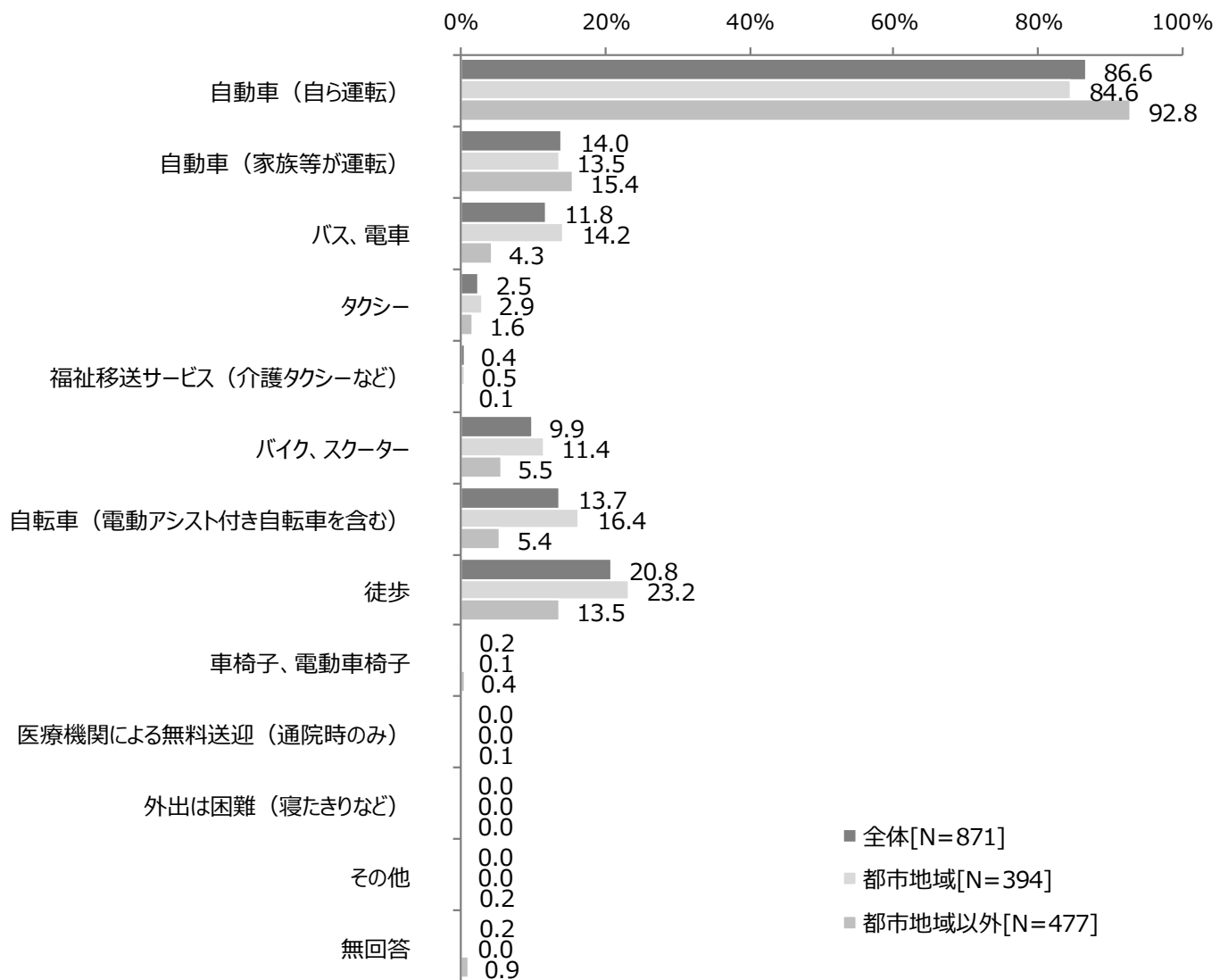
問12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が86.6%と多くなっています。その他、「徒歩」が20.8%、「自動車（家族等が運転）」が14.0%等となっています。

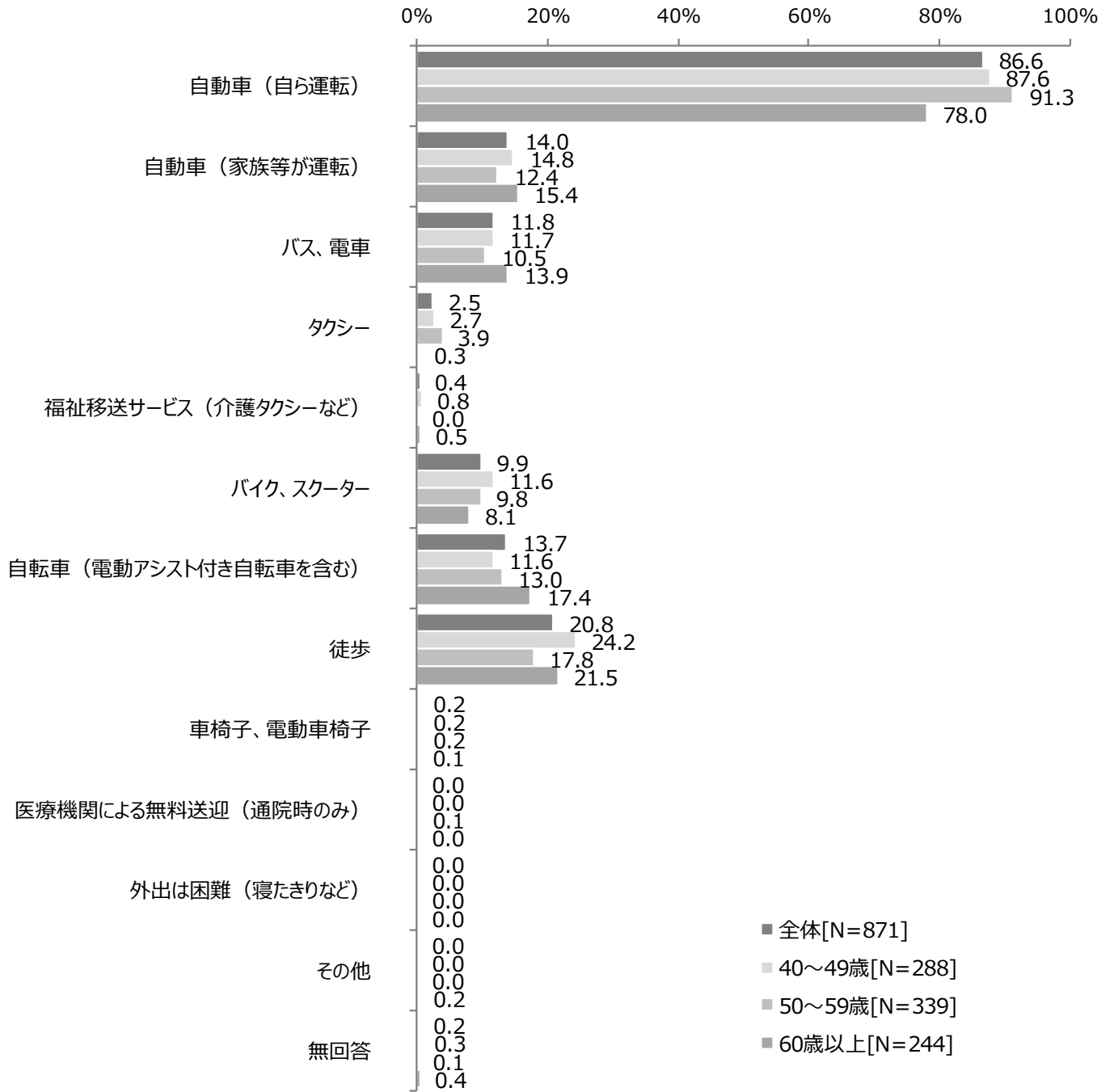
地域区分別では、都市地域では「バス・電車」「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」「徒歩」、都市地域以外では「自動車（自ら運転）」「自動車（家族等が運転）」の割合がそれぞれ多くなっています。

図表 13 外出方法（複数回答）

地域区分別



年齢別



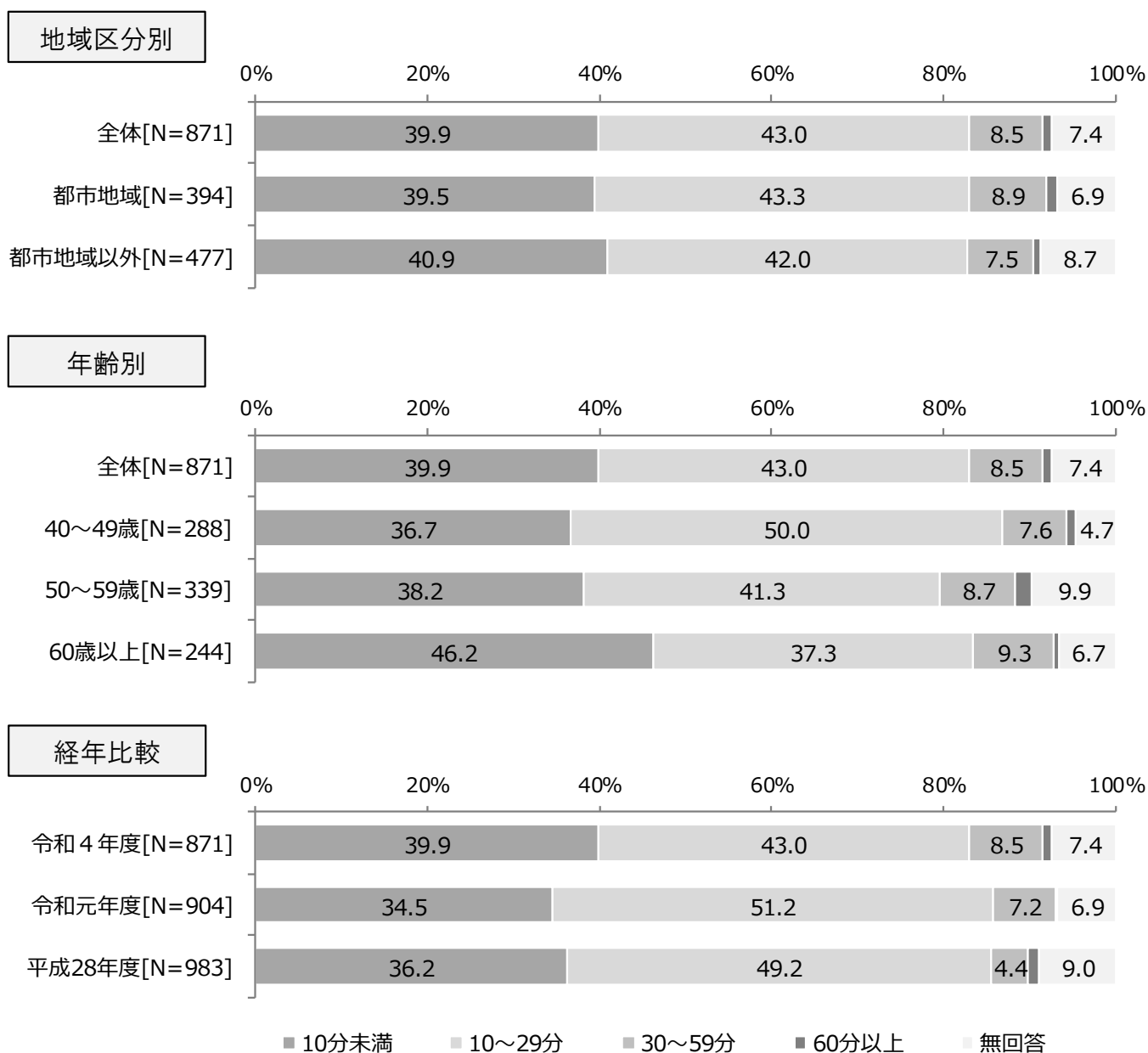
②最寄りの駅等までの所要時間

問13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、「10～29分」が43.0%と最も多く、「10分未満」は39.9%等となっています。

経年比較では、「10分未満」が増えています。

図表 14 最寄りの駅等までの所要時間



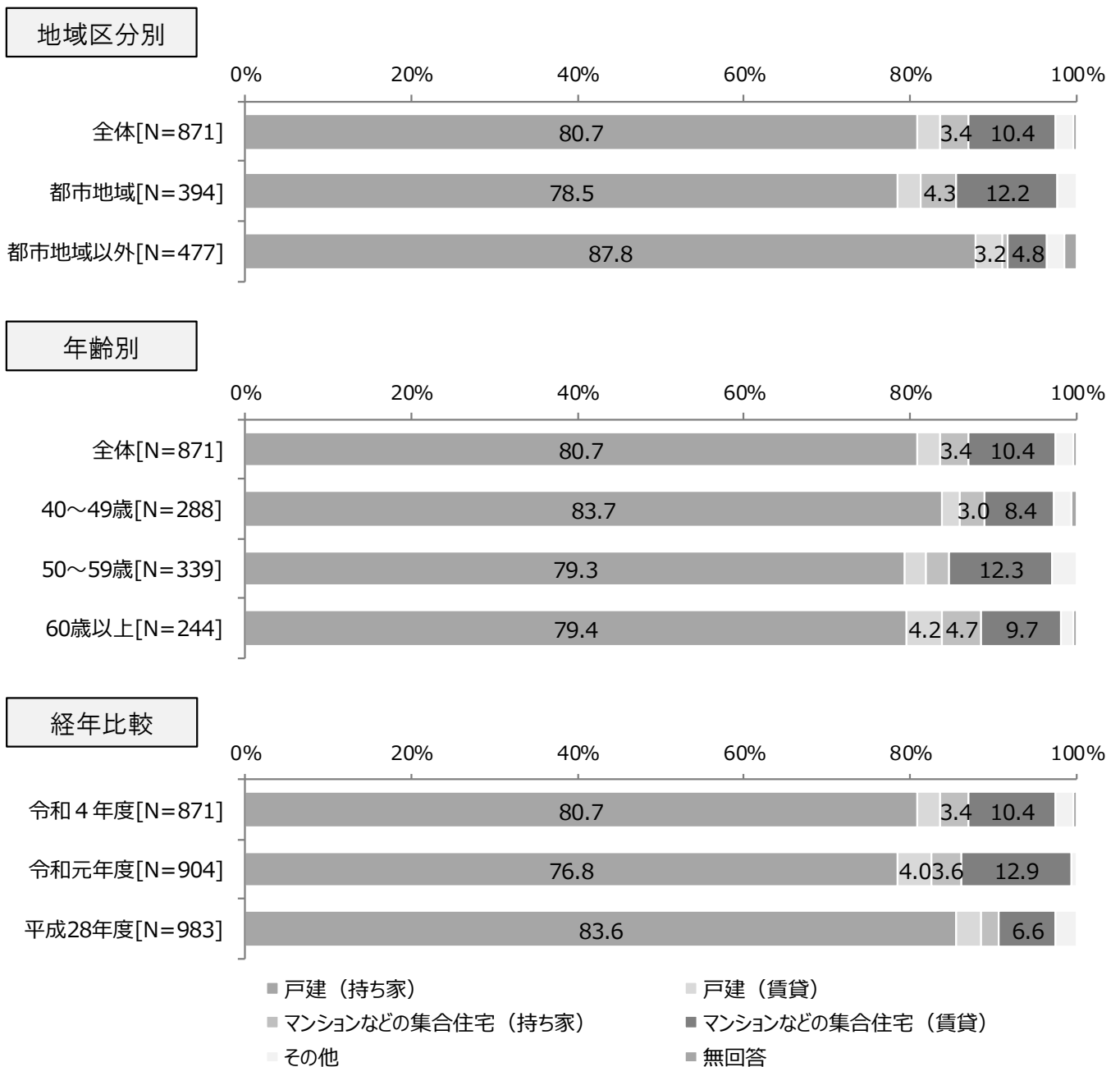
③現在の住まいの種類

問14 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

現在の住まいの種類としては、「戸建（持ち家）」が80.7%と多くなっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。

図表 15 現在の住まいの種類



④介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向

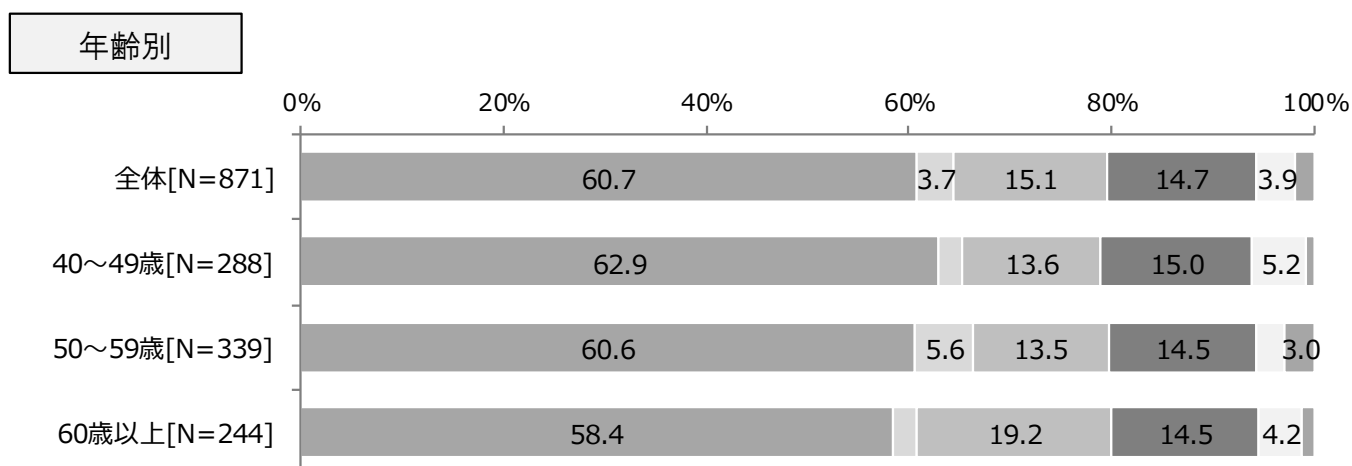
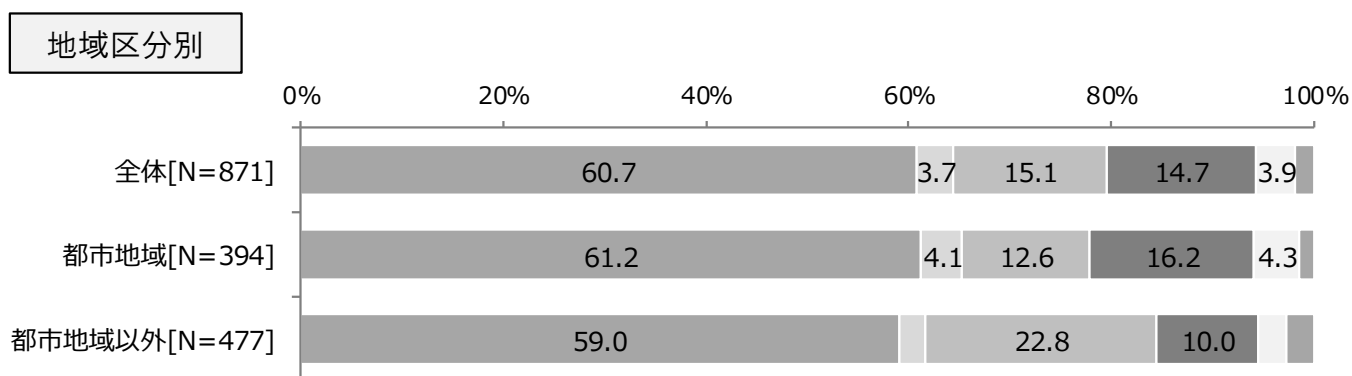
問15 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。（そう思うもの1つに○）

介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が60.7%と多くなっています。「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」は15.1%、「介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う」は14.7%等となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が少なくなっています。

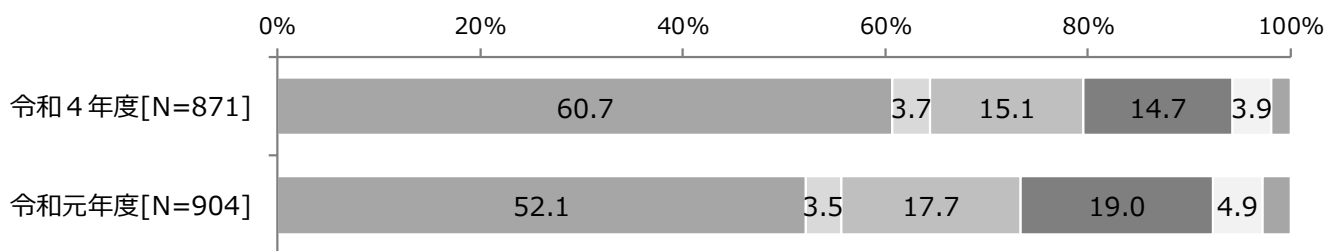
経年比較では、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が増えています。

図表 16 介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向



- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

経年比較



- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

⑤ 住み替えで重視すること

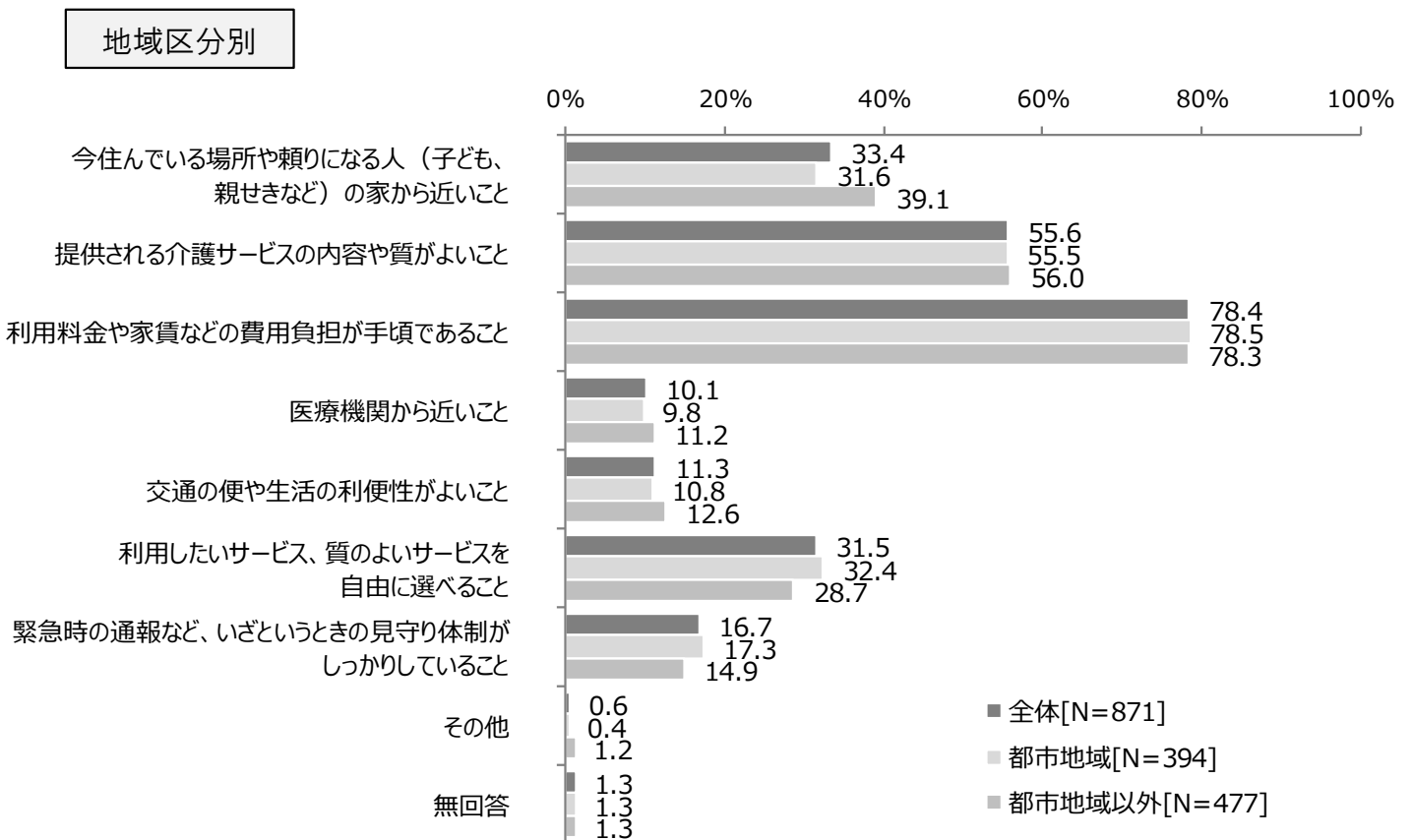
問16 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか(重視する項目3つ以内に○)

住み替えで重視することを聞いたところ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が78.4%と最も多く、次いで、「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」が55.6%、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が33.4%、「利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること」が31.5%等と続いています。

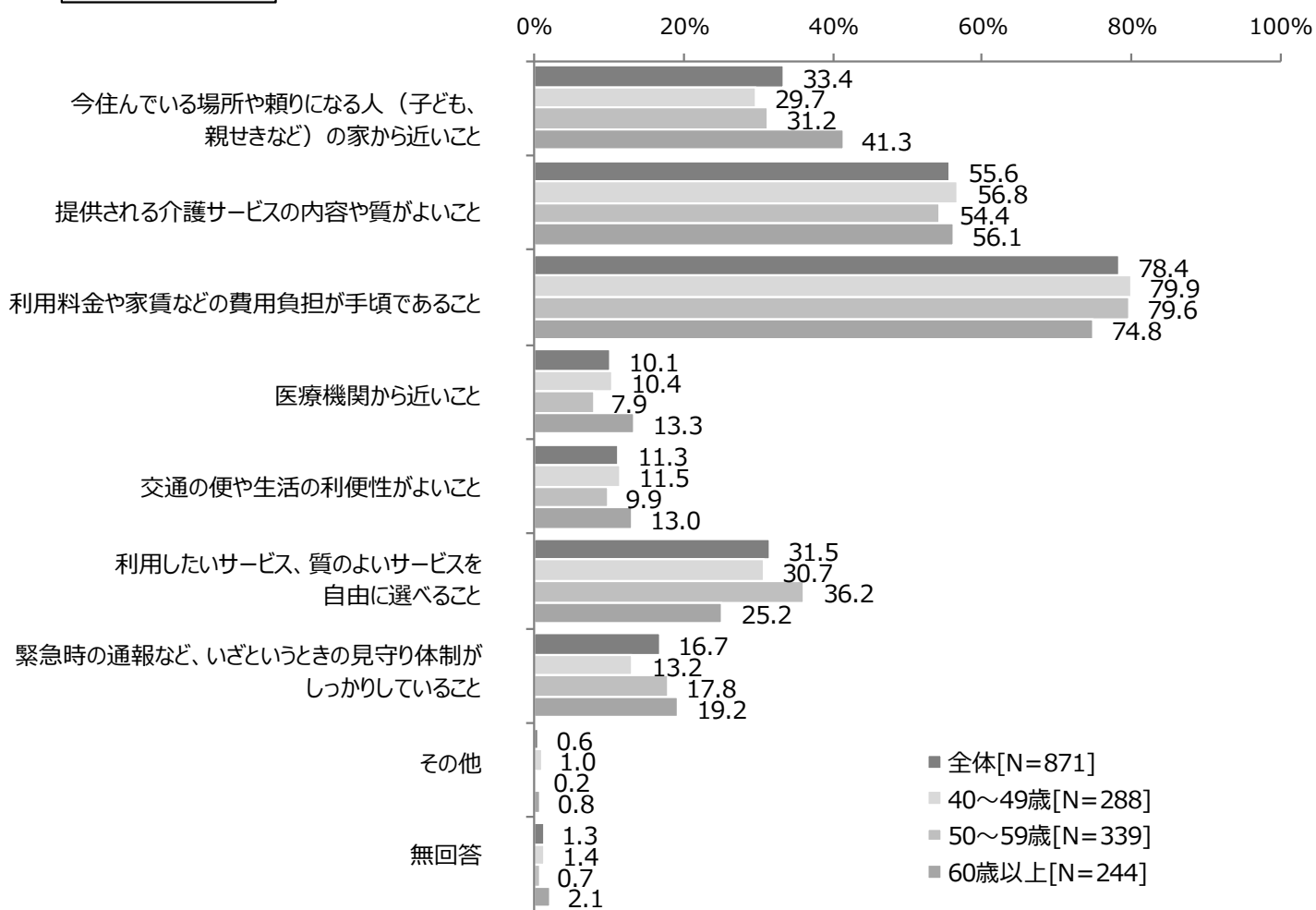
地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」の割合が多くなっています。

年齢別では、60歳以上で、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」、50～59歳で「利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること」の割合が多くなっています。

図表 17 住み替えで重視すること（3つまで○）



年齢別

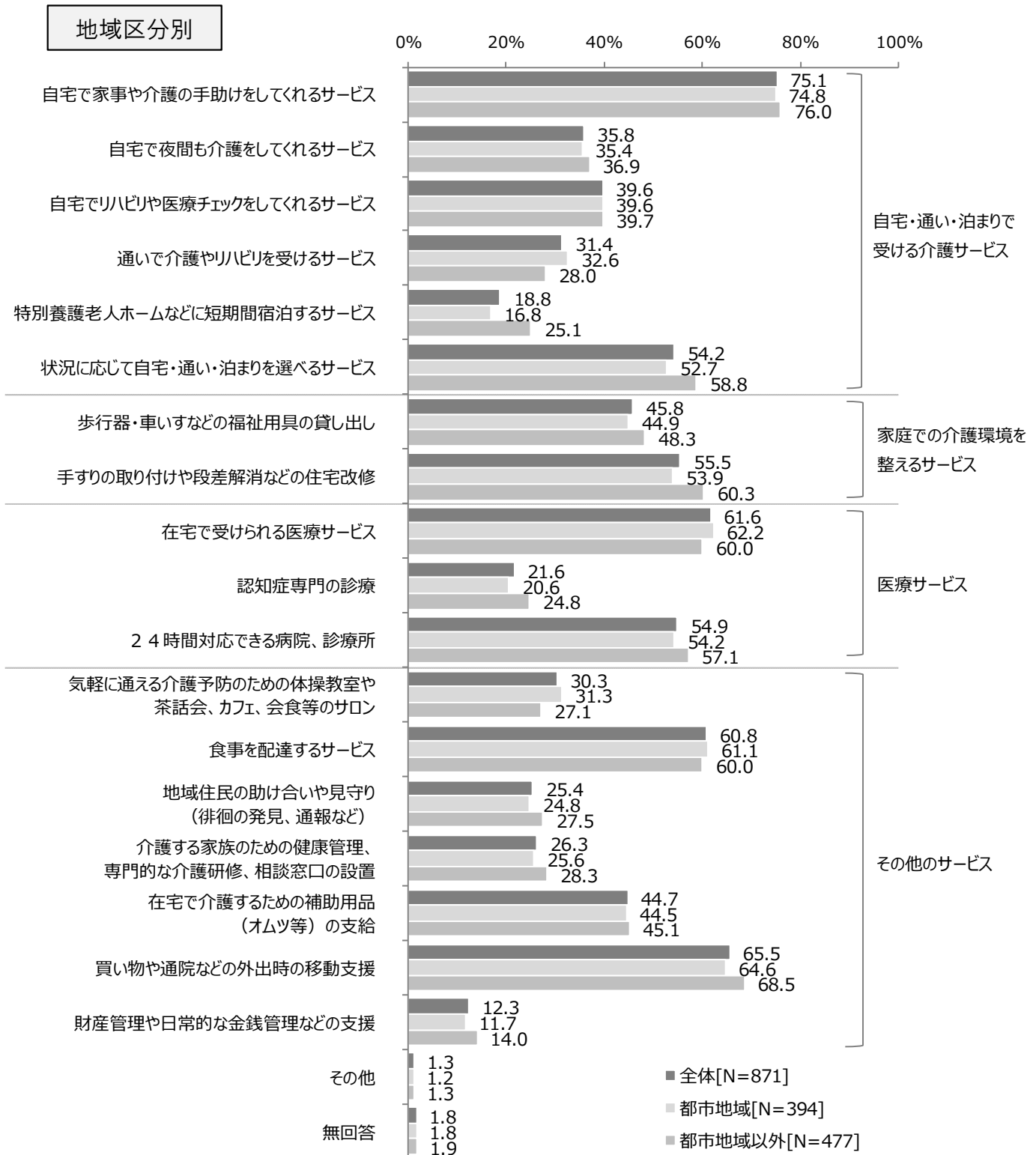


⑥介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス

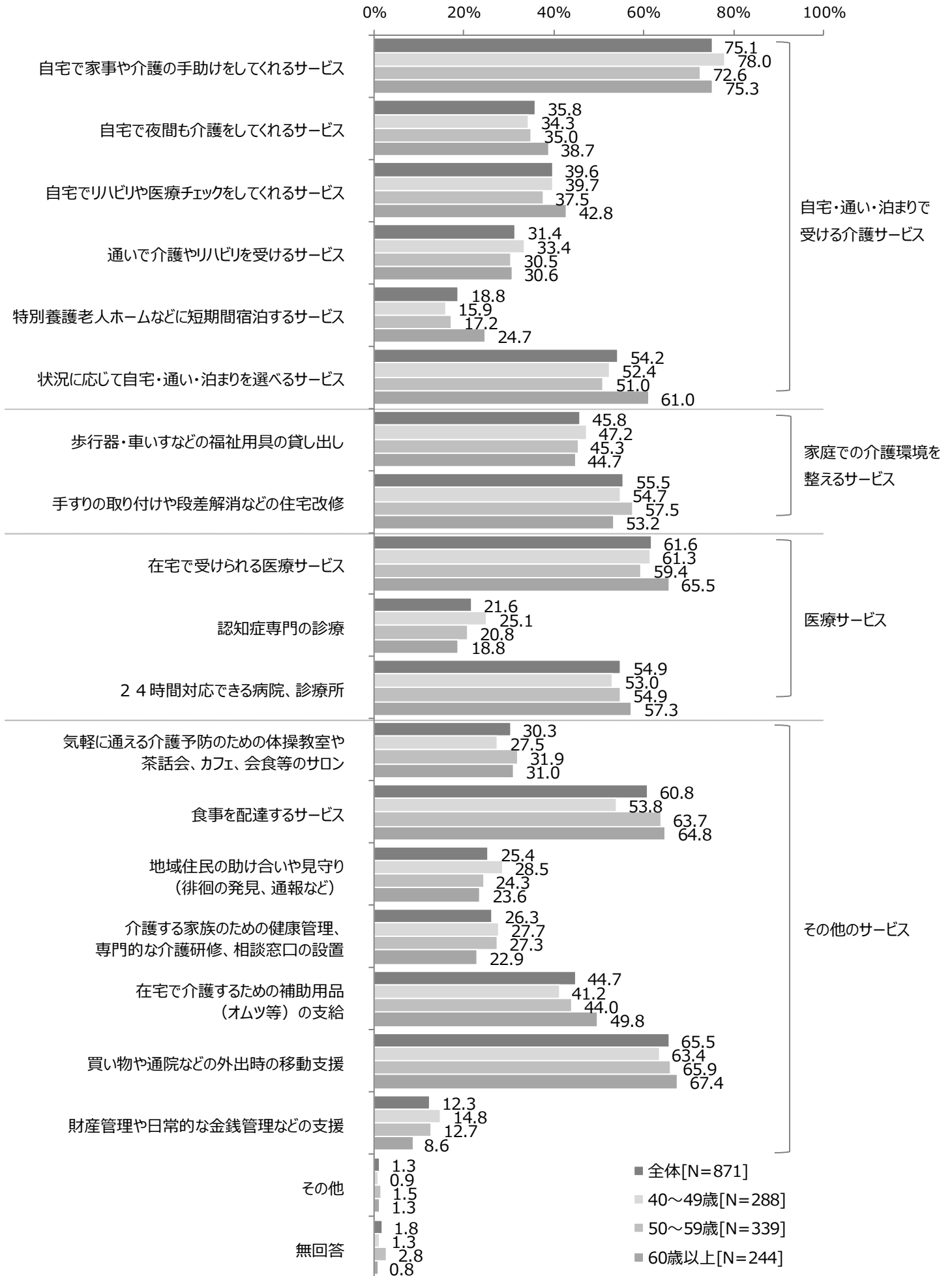
問17 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスを聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が75.1%と最も多く、次いで、「買い物や通院などの外出時の移動手段」が65.5%、「在宅で受けられる医療サービス」が61.6%、「食事を配達するサービス」が60.8%、「手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修」が55.5%等と続いています。

図表 18 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス（複数回答）



年齢別



(6) 自宅での看取りの考え方など

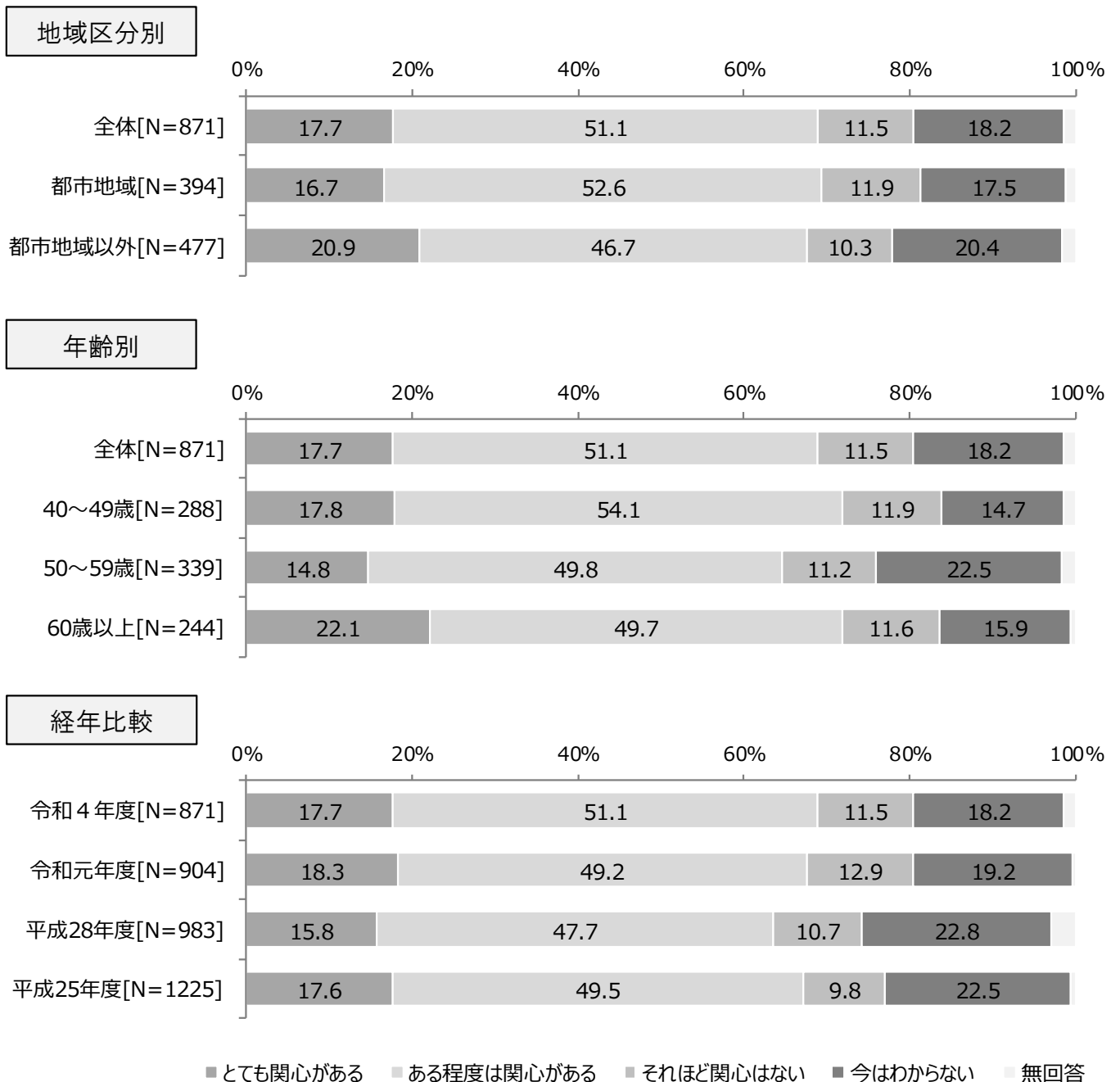
①延命治療等への関心

問18 現在、わが国では、多くの方が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療等への関心について聞いたところ、「ある程度は関心がある」が51.1%、「とても関心がある」が17.7%で、合わせると7割近い人が関心を持っています。「それほど関心はない」は11.5%、「今はわからない」は18.2%となっています。

年齢別では、60歳以上で「とても関心がある」の割合が多くなっています。

図表 19 延命治療等への関心



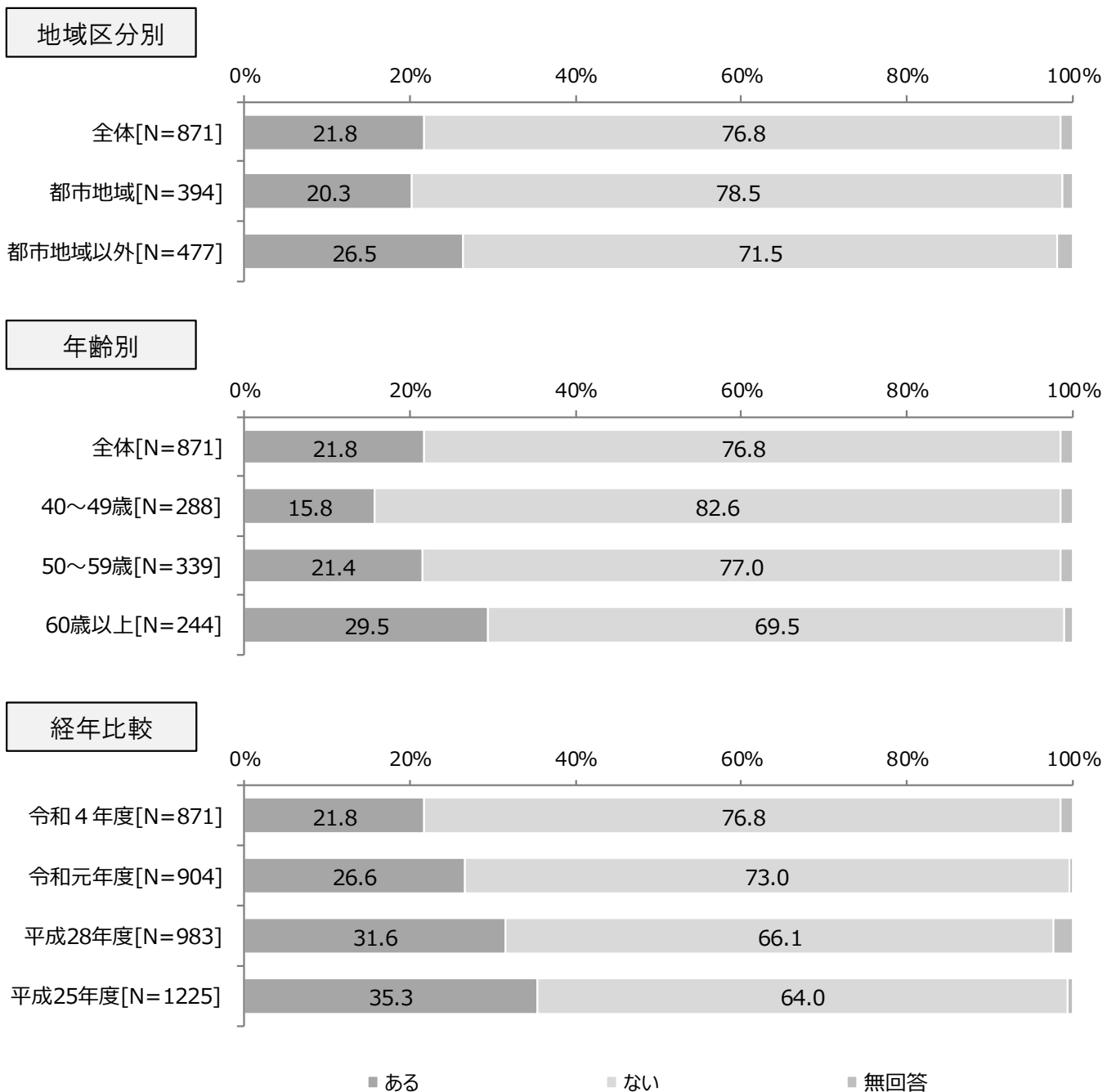
②自宅で家族を看取った経験の有無

問19 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

自宅で家族を看取った経験の有無について聞いたところ、「ない」が76.8%、「ある」が21.8%となっています。
年齢別では、年齢が上がるにつれ「ある」の割合が多くなっています。

経年比較では、「ある」の割合が徐々に減っています。

図表 20 自宅で家族を看取った経験の有無

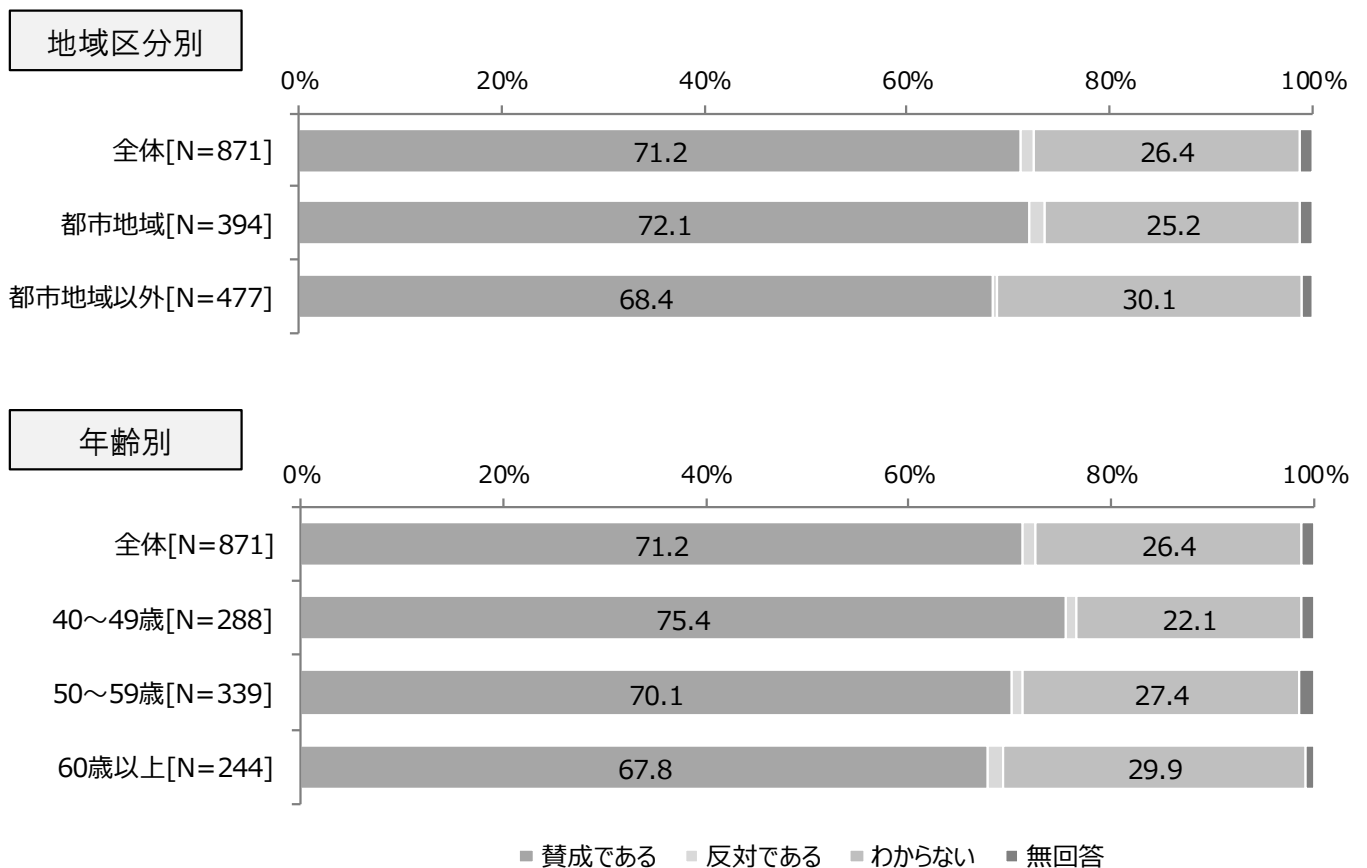


③リビング・ウィルに対する意見

問20 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと(リビング・ウィル)について、どう思いますか。(最も近いもの1つに○)

リビング・ウィルに対する意見については、「賛成である」が71.2%、「わからない」が26.4%となっています。年齢別では、年齢が下がるにつれ「賛成である」の割合が多くなっています。

図表 21 リビング・ウィルに対する意見

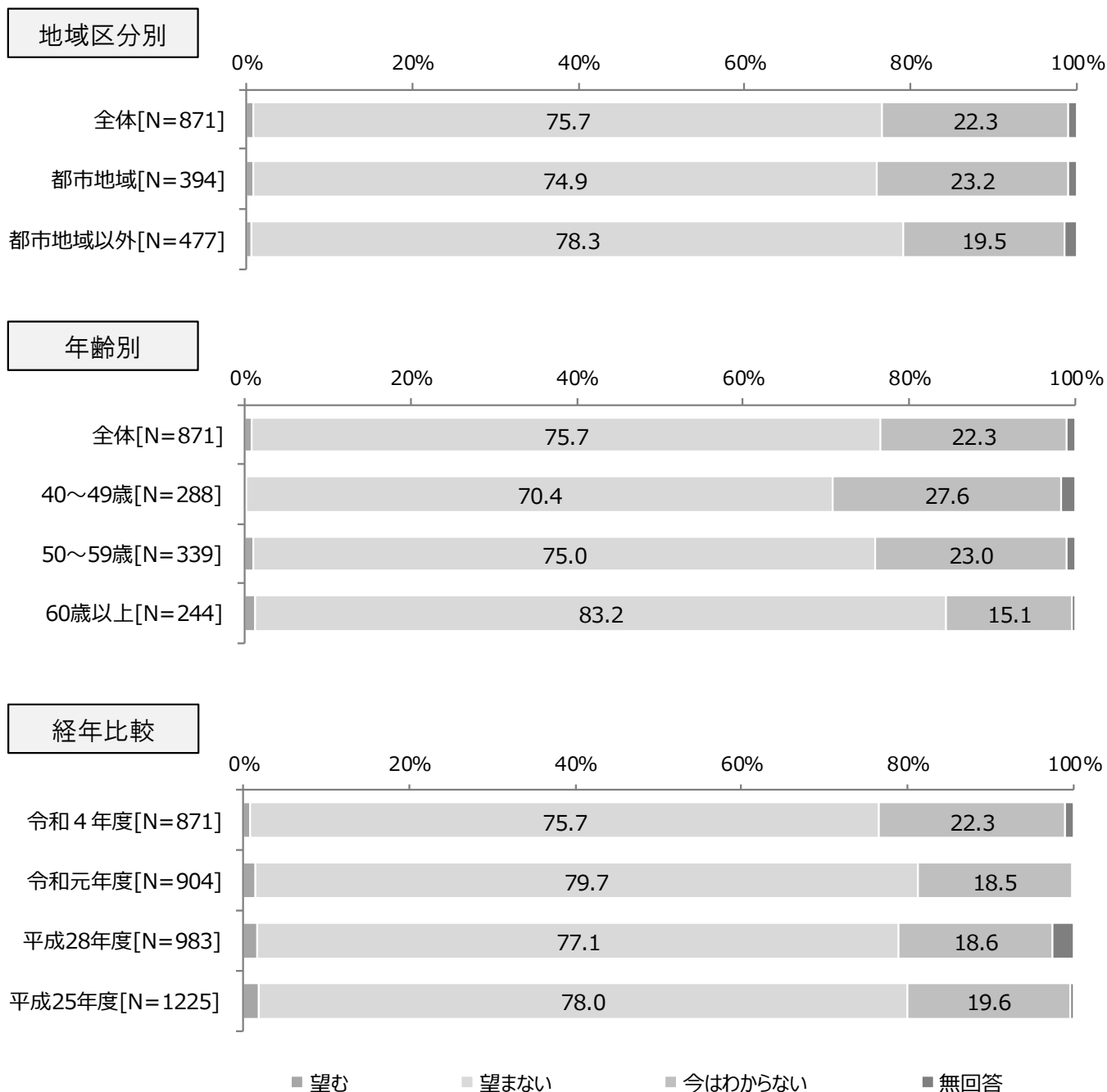


④延命治療の希望

問21 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療の希望については、「望まない」が75.7%、「今はわからない」が22.3%となっています。
年齢別では、年齢が上がるにつれ「望まない」の割合が多くなっています。

図表 22 延命治療の希望



⑤最期を過ごしたい場所

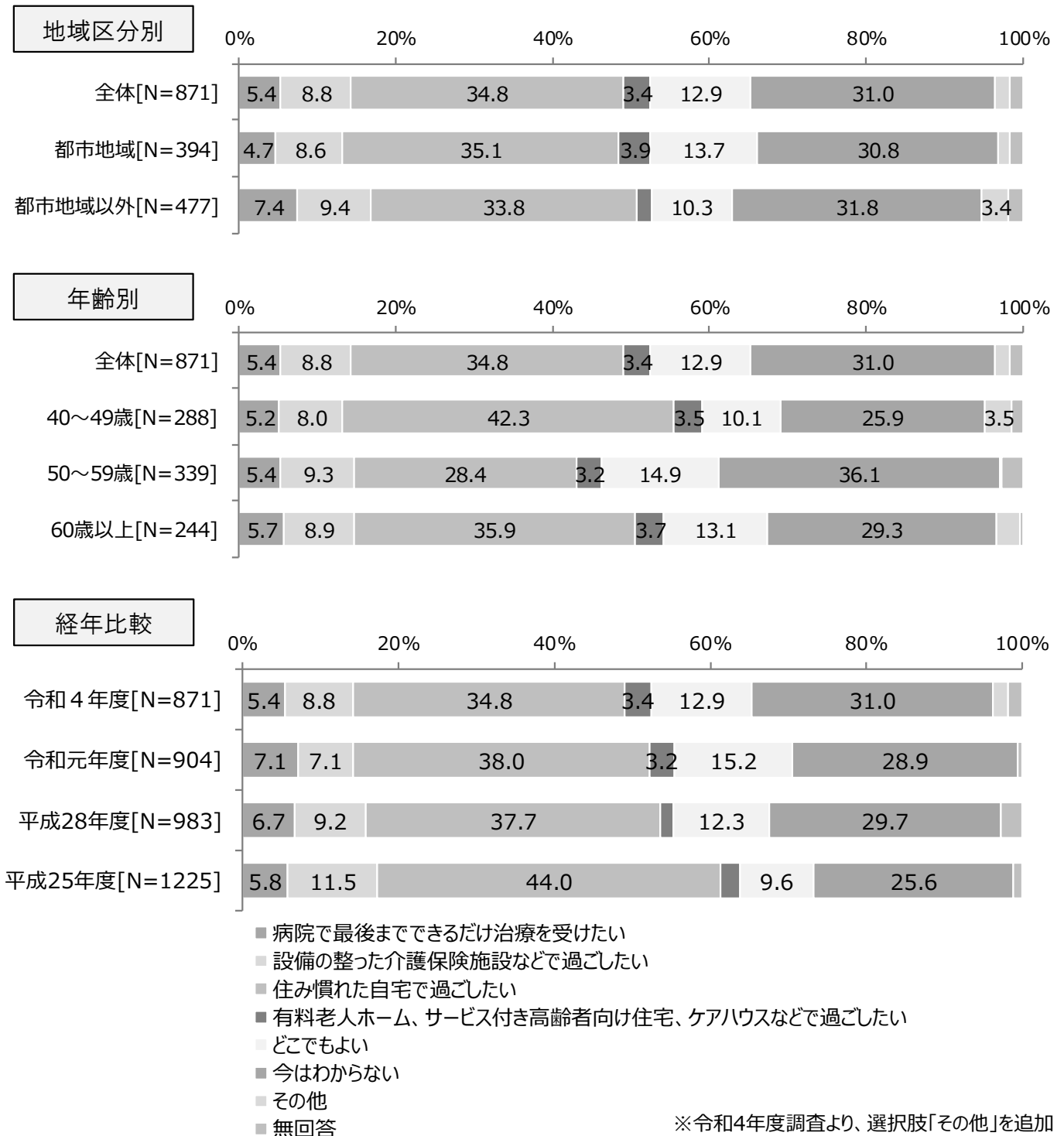
問22 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われますか。(最も近いもの1つに○)

自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が34.8%、「今はわからない」が31.0%、「どこでもよい」が12.9%等となっています。

年齢別では、40～49歳で、「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が多くなっています。

経年比較では、「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が徐々に減っています。

図表 23 最期を過ごしたい場所



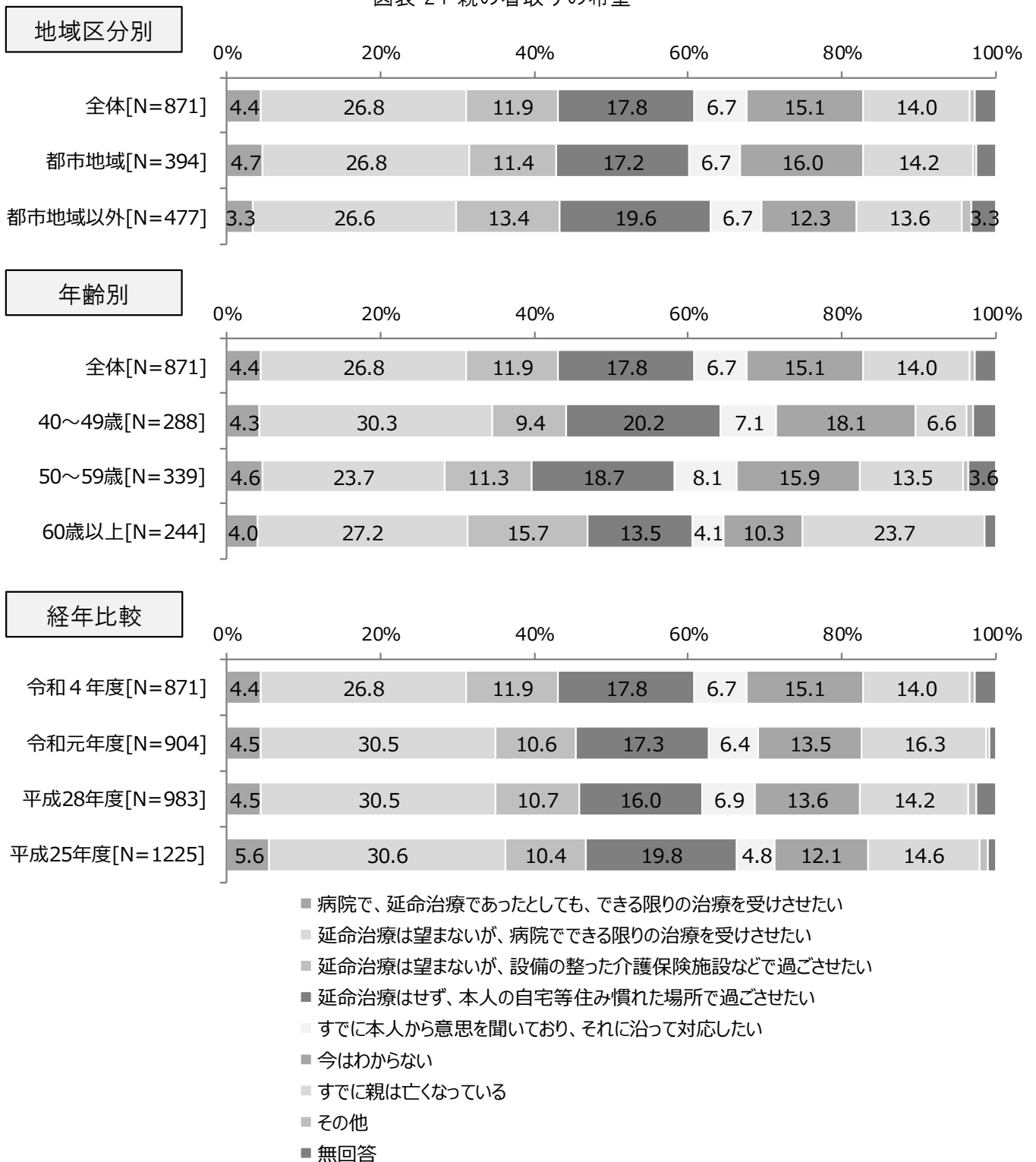
⑥親の看取りの希望

問23 もしも、あなたの親に死期が迫っており、本人の意思確認が難しい状態になったら、あなたはどのように看取りたいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

親の看取りに関する希望を聞いたところ、「延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい」が26.8%と最も多く、「延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい」が17.8%で続いています。「すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」は6.7%となっています。

年齢別では、40～49歳では「延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい」の割合が多くなっています。

図表 24 親の看取りの希望



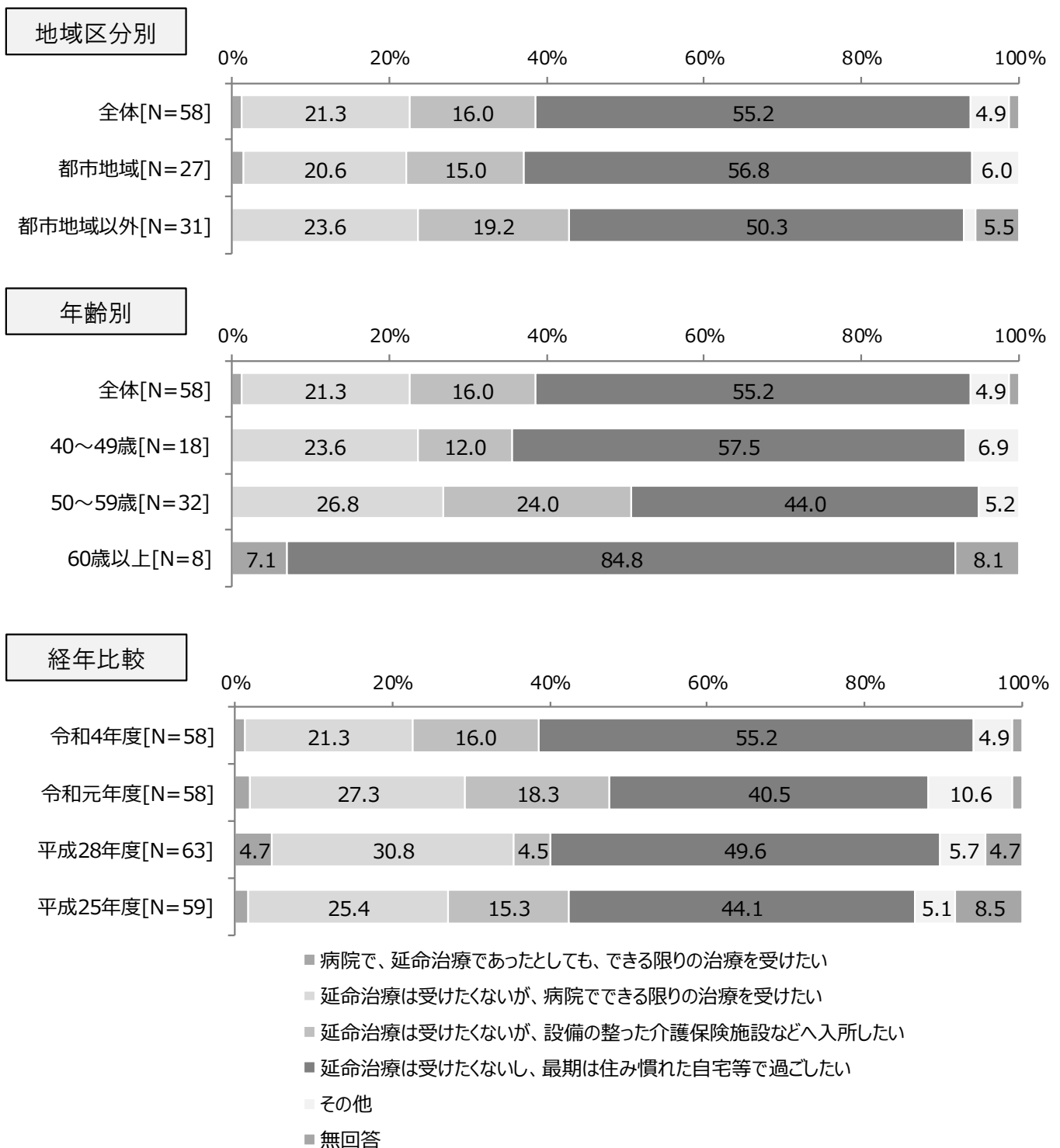
⑦終末期に関する親の意思

問24 前の問で「5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」と答えた方におたずねします。それはどのような意思ですか。(最も近いもの1つに○)

看取りについて、親から意思を聞いていると回答した人に、その内容について聞いたところ、「延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい」が55.2%、「延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい」が21.3%等となっています。

経年比較では、「延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい」の割合が増えています。

図表 25 終末期に関する親の意思



(7) 家族介護の状況などについて

①介護が必要な家族の有無

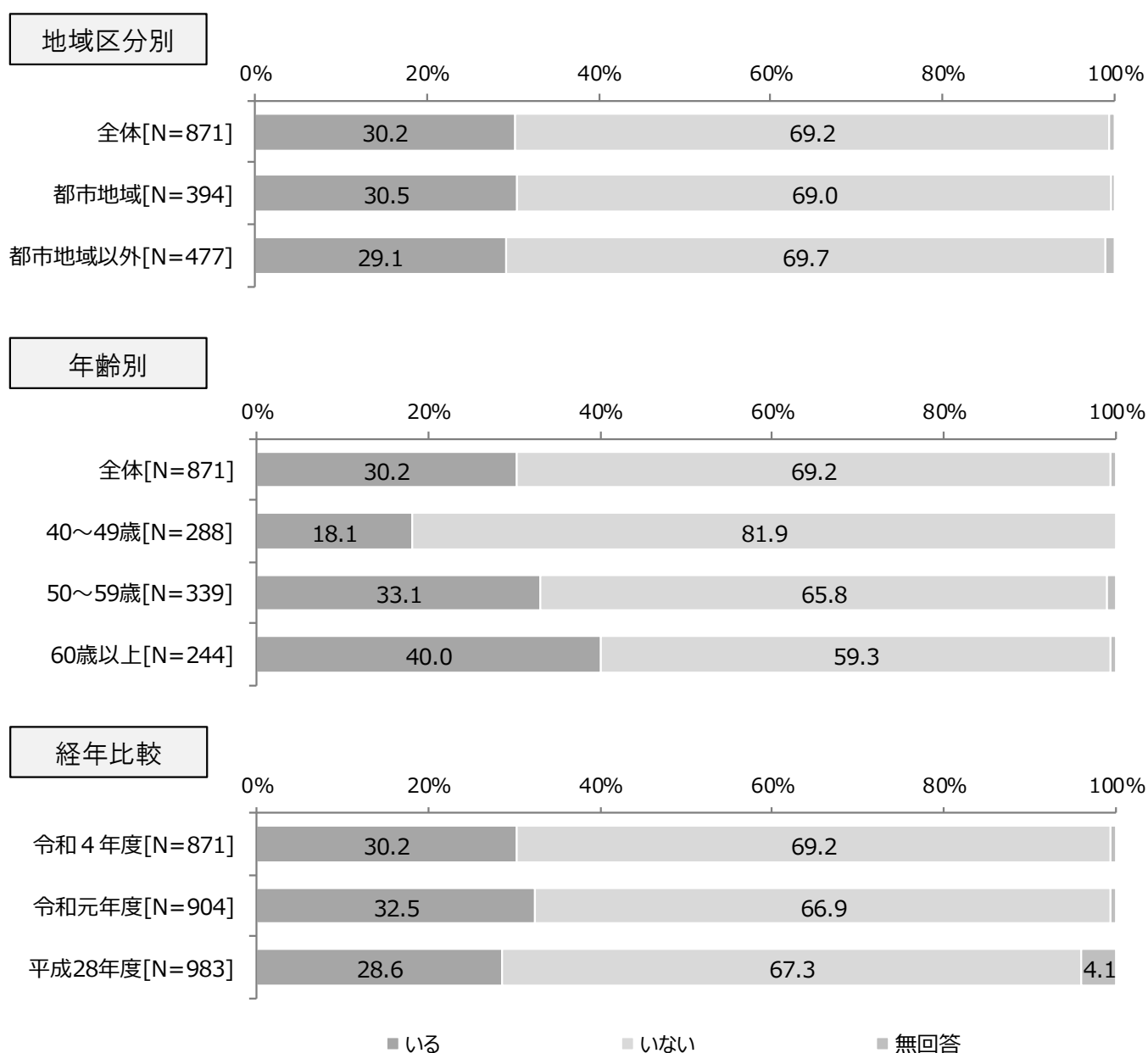
問25 あなたのご家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(いずれか1つに○)

介護が必要な家族の有無については、「いない」が69.2%、「いる」が30.2%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「いる」の割合が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 26 介護が必要な家族の有無



②家族介護への関わり

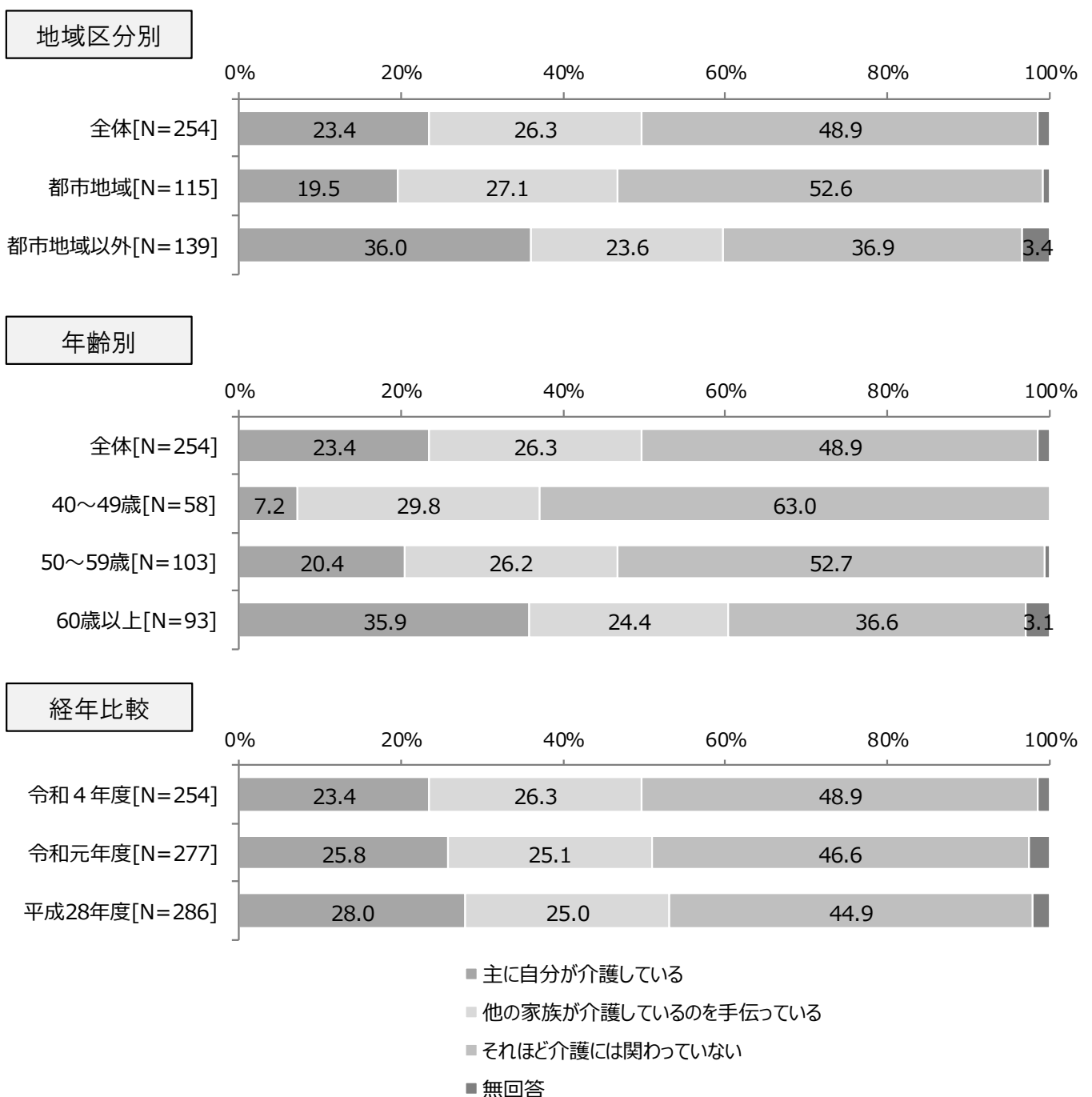
問26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1)あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

介護が必要な家族のいる人に、家族介護への関わりについて聞いたところ、「それほど介護には関わっていない」が48.9%と最も多くなっています。「主に自分が介護している」は23.4%、「他の家族が介護しているのを手伝っている」は26.3%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「主に自分が介護している」の割合が多くなっています。

図表 27 家族介護への関わり



③介護辞職等の状況

問26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

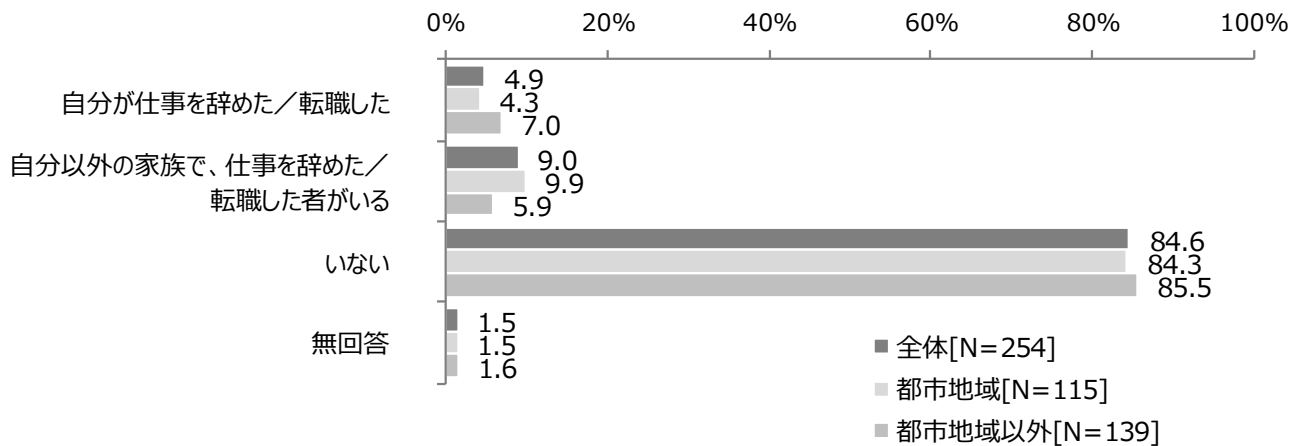
(2)ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

介護が必要な家族のいる人に、家族の中で介護辞職等をした人がいるかどうかを聞いたところ、「自分が仕事を辞めた／転職した」は4.9%、「自分以外の家族で、仕事を辞めた／転職した者がいる」は9.0%となっています。

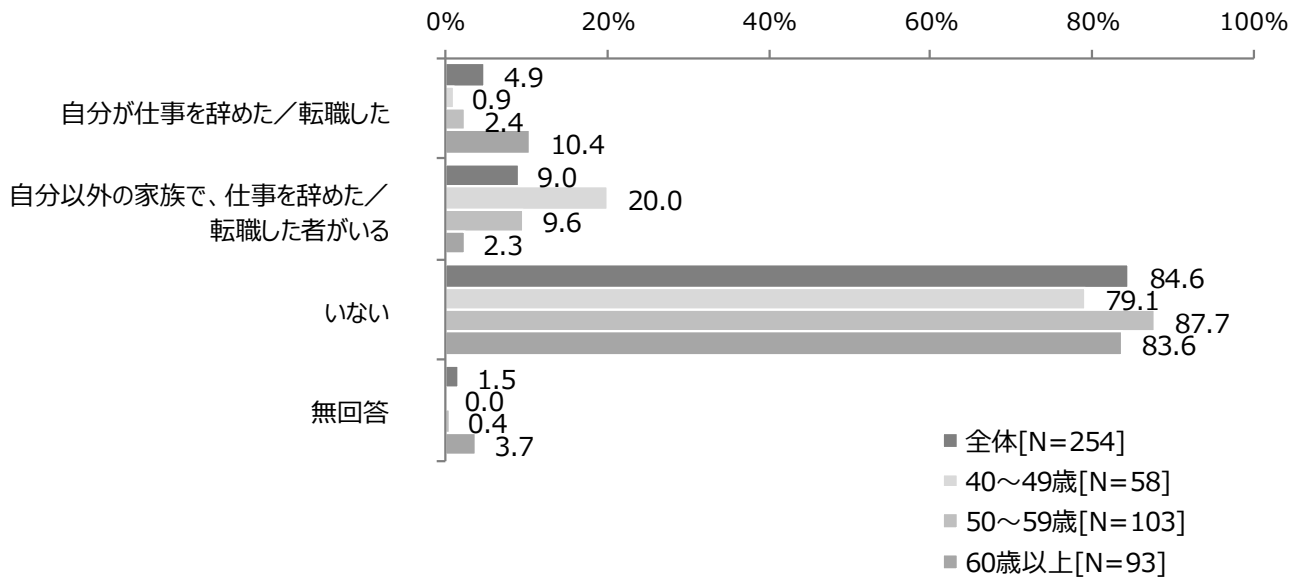
年齢別では、60歳以上で、「自分が仕事を辞めた／転職した」の割合が多くなっています。

図表 28 介護辞職等の状況（複数回答）

地域区分別



年齢別



④介護で困っていることなど

問26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

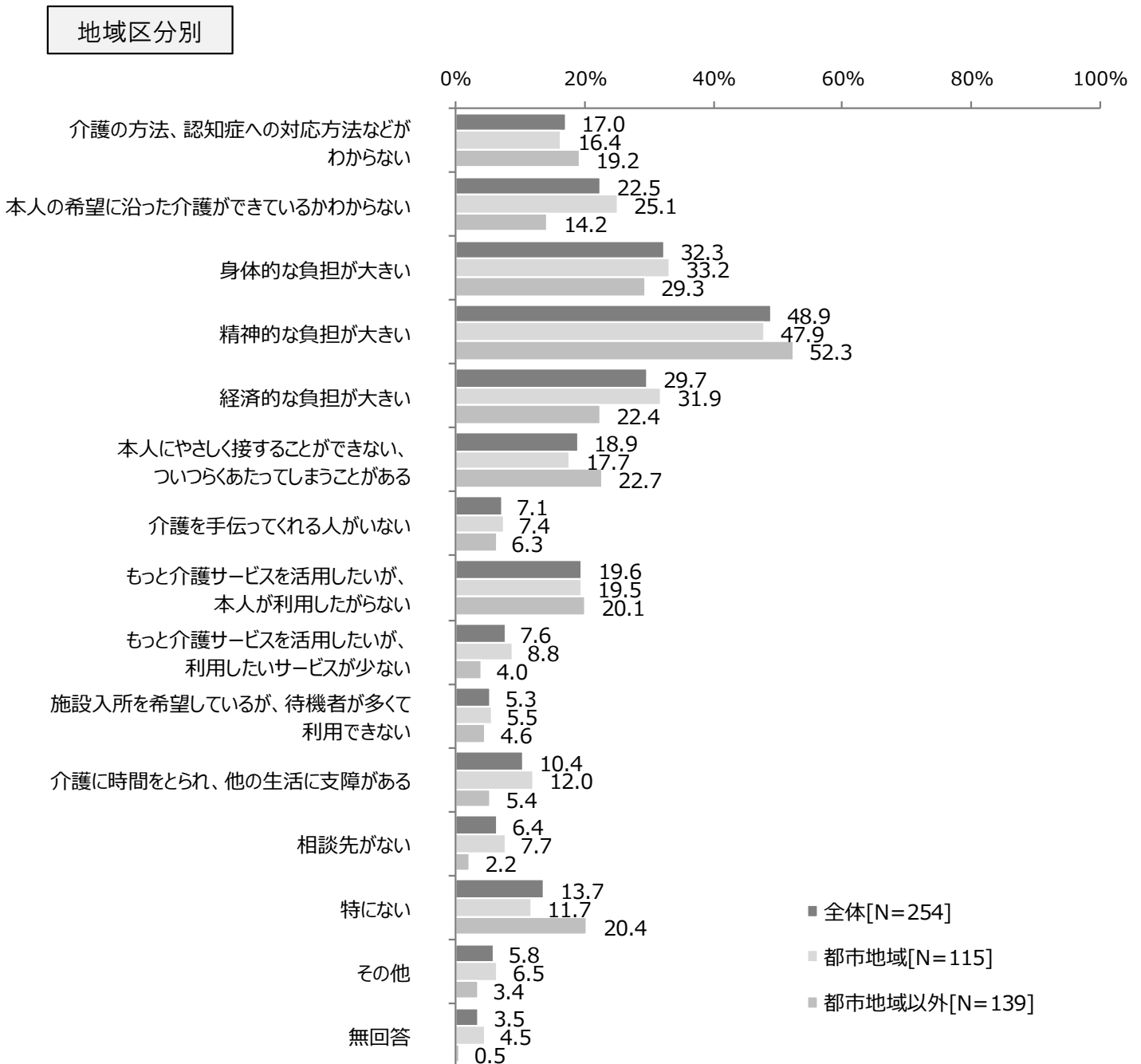
(3)介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

介護が必要な家族のいる人に、介護で困っていることなどについて聞いたところ、「精神的な負担が大きい」が48.9%と最も多く、次いで、「身体的な負担が大きい」が32.3%、「経済的な負担が大きい」29.7%等となっています。

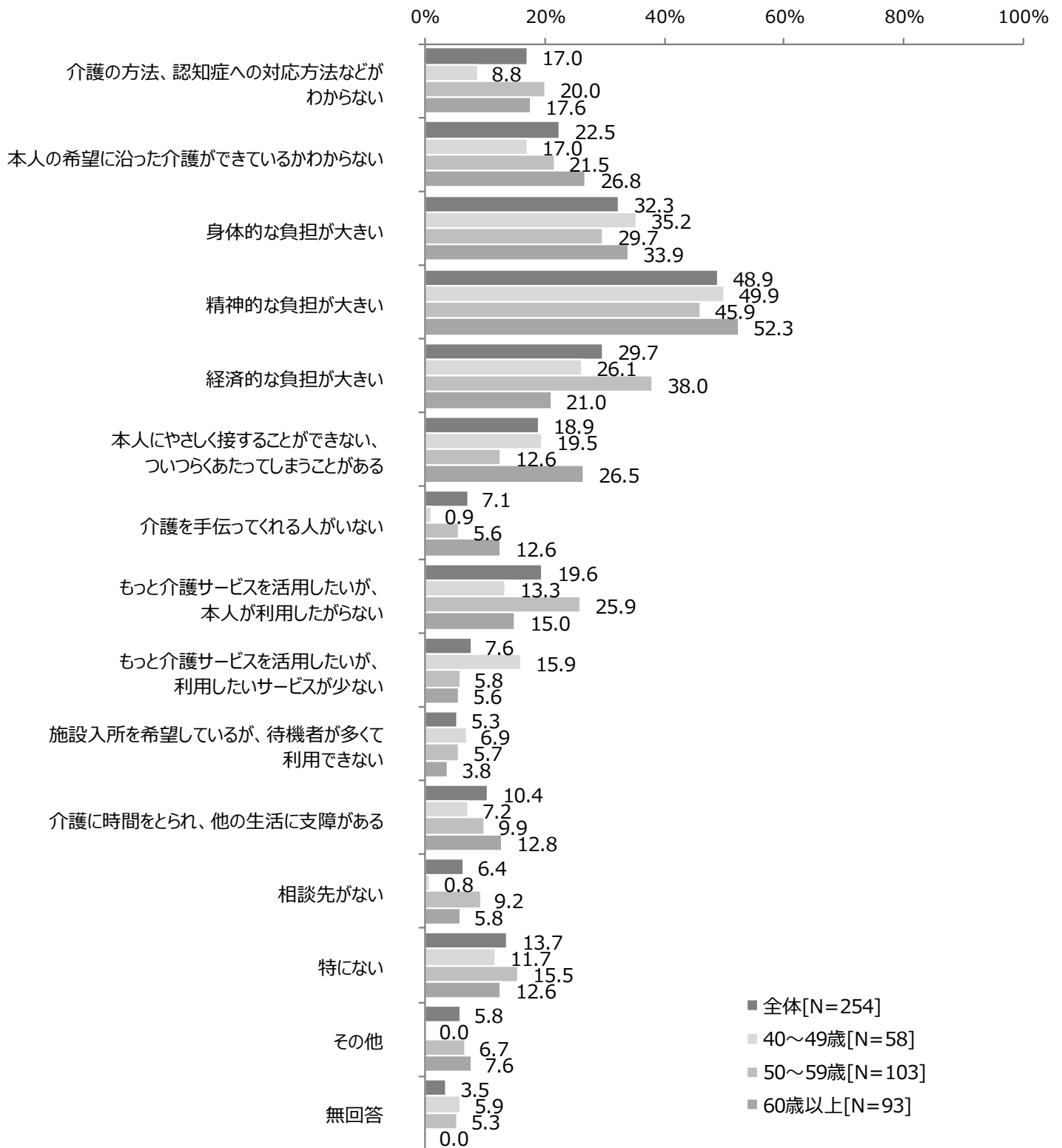
地域区分別では、都市地域で都市地域以外に比べて「本人の希望に沿った介護ができていない」「経済的な負担が大きい」の割合が多くなっています。

年齢別では、50～59歳で「経済的な負担が大きい」「もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したくない」の割合が多くなっています。

図表 29 介護で困っていることなど（複数回答）



年齢別



(8) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

① 高齢者の生活支援事業参加への興味

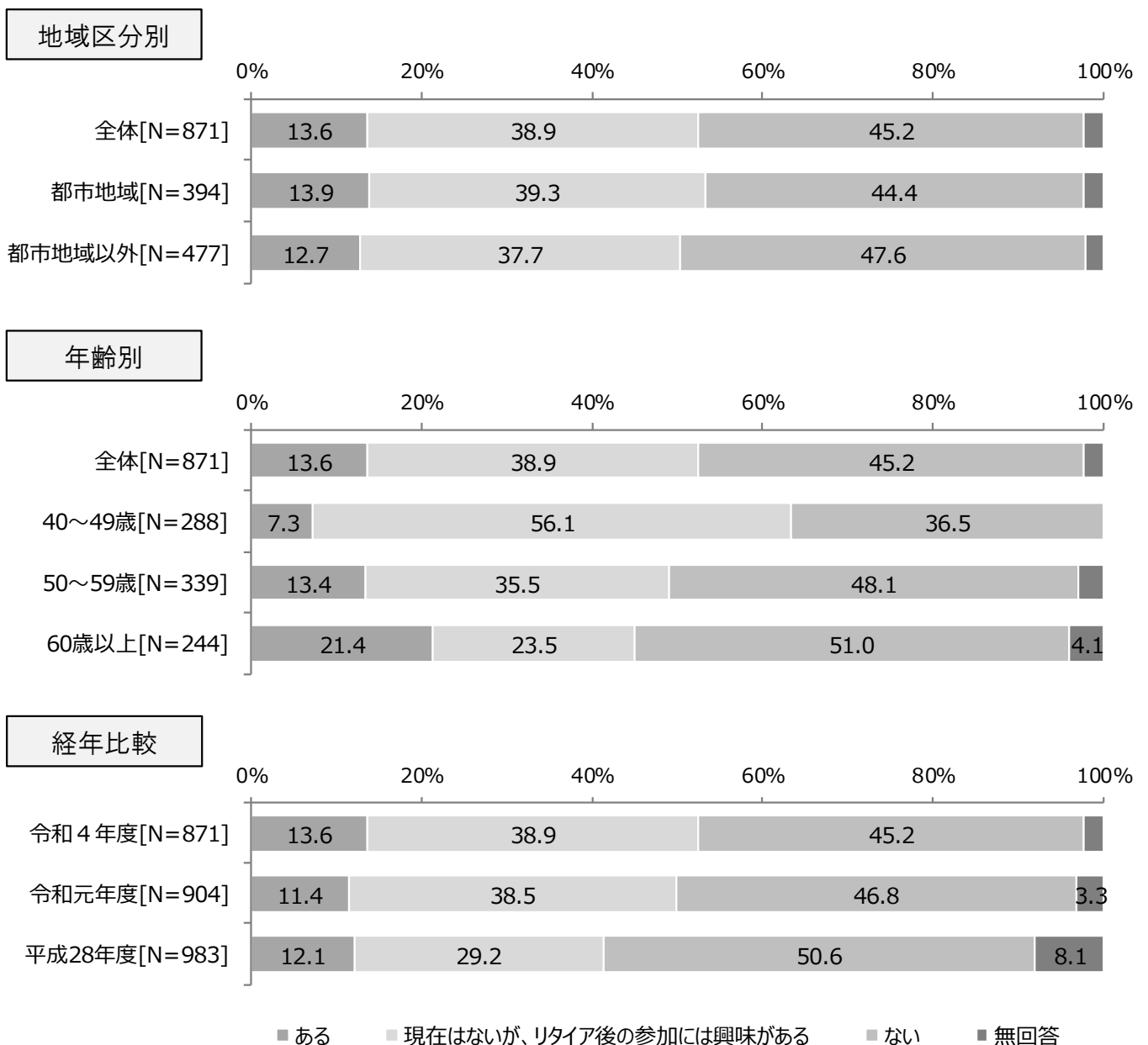
問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業に参加することについて興味があるかどうかを聞いたところ、「ない」が45.2%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が38.9%、「ある」が13.6%となっています。

年齢別では、40～49歳の半数以上が「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」となっている一方、年齢が上がるにつれ「ある」「ない」の割合が多くなっています。

経年比較では、「ない」の割合が徐々に減ってきています。

図表 30 高齢者の生活支援事業参加への興味



②高齢者支援事業への参加の仕方の希望

問28 前の問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

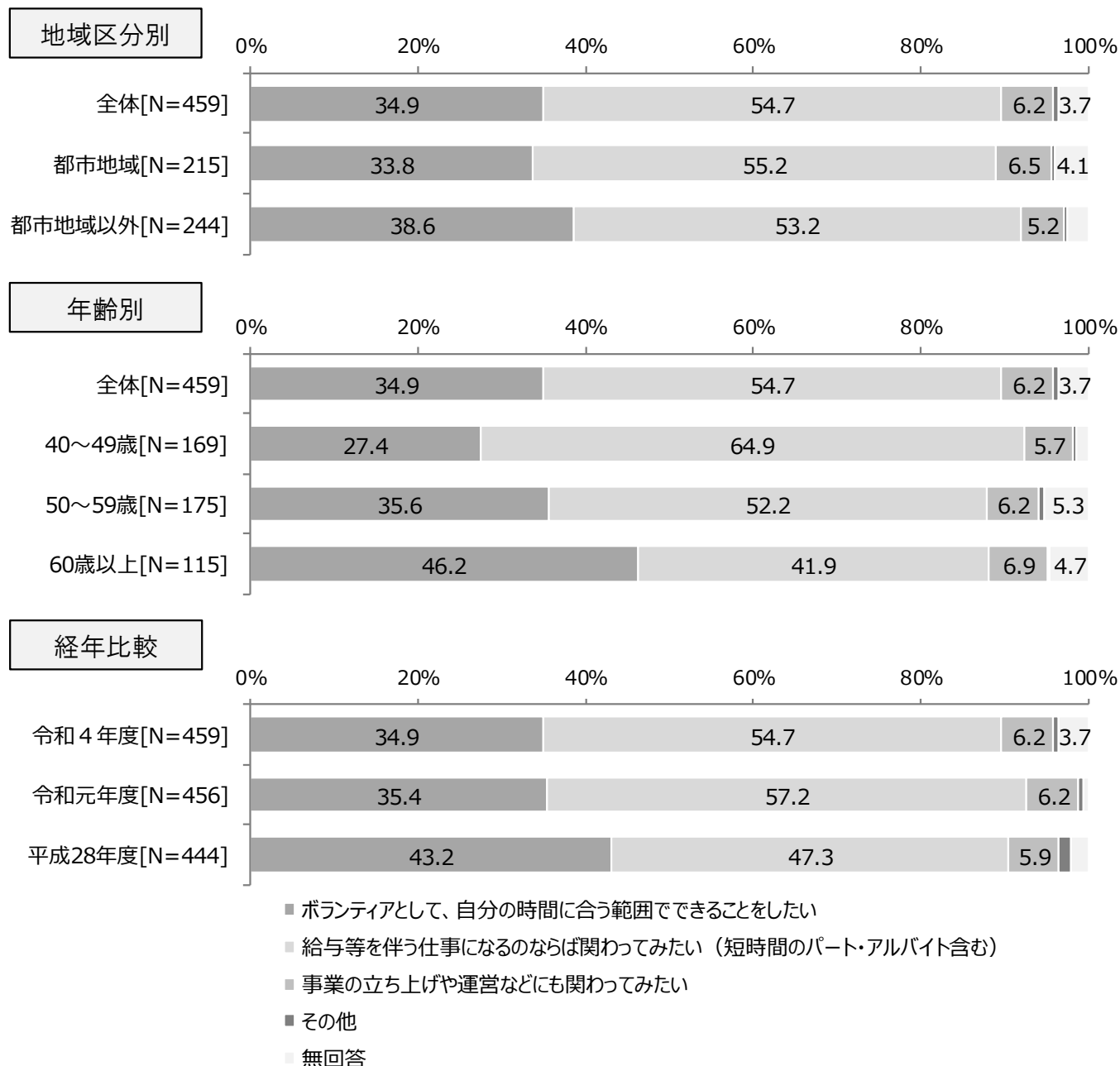
高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、その参加の仕方の希望を聞いたところ、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が54.7%、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が34.9%となっています。

地域区分別では、都市地域で「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」、都市地域以外は「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」の割合がそれぞれ多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」の割合が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 31 高齢者支援事業への参加の仕方の希望



(9) 介護保険制度等について

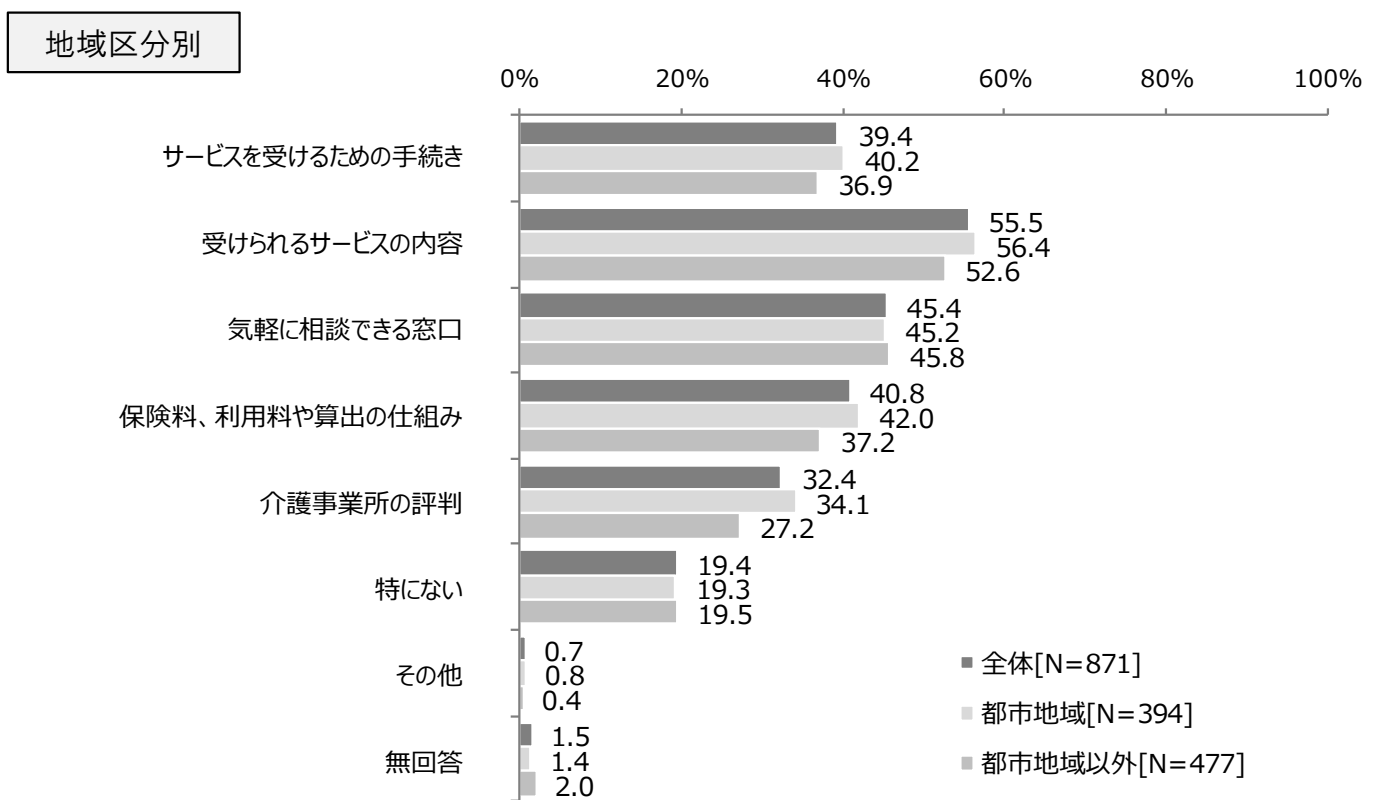
①介護保険制度やサービスについて知りたいこと

問29 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

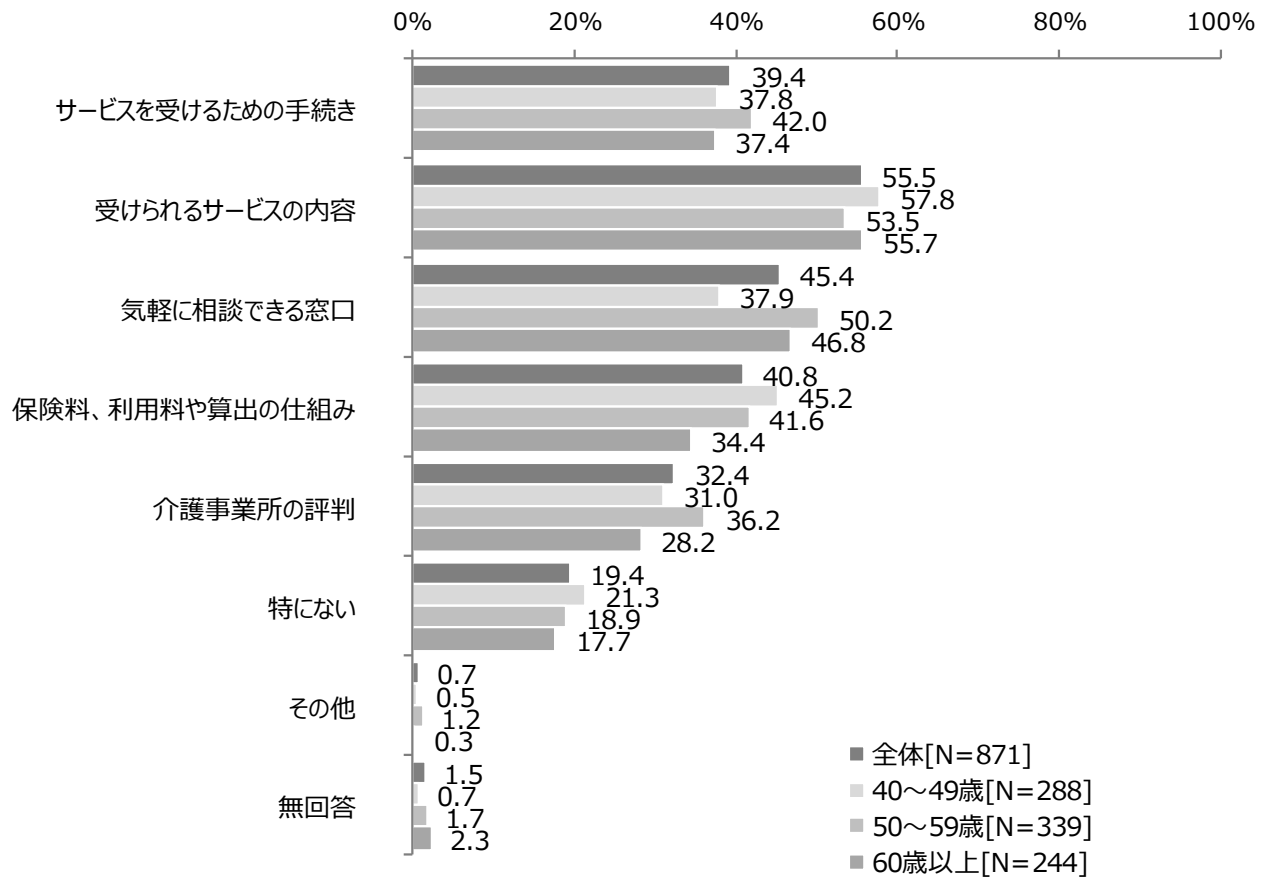
介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことを聞いたところ、「受けられるサービスの内容」が55.5%と最も多く、次いで、「気軽に相談できる窓口」が45.4%、「保険料、利用料や算出の仕組み」が40.8%等と続いています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「保険料、利用料や算出の仕組み」の割合が少なくなっています。

図表 32 介護保険制度やサービスについて知りたいこと（複数回答）



年齢別



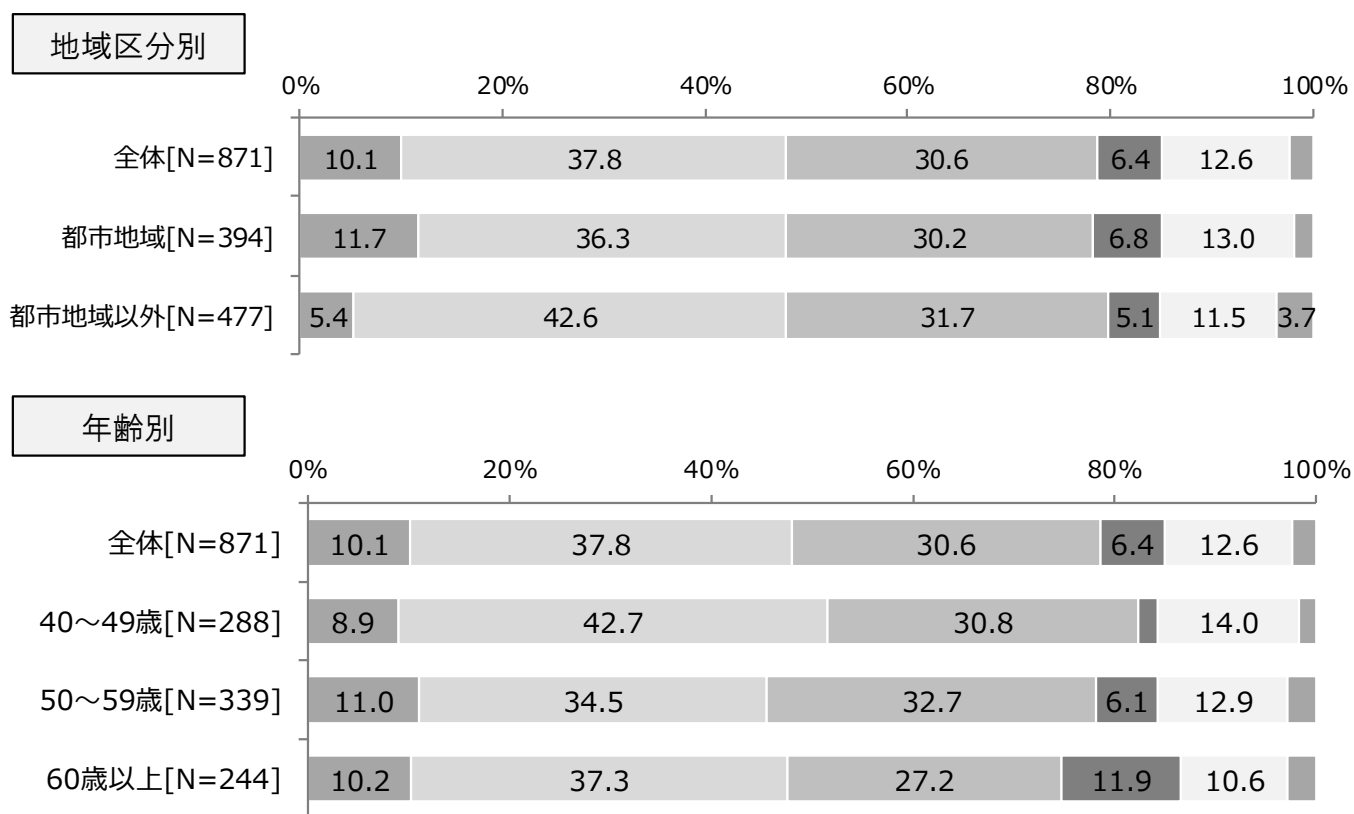
②介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方

問30 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険のサービスと保険料の負担について、考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が37.8%と最も多く、次いで、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が30.6%等と多くなっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき」の割合が多くなっています。

図表 33 介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

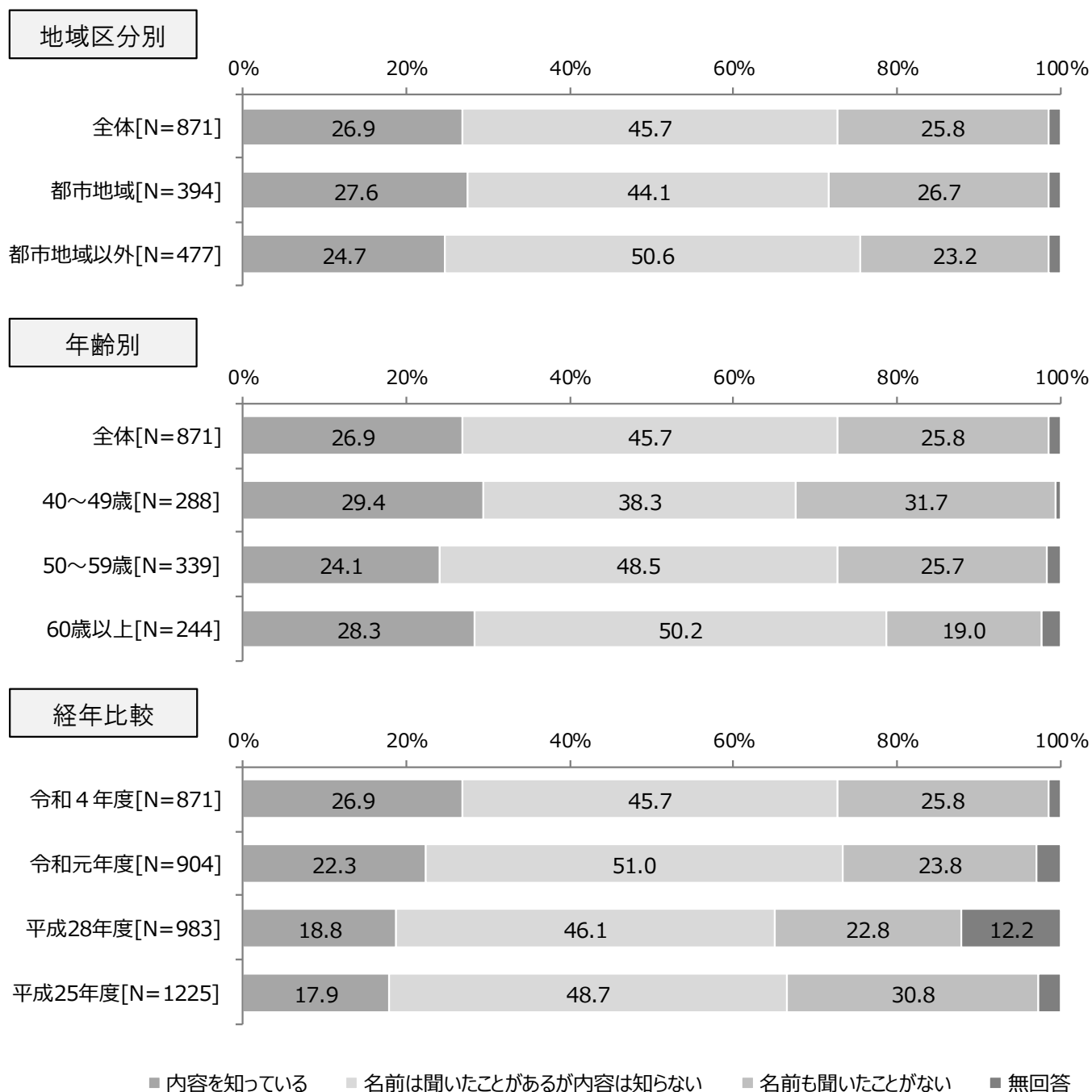
③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

問31 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について知っているかどうかを聞いたところ、「内容を知っている」は26.9%、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は45.7%で、合わせると7割以上の人が名前は認知しています。「名前も聞いたことがない」は25.8%となっています。

経年比較では、徐々に「内容を知っている」の割合が増えています。

図表 34 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況



(10) 認知症について

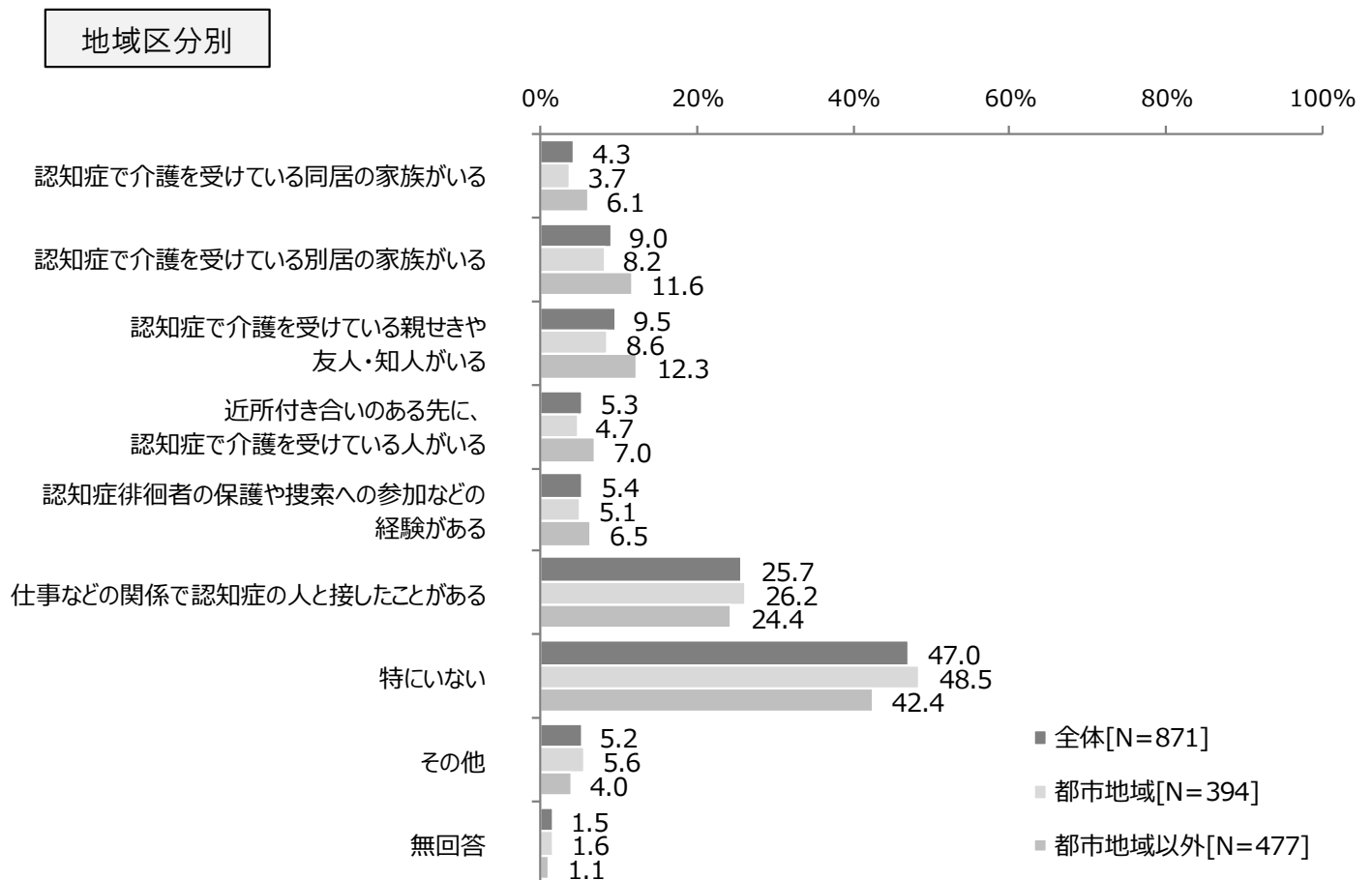
①認知症の人との関わり

問32 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

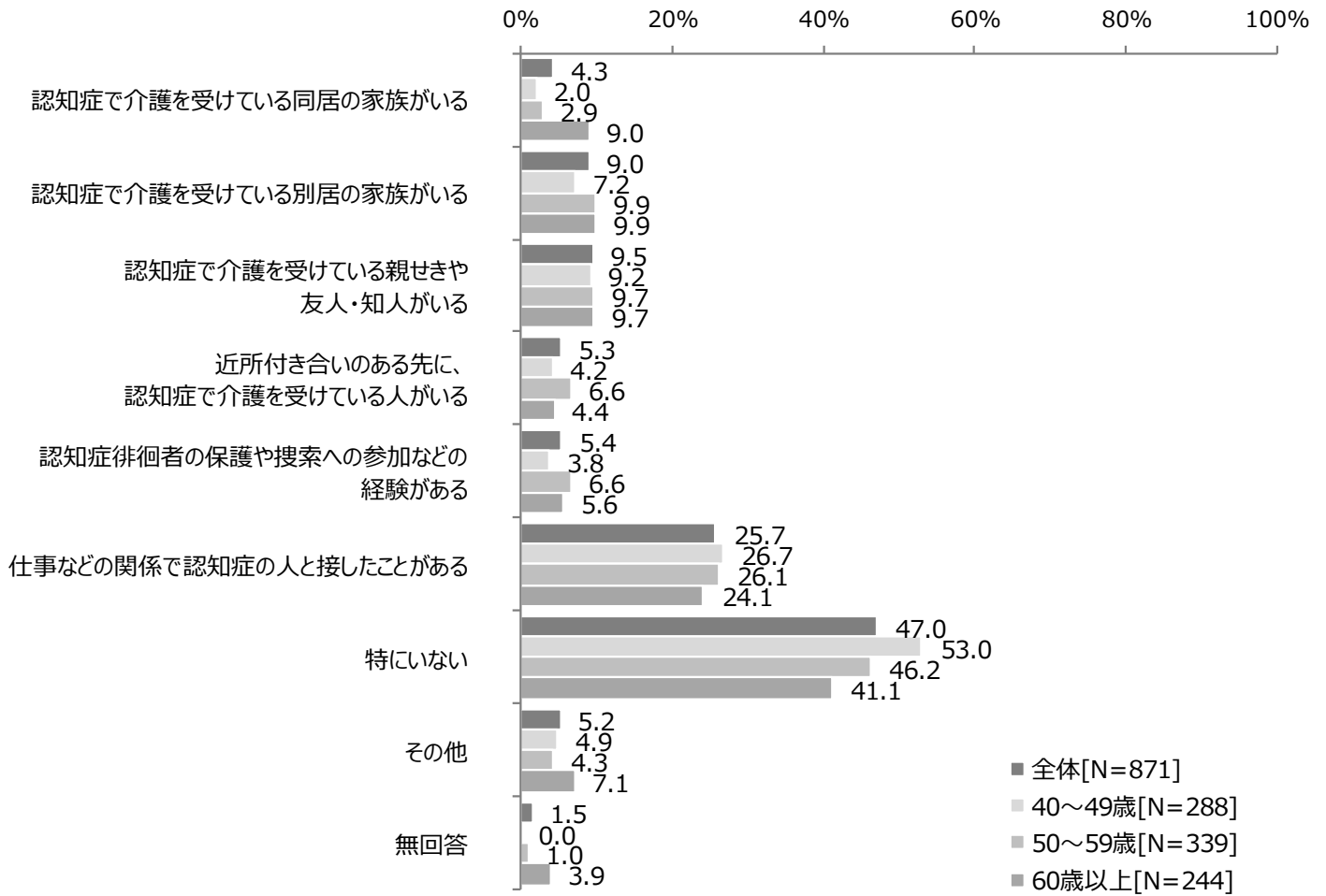
認知症の人との関わりの有無を聞いたところ、「特にいない」が47.0%となっています。関わりのある人では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が25.7%と最も高く、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が9.5%、「認知症で介護を受けている別居の家族がいる」が9.0%等となっています。

年齢別では、年齢が下がるにつれ「特にいない」の割合が多くなっています。

図表 35 認知症の人との関わり（複数回答）



年齢別



②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

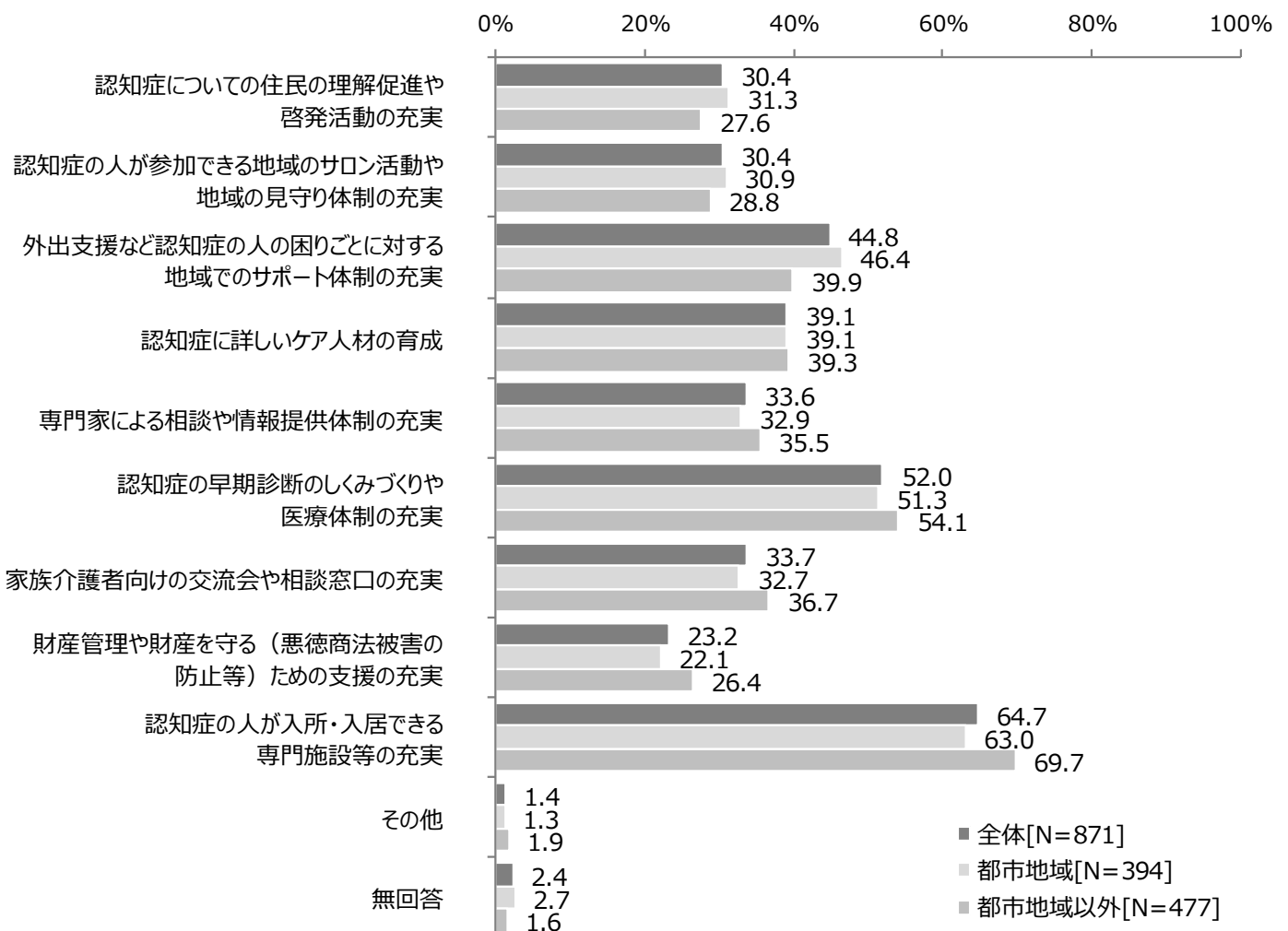
問33 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が64.7%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が52.0%、「外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実」が44.8%、「認知症に詳しいケア人材の育成」が39.1%、「家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実」が33.7%等と続いています。

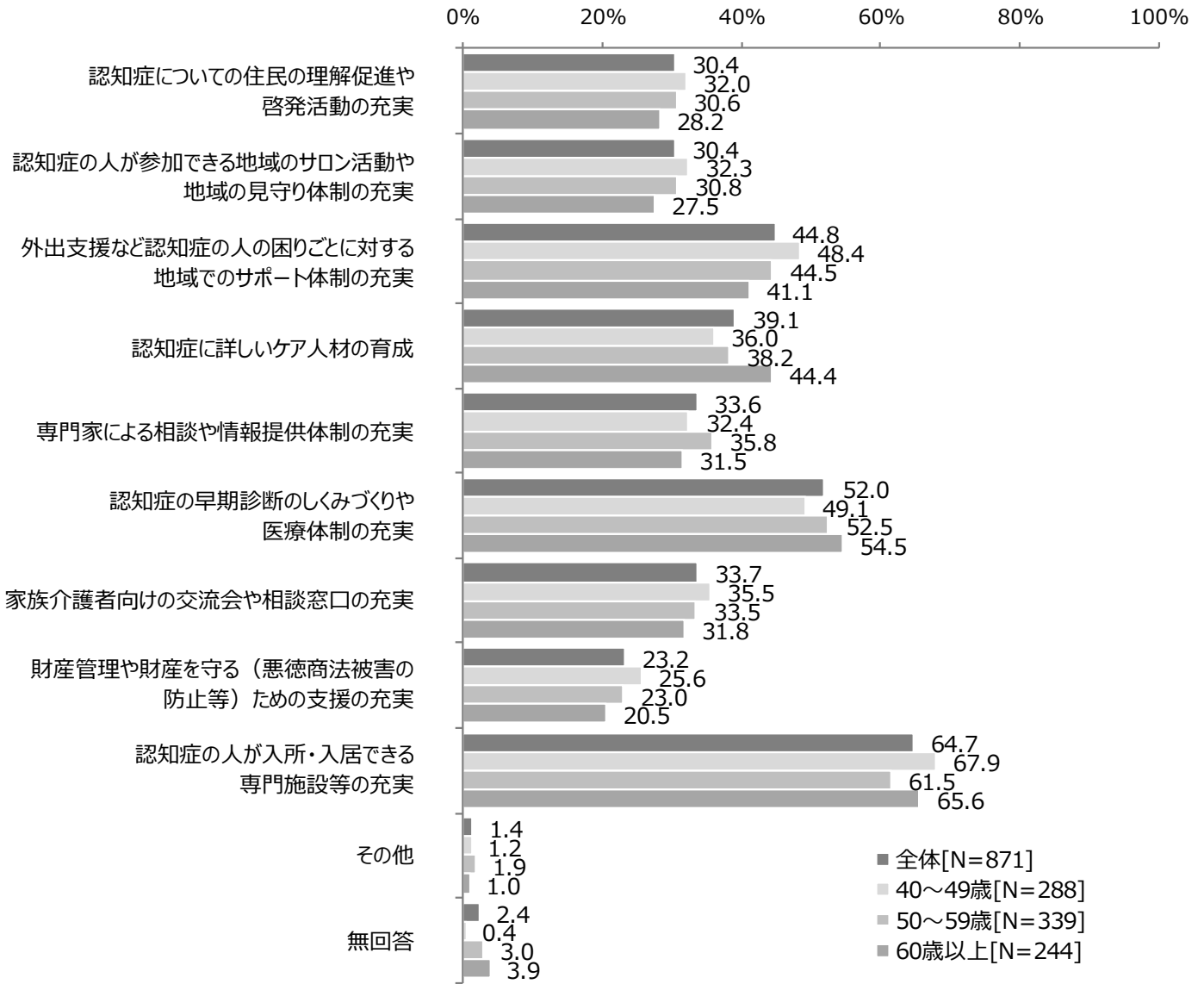
年齢別では、年齢が上がるにつれ「認知症に詳しいケア人材の育成」「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」の割合が多くなっています。

図表 36 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）

地域区分別



年齢別



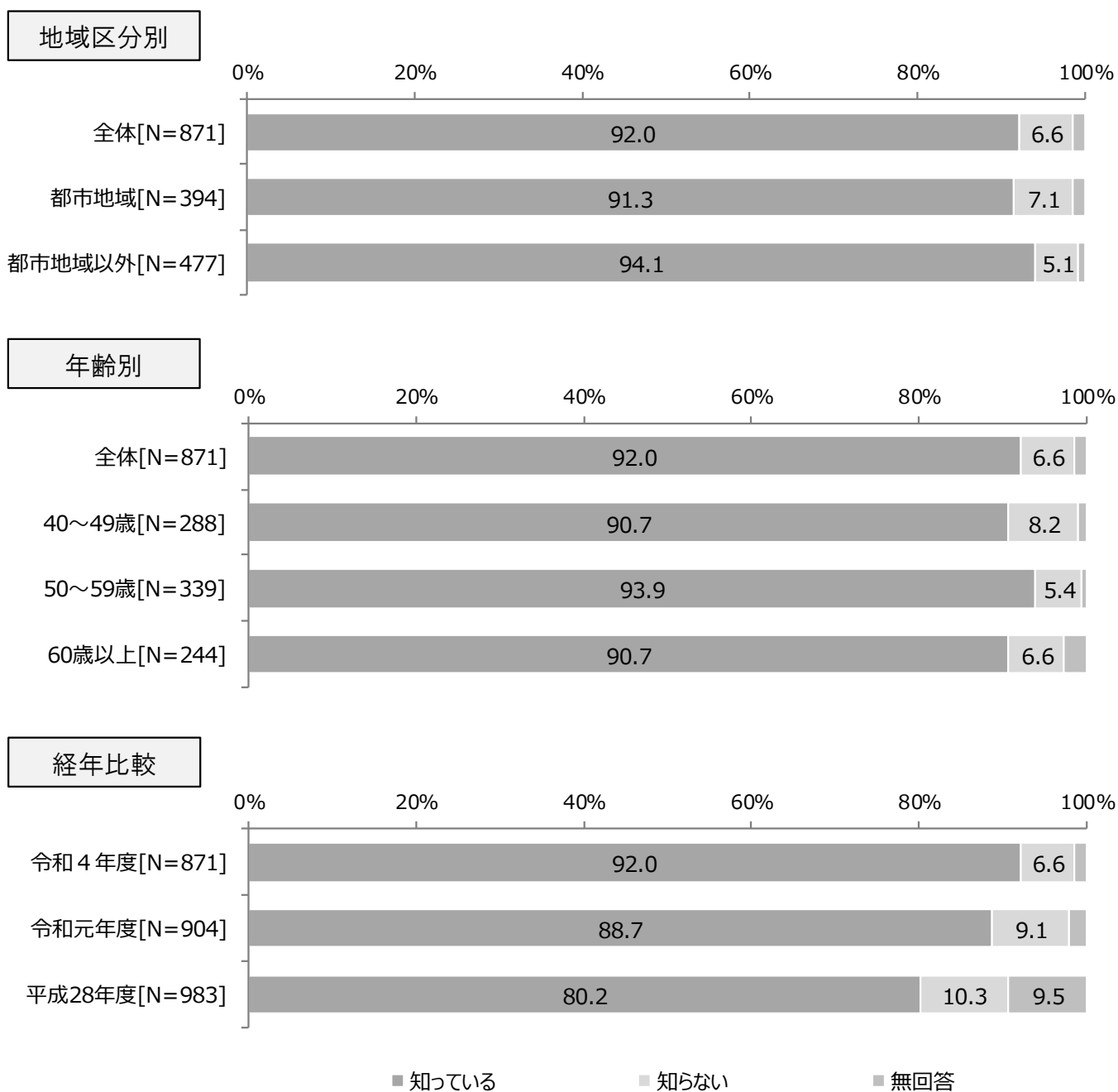
③若年性認知症の認知状況

問34 若年性認知症についてお聞きします。あなたは、「若年性認知症」(65歳未満で発症した認知症のこと)という言葉をご存知でしたか。(いずれか1つに○)

若年性認知症について知っているかどうかを聞いたところ、「知っている」が92.0%、「知らない」が6.6%となっています。

経年比較で見ると、徐々に「知っている」の割合が増えています。

図表 37 若年性認知症の認知状況



④若年性認知症の人との関わり

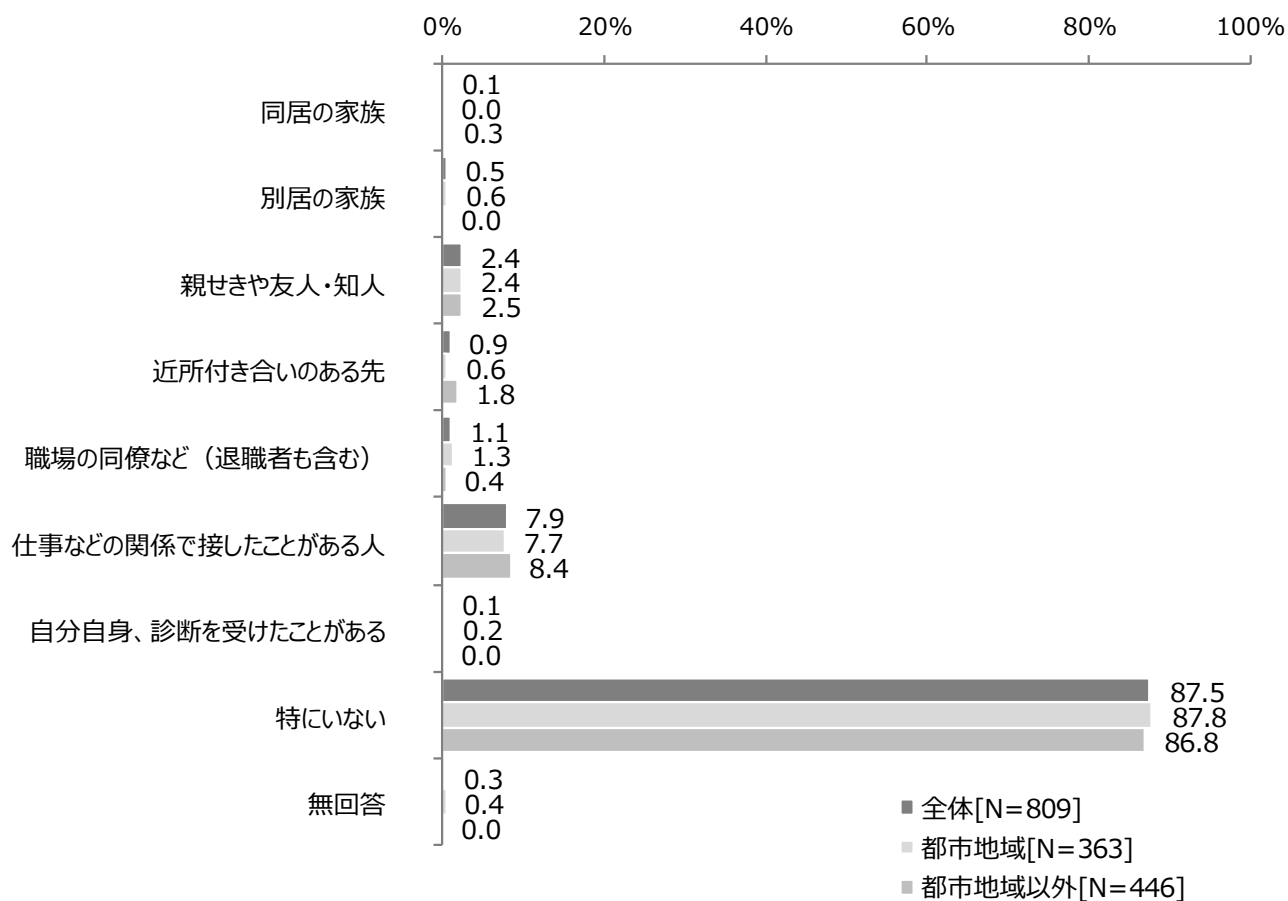
問35 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

(1)あなたの身の回りで、若年性認知症で介護を受けている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

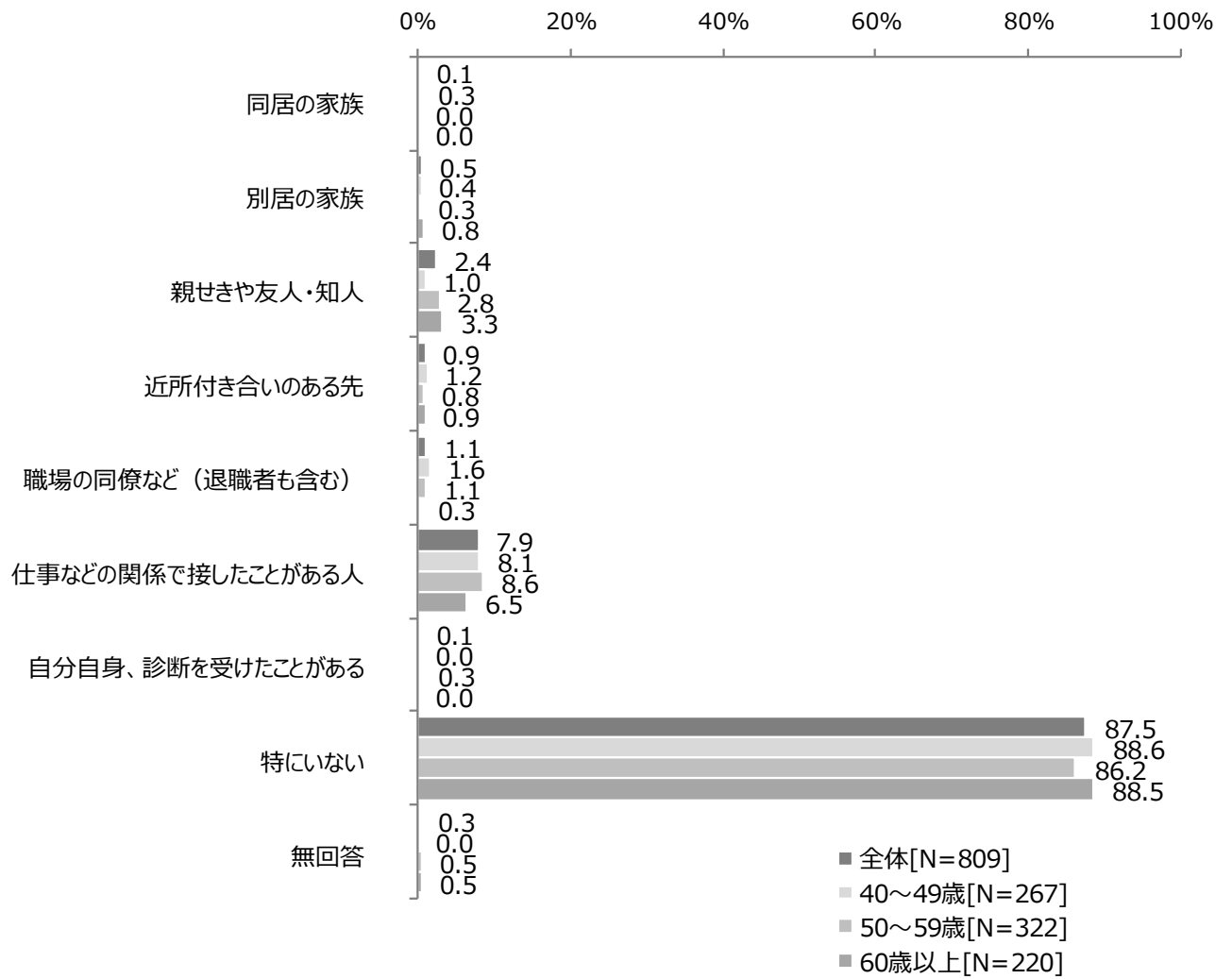
若年性認知症を知っている人に、若年性認知症の人との関わりについて聞いたところ、「特にいない」が87.5%と多くなっています。関わりのある人では、「仕事などの関係で接したことがある」が7.9%等となっています。

図表 38 若年性認知症の人との関わり（複数回答）

地域区分別



年齢別



⑤若年性認知症への支援

問35 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

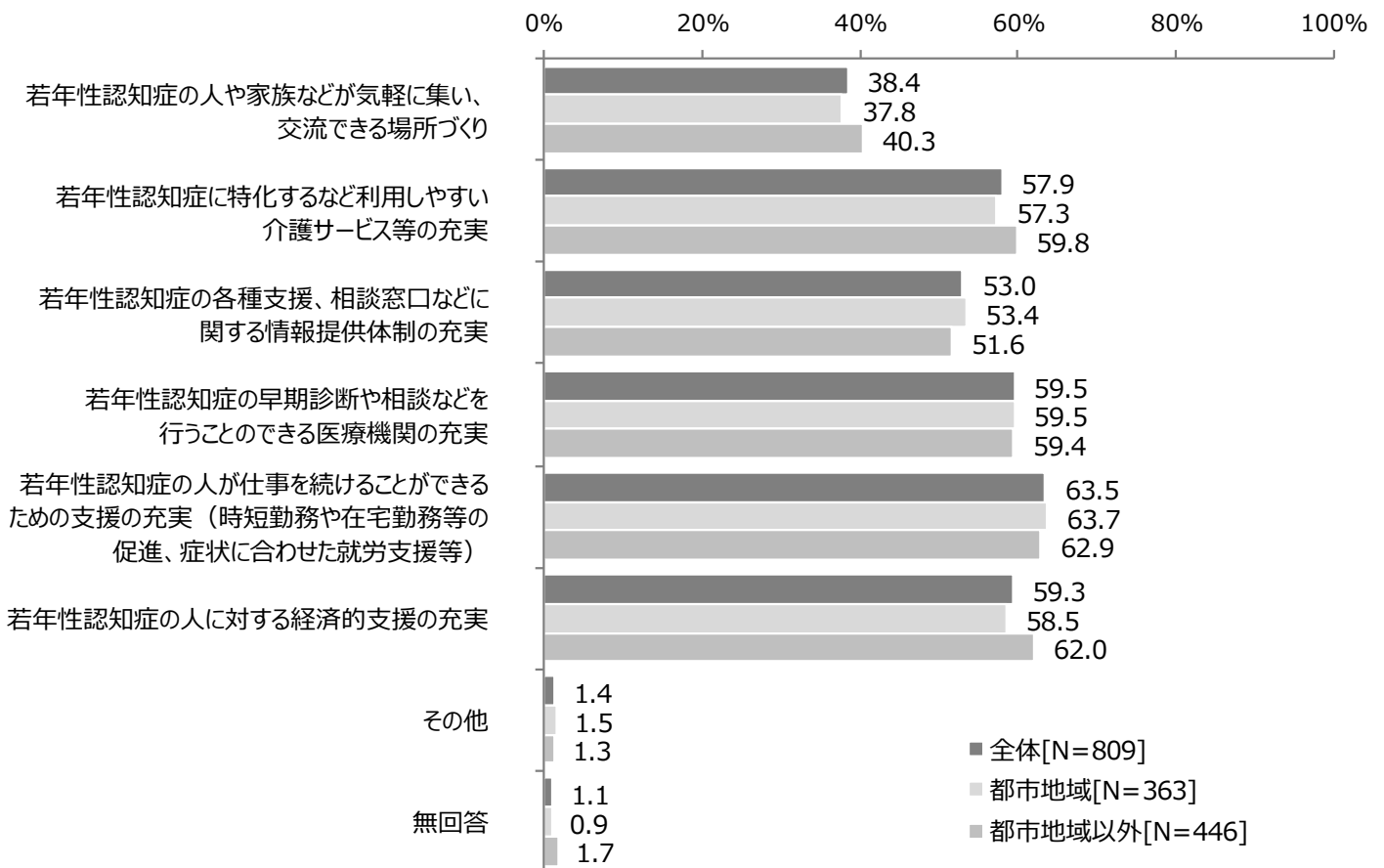
(2)若年性認知症は、現役世代で認知症を発症するため、本人の仕事に支障が生じて経済的に困難な状況になる、家族への影響が大きい、高齢者でない人に適したサービスが少ないなど、高齢者の認知症とは異なるいろいろな問題があります。あなたは、若年性認知症の人に、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

若年性認知症への支援について必要と思うことを聞いたところ、「若年性認知症の人が仕事を続けることができるための支援の充実（時短勤務や在宅勤務等の促進、症状に合わせた就労支援等）」が63.5%と最も多く、「若年性認知症の早期診断や相談などを行うことのできる医療機関の充実」が59.5%、「若年性認知症の人に対する経済的支援の充実」が59.3%、「若年性認知症に特化するなど利用しやすい介護サービス等の充実」が57.9%等と続いています。

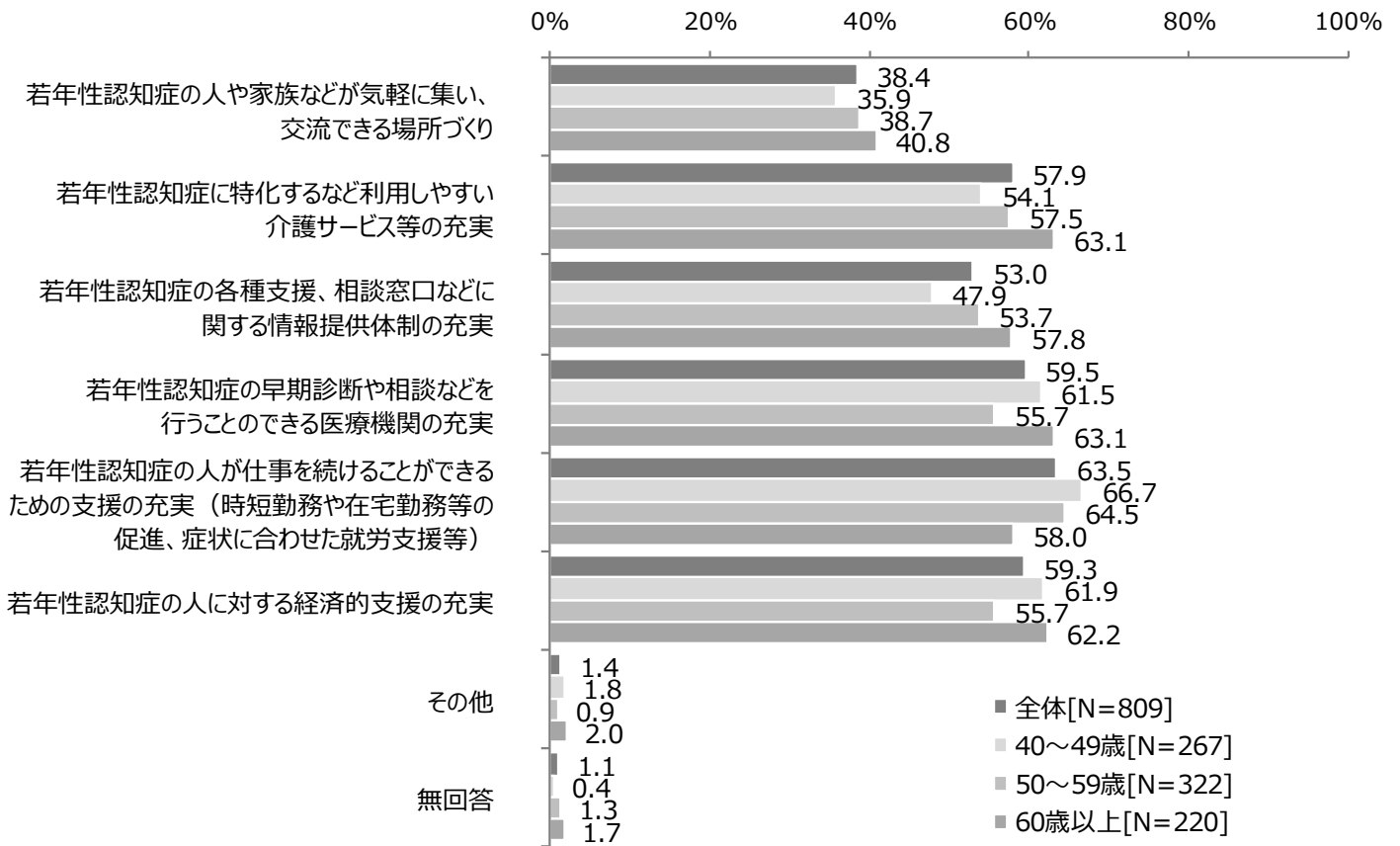
年齢別では、年齢が上がるにつれ「若年性認知症に特化するなど利用しやすい介護サービス等の充実」「若年性認知症の各種支援、相談窓口などに関する情報提供体制の充実」等の割合が多くなっています。

図表 39 若年性認知症への支援（複数回答）

地域区分別



年齢別

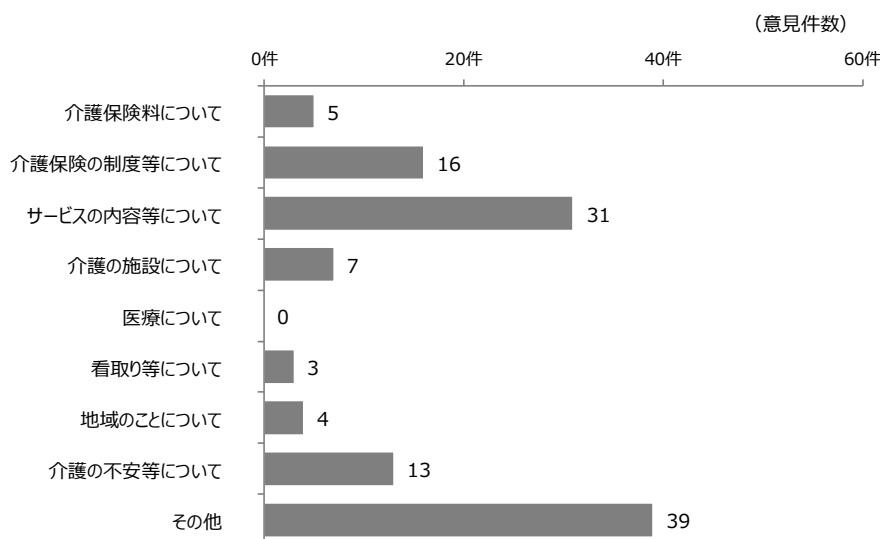


(11) 自由意見

問36 高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスの内容など）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

自由意見は、118件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。サービスの内容や介護保険の制度等についての意見が多くなっています。

図表 40 自由意見の意見内容の内訳



【主な意見】

（介護保険料について）

- 介護保険料は所得の高い人ほど負担を大きくするのが良いと思います。低所得の人ほど負担を軽くすべきです。
- 働く場がもっとあっても良いのでは。介護保険料がこんなに高いと生活が苦しくなる。介護保険料を引き下げるよう取り組んでいただきたい。現在働いている者にはあまり先のことが見えない。だから働いている。生活費の心配があるのに介護のことまで心配が増える。死ぬまで心配がつきまとう日本はどうなっているの。
- 少子高齢化にも関わらず、高齢者の支援には増々お金が必要となってきました。介護保険料を上げるのにも限界がある以上、福祉に関連するところ以外でいかに無駄な税金を使っているか見直す必要があると思います。

（介護保険の制度等について）

- 福祉施設で働いています。思うことはやはり介護度5の寝たきりの方はもちろんですが、それ以上に認知症の方に対する介護の難しさです。それにもかかわらず、要介護1、2だからといって今、支援を止めようという方向性へ向かっているのは大きな間違いだと思います。確かに自分で食事をしたり、トイレへ行けるかもしれませんが、行動自体目を離せない方ということ、もっともっと声を大にして言いたいと思います。
- 介護職員が働きやすいように給料の底上げや職業の価値そのものをもっと見直して、永久に不可欠な仕事であることを皆が理解して大事にしてその思いを介護職員に形あるものとして還元していただきたいと思います。
- 認知症であっても身体に問題がなければ介護認定がなかなかおりにくいように思います。本人の暴言、暴力、被害妄想等は家族の負担が大きいため、認定を受ける場合、それらを十分に考慮していただけたらと思います。
- 無駄に税金を使ってサービスをするのではなく、ケースバイケースで上手に支援してほしい。同居していないといういろいろなサービスが受けることができるようで、同居しないで近所に子供が住んでいるような人は特に得をしているように思います。一緒に生活しているとあまりサービスが受けられないので、不公平に思います。

(サービスの内容等について)

- 高齢者の車の免許証返納が進んできていますが、そのことで、同居の家族の負担がかなり大きくなっています。高齢者の外出支援は早急に対策をとってほしいです。
- 今後さらに高齢化が進む中で、要介護認定を受けるほどでもない人でも買い物や病院への通院などで気軽に送迎などを頼める生活支援サービスの充実が必要なのではないかと思います。
- 要介護の状態にもよるとはいますが、自宅で受けられる生活支援等がもっと充実すれば、介護が必要な場合も可能な限り自宅で過ごしたい人も多いと思います。
- 高齢者になっても、元気で暮らせていけるよう、生きがい、楽しみなどを見いだせる場所、集いが身近にある生活環境が必要だと思います。生活支援もちろん必要ですが、まずは、できるだけ自分のことを自分でできるよう、すべて与えるのではなく、あくまでもお手伝い！そういったところからサポートしてもらいたいです。
- 介護サービスを受けるのに窓口（入口）が分かりにくかったです。在宅介護中「ムカーツ」とすることもありました。やはり、介護している方へのケアも大切だと思います。
- 生活支援や介護や福祉サービスは、自分の身のまわりに起きないと分からないことが多いと思うので、もっと分かりやすく情報を行き届かせることや相談しやすさが大切だと思います。

(介護の施設について)

- 未使用公共施設の高齢者福祉施設への利用を促進するための補助制度等の充実。
- 家族で在宅介護していますが、目を離せない状態で悩まされております。老人ホーム待機減少してほしいです。
- 要介護3の父を介護しています。施設への入所を希望していますが、目途がたらず介護で疲労困憊です。介護休暇をとっていますが、非正規のため給料が減ると生活も苦しいです。制度があっても利用できないなら個人で頑張るしかないのでしょうか。住宅の改修やベッド等のレンタルに関しては、公平に利用できると思いますが、入所に関しては公平性に欠けると感じます。数が足りないのでは仕方ないのでしょうか、年金だけでは介護はできないという広報もしてほしいです。

(看取り等について)

- 自宅で看取りを進めているようですが、現状、自宅ではなかなか死ねない状態と思う。

(地域のこについて)

- ヘルパーに頼れる時代ではもうなくなってきているので、ヘルパーの賃金を上げて増員すると同時に、地域の人の互助の体制を作ることが必要かと思う。
- 一人暮らしの高齢者が近所でも多いので、見守り隊や地域コミュニティも大切だと思います。もっと安価で気軽に「何でもします！」といった方が近所に居ればいいなと思います。

(介護の不安等について)

- 年金生活になった時に、たくさんのお金がかかるサービスは受けられないと思うので、今から心配です。
- 私たちの将来、子供、孫の将来を思うと、不安になります。税金のムダ使いを少しでもなくし、生活が普通にできるようにしていただきたいです。
- 要介護1, 2はサービスの対象から外れる、とニュースで聞いた。要介護1, 2は必ず誰かの手助けが必要な状況なのにこれはひどい。要介護3からしか老人ホームに入れないというし、自宅でいても、「1, 2」なら自費になるし、高齢者はいったいどうすればよいのだろうか。
- 現在の少子高齢化が進んでいる状態の中で、老いてからの生活で不安を感じるしかない正直なところ感じている。自分たちの世代が収めた税金や年金が自分たちの必要となる時に有効に適正に支給されないのでは？と感じている。今以上に自分の老後を明るい未来であると思える状況に国として考えていただきたい。

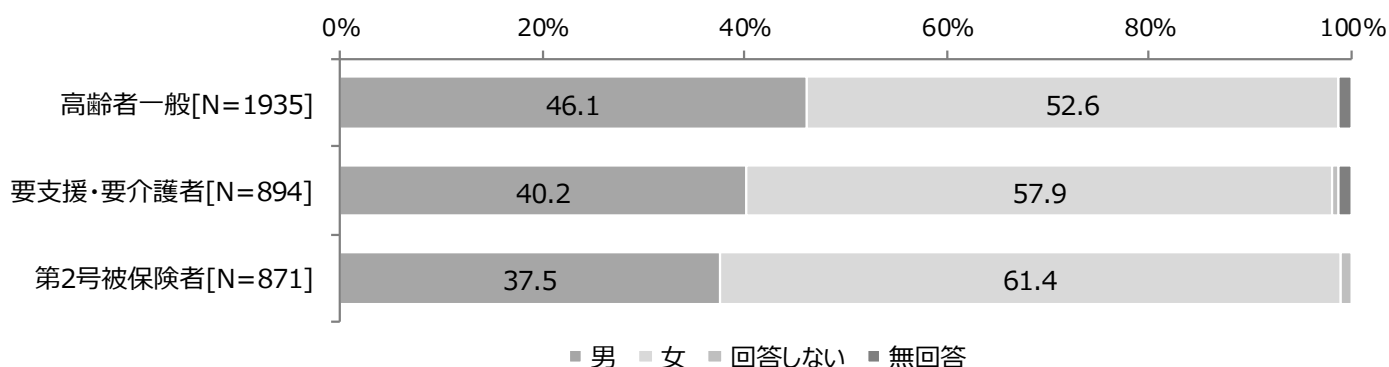
3 調査間の比較

(1) 回答者の属性

①性別

性別は、高齢者一般で「女」が52.6%、「男」が46.1%、要支援・要介護者で「女」が57.9%、「男」が40.2%、第2号被保険者で「女」が61.4%、「男」が37.5%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。

図表 41 性別

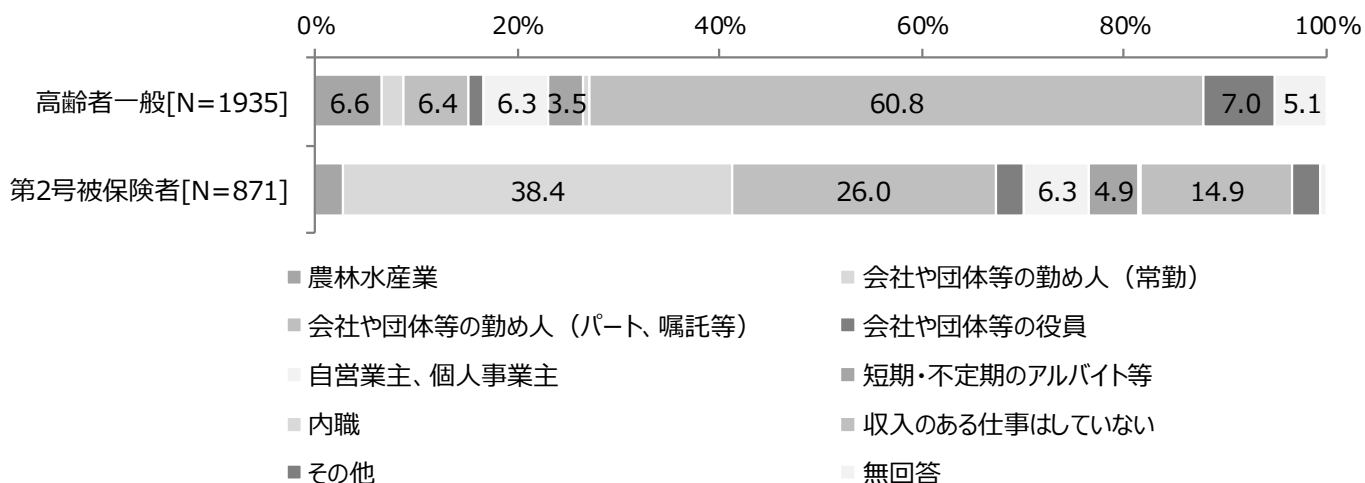


②仕事

仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が38.4%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が26.0%、「収入のある仕事はしていない」が14.9%等となっています。

高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が60.8%となっており、仕事をしている人では、「農林水産業」が6.6%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が6.4%、「自営業主、個人事業主」が6.3%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い比率となっています。

図表 42 仕事



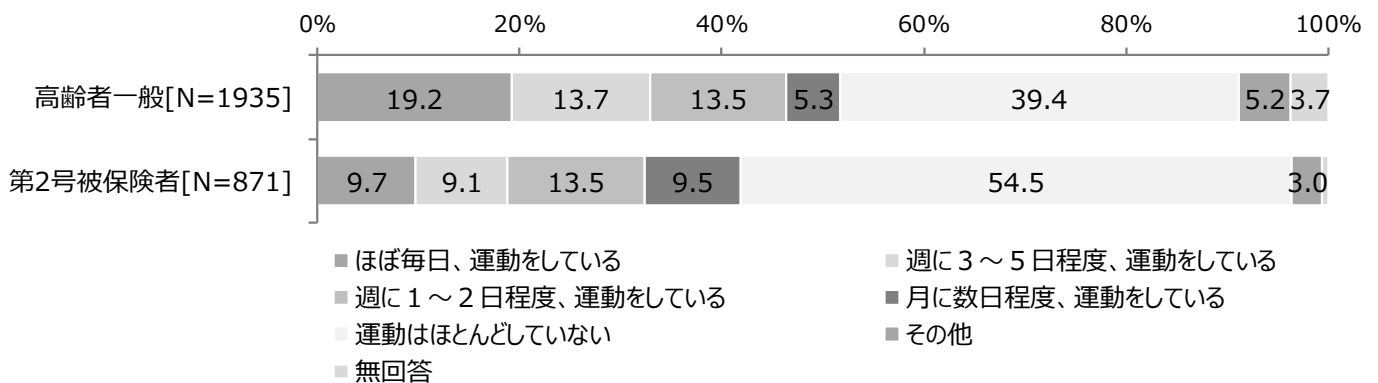
(2) 健康について

①運動の状況

運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が39.4%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も19.2%と多くなっています。

第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が54.5%と半数以上みられ、次いで、「週に1～2日程度、運動をしている」が13.5%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。

図表 43 運動の状況

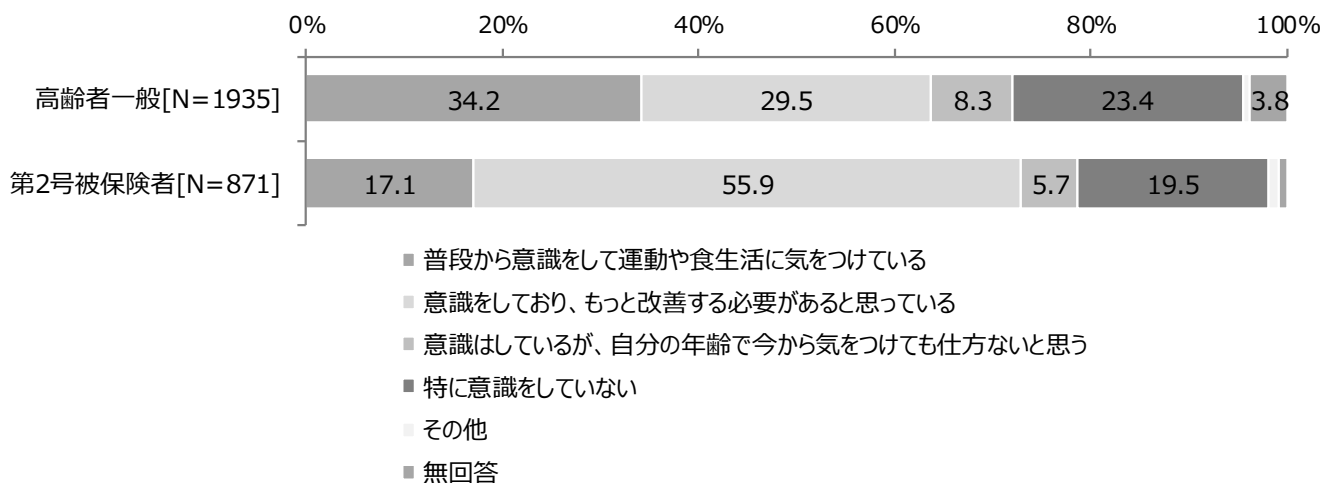


②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が34.2%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が29.5%等となっています。

第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が55.9%と半数以上を占め、次いで、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が17.1%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

図表 44 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

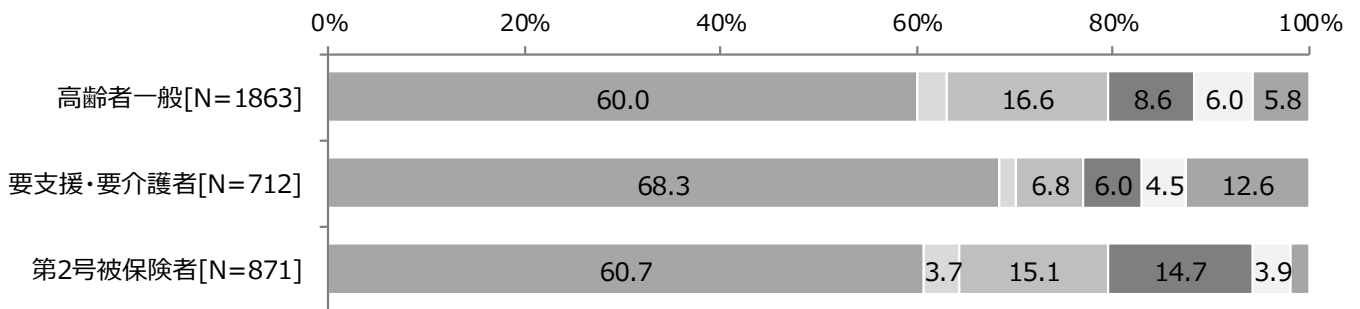


(3) 住まい、住み替えなどについて

①住み替えの希望

将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者の全てで、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっており、要支援・要介護者ではとくに多く、現在の場所に住み続けたいという人が多くなっています。

図表 45 住み替えの希望

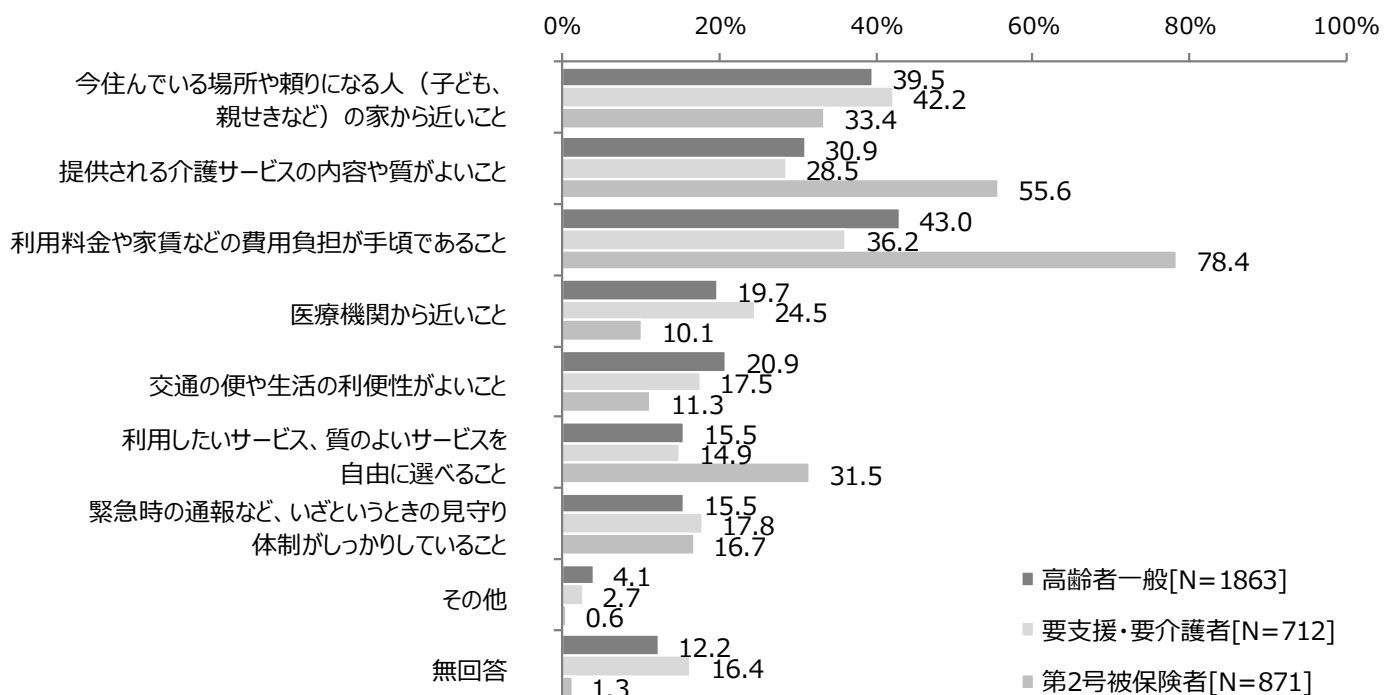


- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

②住み替えで重視すること

住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が多くなっています。一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質が良いこと」の割合が多くなっており、第2号被保険者で費用負担やサービスの質を重視する人が多くなっています。

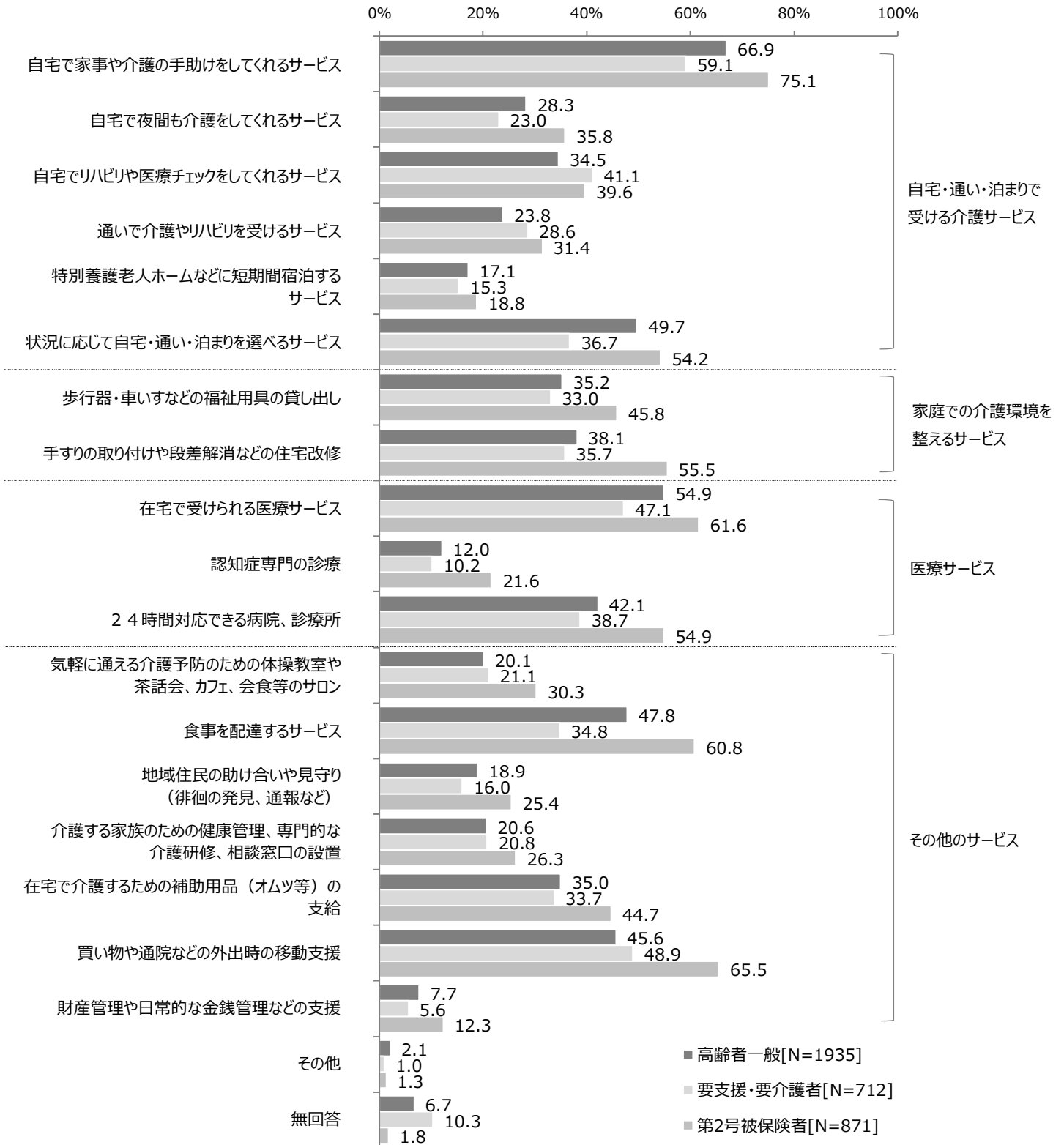
図表 46 住み替えで重視すること（複数回答）



③在宅生活に必要なサービス

在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、高齢者一般に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が全般的に多くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」の割合が最も多くなっています。

図表 47 在宅生活に必要なサービス（複数回答）

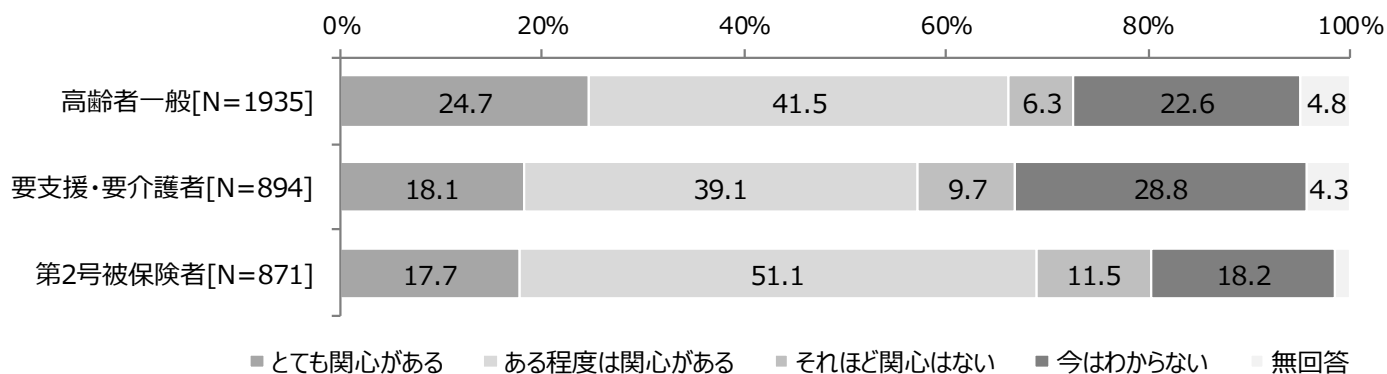


(4) 看取りなどについて

①延命治療等への関心

延命治療等への関心について聞いたところ、「関心のある人」は高齢者一般が66.2%、第2号被保険者が68.8%となっています。一方、要支援・要介護者では関心のある人が57.2%となっています。

図表 48 延命治療等への関心

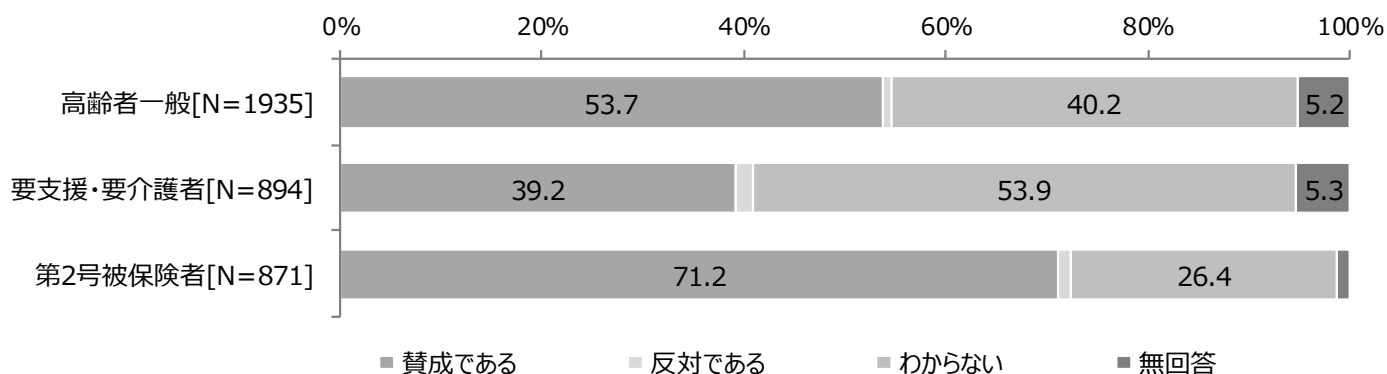


②リビング・ウィルに対する意見

リビング・ウィルに対する意見を見ると、高齢者一般、第2号被保険者で延命治療に「賛成である」人が5〜7割台と多くなっています。要支援・要介護者では「わからない」と答える人が53.9%と半数を占めています。

※リビング・ウィルとは、「自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておく」こと。

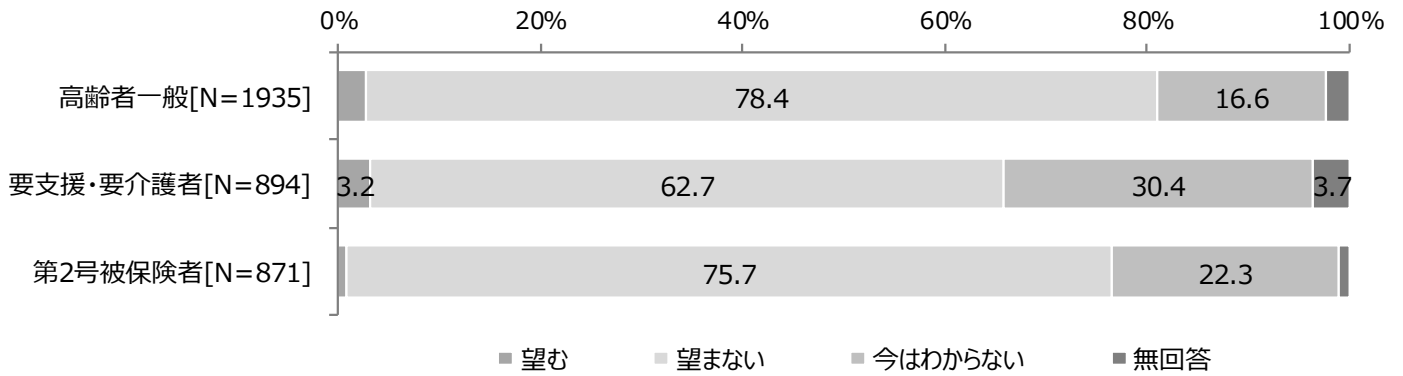
図表 49 リビング・ウィルに対する意見



③延命治療に対する希望

延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6～7割台でいずれも多くなっています。要支援・要介護者では「今はわからない」という人も高齢者一般や第2号被保険者に比べて多くなっています。

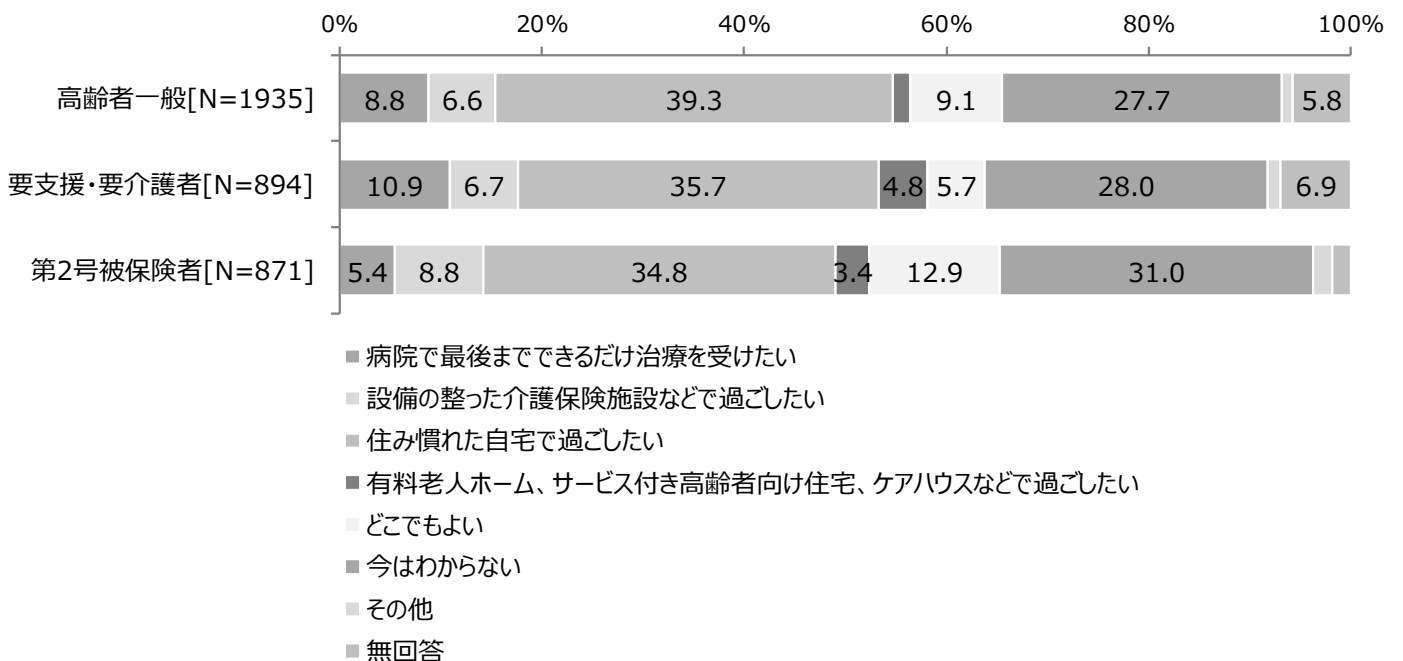
図表 50 延命治療に対する希望



④最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がいずれも3割台と多くなっています。一方、「今はわからない」という人も3割前後見られます。

図表 51 最期を迎えたい場所



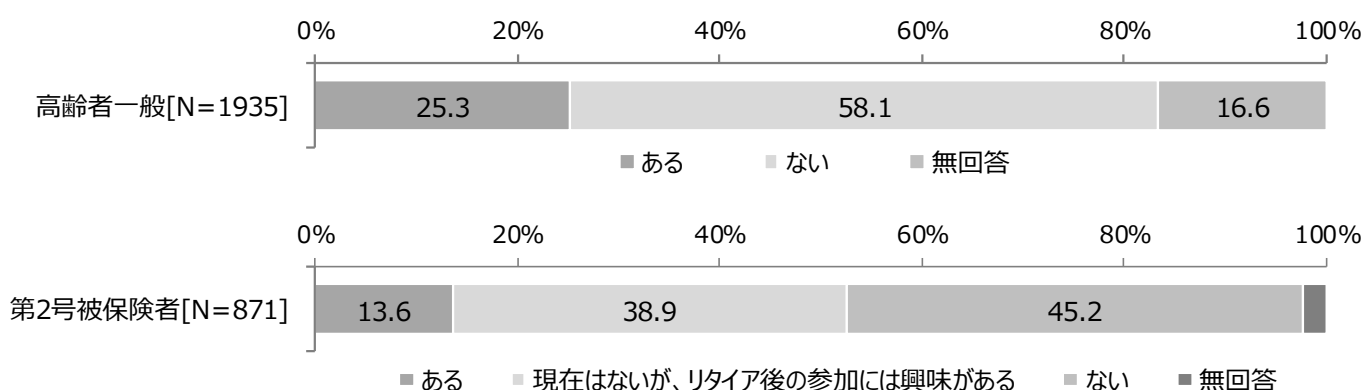
(5) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「ない」が58.1%、「ある」が25.3%となっています。

第2号被保険者では、「ない」が45.2%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が38.9%、「ある」が13.6%となっています。

図表 52 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

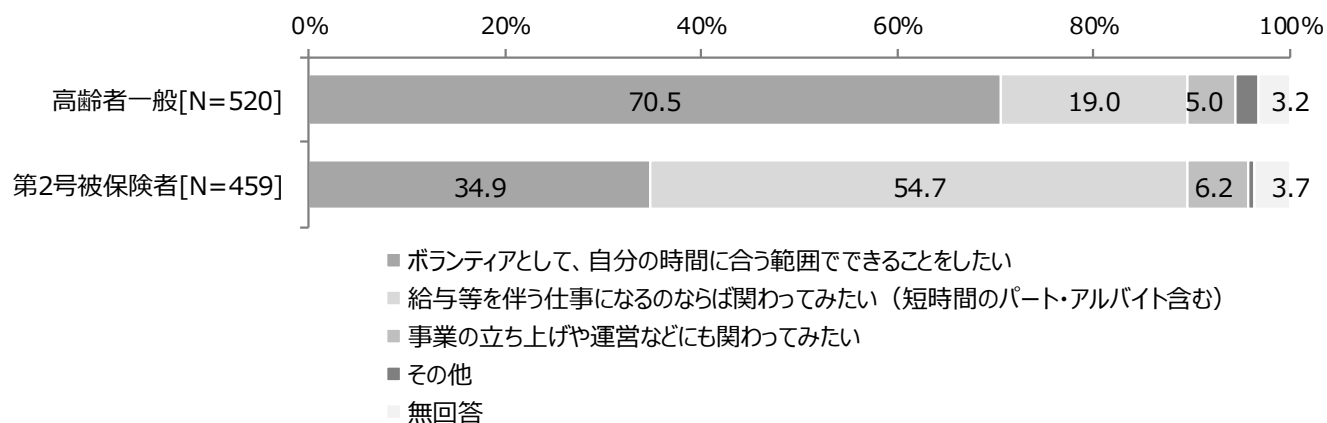


② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が70.5%と多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が54.7%となっており、仕事として考える人が多くなっています。

図表 53 高齢者支援事業への参加の仕方の希望



(6) 介護保険制度について

①介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が最も多くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者では、次いで「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が37.8%と最も多くなっています。第2号被保険者では介護保険料については、介護保険料が上がってもよい・仕方ないという人が多くなっています。

図表 54 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

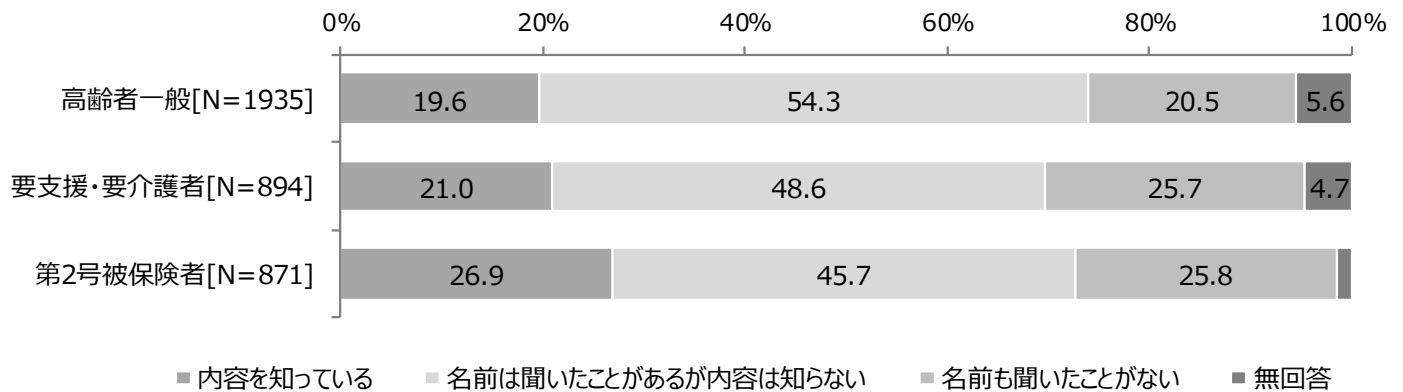


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では54.3%、要支援・要介護者では48.6%、第2号被保険者では45.7%となっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知ってはいても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 55 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

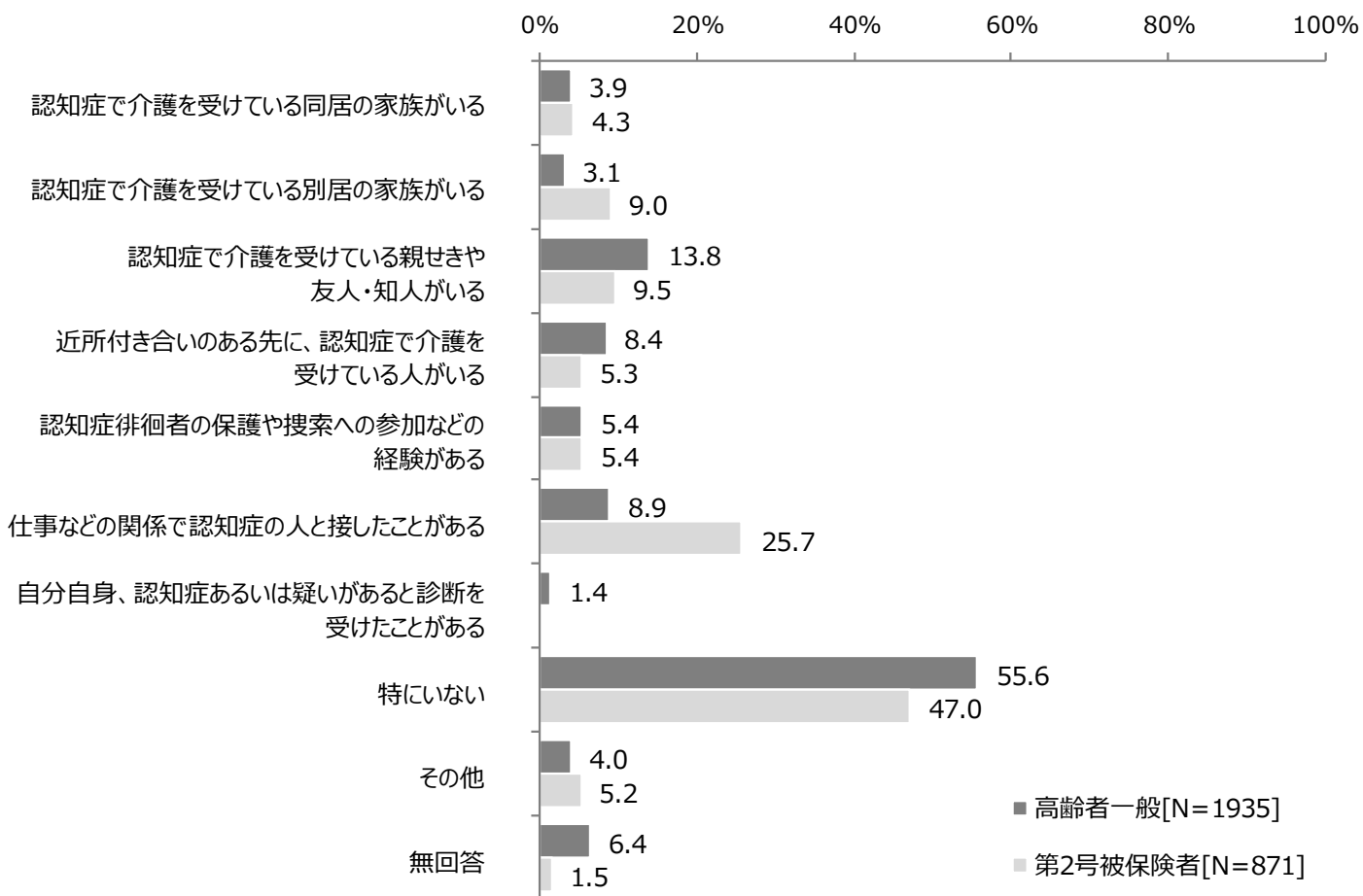


(7) 認知症について

①認知症の人との関わり

認知症の人との関わりについては、高齢者一般、第2号被保険者とも、「特にいない」という人が多くなっています。第2号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が25.7%見られます。

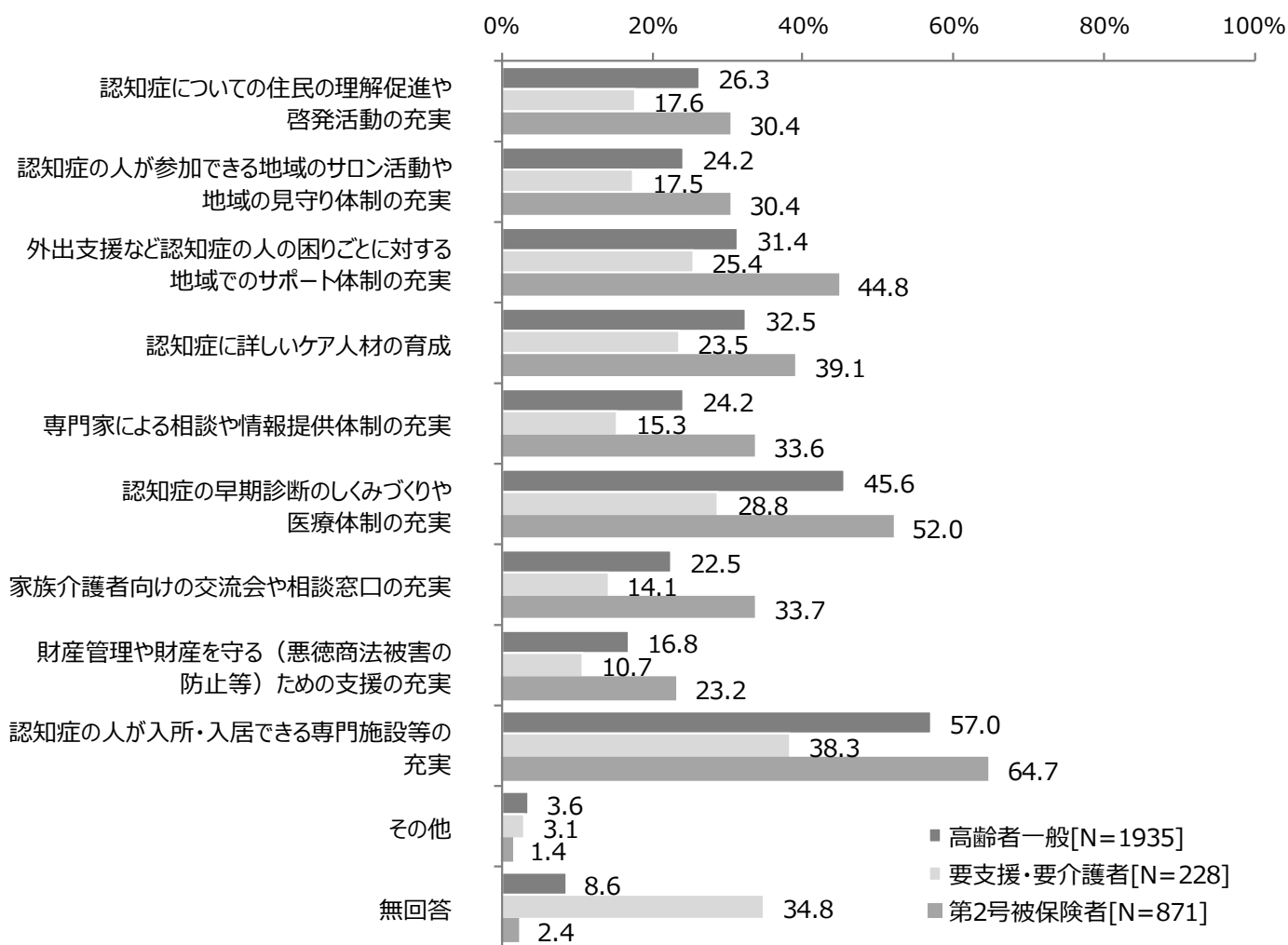
図表 56 認知症の人との関わり



②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、第2号被保険者では、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が半数強見られ、高齢者一般に比べて全般的に多い傾向があります。

図表 57 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援



参考資料：アンケート調査票

ちよう さ ひよう
調 査 票

■この調査の対象者は、令和4年8月1日現在、県内にお住まいの40~64歳の方で、主に、ご自身が高齢期になったときの生活意識などをお聞きします。

■この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、代わりにご家族の方などがご本人の立場に立ってお答えください。

■ご回答方法は以下の2つがあり、いずれかの方法を選択のうえ、ご回答ください。

【紙（この調査票）】でのご回答

【インターネット】でのご回答

ご回答いただきましたら、調査票を折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、ポストに投函してください。
(切手は不要です。)

右下のQRコードをお手持ちの端末（スマートフォン等）で読み込みのうえ、ご回答ください。

※QRコードを読み込めない方やパソコンで回答したい方は以下のURLをご入力ください。



<https://pro.post-survey.com/wakayama2022/>

※次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○をつけ、そのまま、ポストに投函してください。(切手は不要です。)

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中または認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

★★ **11月2日までにご投函（回答）ください** ★★

【ここからご回答ください】

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

1. あて名のご本人が回答 (ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む)
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

→ 裏面にお進みください。

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男	2. 女	3. 回答しない
------	------	----------

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

昭和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ	(満	<input type="text"/>	歳)
----	----------------------	---	----------------------	------	----	----------------------	----

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市
4. 有田市	5. 御坊市	
6. 田辺市 (旧田辺市)	7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	
8. 新宮市 (旧新宮市)	9. 新宮市 (旧熊野川町)	
10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	
12. 岩出市	13. 紀美野町	
14. かつらぎ町	15. 九度山町	16. 高野町
17. 湯浅町	18. 広川町	19. 有田川町
20. 美浜町	21. 白高町	22. 由良町
23. 印南町	24. みなべ町	25. 白高川町
26. 白浜町	27. 上富田町	28. すさみ町
29. 那智勝浦町	30. 太地町	31. 古座川町
32. 北山村	33. 串本町	

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身 (ご本人ひとり)	2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	4. 2世代家族 (65歳以上の家族がいる)
5. 2世代家族 (65歳以上の家族はいない)	6. 3世代家族
7. 配偶者、親以外の高齢者 (65歳以上) と同居	8. その他 ()

問5 あなたは、収入のあるお仕事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 農林水産業	2. 会社や団体等の勤め人 (常勤)
3. 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等)	4. 会社や団体等の役員
5. 自営業主、個人事業主	6. 短期・不定期のアルバイト等
7. 内職	8. 収入のある仕事はしていない
9. その他 ()	

★高齢期こうれいきになったときの暮らしのお考えかんがなどについておたずねします。

※通常つうじょう、高齢期こうれいきとは65歳以上のことを指しますが、年齢ねんれいにはこだわらず、ご自身が年をとって高齢者こうれいしゃになったときとお考えかんがください。

問6 あなたは、ご自身の高齢期こうれいきの生活を考えたときに、特にどのようなことに関心かんしんがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> の団らん・交流 <small>こうりゅう</small> | 2. 親せきとのつきあい |
| 3. 友人 <small>ゆうじん</small> 、知人 <small>ちじん</small> 、近隣 <small>きんりん</small> とのつきあい | 4. 住まい <small>すまい</small> （建物 <small>たてもの</small> の維持管理 <small>いじかんり</small> 、リフォームなど） |
| 5. 健康管理 <small>けんこうかんり</small> 、健康づくり | 6. 防災 <small>ぼうさい</small> （災害 <small>さいがい</small> への備え <small>そな</small> 、避難 <small>ひなん</small> や連絡 <small>れんらく</small> の方法 <small>ほうほう</small> など） |
| 7. 食事 <small>しょくじ</small> 、飲食 <small>いんしょく</small> に関すること | 8. 身だしなみ、おしゃれや美容 <small>びようかん</small> に関すること |
| 9. 仕事 <small>しごと</small> 、働くこと | 10. 家事 <small>かじ</small> （炊事 <small>すいじ</small> 、掃除 <small>そうじ</small> 、洗濯 <small>せんたく</small> など家の中の仕事 <small>いえなかしごと</small> ） |
| 11. 社会奉仕 <small>しゃかいほうし</small> 、ボランティア活動 <small>かつどう</small> | 12. 地域の活動 <small>ちいきのかつどう</small> （自治会 <small>じちかい</small> 、老人クラブ <small>ろうじんくらぶ</small> など） |
| 13. 趣味 <small>しゆみ</small> の活動 <small>かつどう</small> | 14. 学習活動 <small>がくしゅうかつどう</small> |
| 15. スポーツ活動 <small>かつどう</small> | 16. 特にない |
| 17. その他（ | ） |

問7 あなたは、現在お住まいのところに高齢期こうれいきも住み続けるとした場合ばあいに、日常の買い物や外出などのしやすさについてどのように思おもいますか。(そう思おもうもの1つに○)

1. 現在げんざいでもかなり不便ふべんであり、高齢こうれいになったらさらに困ることになると思おもう
2. 現在げんざいは特に問題もんだいはないが、高齢こうれいになったら困ることになると思おもう
3. 高齢こうれいになっても特に困ることはないと思おもう
4. わからない
5. その他（

問8 あなたは、ご自身の高齢期こうれいきの生活を考えたときに、何か不安ふあんを感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> や親せきとの人間関係 <small>にんげんかんけい</small> | 2. 友人 <small>ゆうじん</small> や知人 <small>ちじん</small> 、近所 <small>きんじよ</small> の人との人間関係 <small>にんげんかんけい</small> |
| 3. 話し相手 <small>はなあいて</small> がないこと | 4. 生活費 <small>せいかつひ</small> など |
| 5. 自分の介護 <small>じぶんのかいご</small> のこと | 6. 自分の健康 <small>じぶんのけんこう</small> や病気 <small>びょうき</small> |
| 7. 同居家族 <small>どうきよかぞく</small> の健康 <small>けんこう</small> や病気 <small>びょうき</small> | 8. 家族 <small>かぞく</small> や親せき <small>しんせき</small> に対する介護 <small>かいご</small> |
| 9. 通院 <small>つういん</small> の介助 <small>かいじよ</small> や手段 <small>しゆだん</small> | 10. 掃除 <small>そうじ</small> や洗濯 <small>せんたく</small> などの日常生活 <small>にちじょうせいかつ</small> のこと |
| 11. 食事 <small>しょくじ</small> の用意 <small>ようい</small> や配食 <small>はいしょく</small> などのこと | 12. 財産 <small>ざいさん</small> の管理 <small>かんり</small> や遺産相続 <small>いさんそうぞく</small> など |
| 13. 子 <small>こ</small> や孫 <small>まご</small> の将来 <small>しやうらい</small> | 14. 特に悩み <small>なやみ</small> や不安 <small>ふあん</small> はない |
| 15. その他（ | ） |

★健康についておたずねします。

問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
5. その他 ()

問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない
6. その他 ()

問11 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない
5. その他 ()

- ※ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み
- ※メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み

★高齢期の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(家族等が運転) |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス(介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車(電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. 医療機関による無料送迎(通院時のみ) |
| 11. 外出は困難(寝たきりなど) | 12. その他() |

問13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道どのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

※コミュニティバスを含みます。

片道 約 分

問14 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 戸建(持ち家) | 2. 戸建(賃貸) |
| 3. マンションなどの集合住宅(持ち家) | 4. マンションなどの集合住宅(賃貸) |
| 5. その他() | |

問15 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で、在宅サービス(ホームヘルプやデイサービスなど)を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

問16 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他()

問17 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他（)

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問18 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3. それほど関心はない | 4. 今はわからない |

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のために行うものを指します(問21も同様)。

問19 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

★家族介護の状況などについておたずねします。

問25 あなたの家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(いずれか1つに○)

1. いる

2. いない →問27へ

問26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1)あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 主に自分が介護している

2. 他の家族が介護しているのを手伝っている

3. それほど介護には関わっていない

(2)ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分が仕事を辞めた/転職した

2. 自分以外の家族で、仕事を辞めた/転職した者がいる

3. いない

(3)介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の方法、認知症への対応方法などがわからない

2. 本人の希望に沿った介護ができているかわからない

3. 身体的な負担が大きい

4. 精神的な負担が大きい

5. 経済的な負担が大きい

6. 本人にやさしく接することができない、つつらくあたってしまうことがある

7. 介護を手伝ってくれる人がいない

8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない

9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない

10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない

11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある

12. 相談先がない

13. 特にない

14. その他 ()

★高齢者の生活支援や介護の仕事に関する考え方などについておたずねします。

問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

事業の例：高齢者が気軽に参加できる地域サロンや運動・介護予防教室などの運営、安否確認などのサービス、外出支援、買い物、調理、掃除などの簡単な家事支援など

※現在、同様なサービスの運営に参加している人も意向をお答えください。

1. ある 2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある 3. ない →問29へ

問28 前の問で「1. ある」「2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
2. 給与等を伴う仕事になるのなら関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)
3. 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
4. その他()

★介護保険制度などについておたずねします。

問29 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. サービスを受けるための手続き | 2. 受けられるサービスの内容 |
| 3. 気軽に相談できる窓口 | 4. 保険料、利用料や算出の仕組み |
| 5. 介護事業所の評判 | 6. 特にない |
| 7. その他() | |

問30 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
5. その他()

問31 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者等)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★認知症についておたずねします。

問32 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 特にない
8. その他 ()

問33 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ()

**和歌山県高齢者等生活意識調査
(第2号被保険者調査)
報告書**

令和5年3月

発行：和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 長寿社会課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1